

4. 基礎工

①	粉体噴射攪拌工（D J M工法）	888
---	------------------------	-----

4. 基礎工

① 粉体噴射攪拌工（D J M工法）

1. 適用範囲

本資料は、粘性土、砂質土、シルト及び有機質土等の軟弱地盤を対象として行う粉体噴射攪拌工（改良材がセメント系及び石灰系の場合）に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 粉体噴射攪拌

以下のいずれかの条件に該当する場合

- (1) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 33m 以下で軸間距離 800 mm から 1,500 mm の二軸施工の場合
- (2) 杭径 1,000 mm、打設長が 3 m を超え 20m 以下で下記条件のいずれかに該当する単軸施工の場合
 - ・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合
 - ・杭の配列により二軸施工が困難な場合
 - ・地盤条件により二軸施工が困難な場合

1-1-2 粉体噴射攪拌（移設）

以下のいずれかの条件に該当する場合

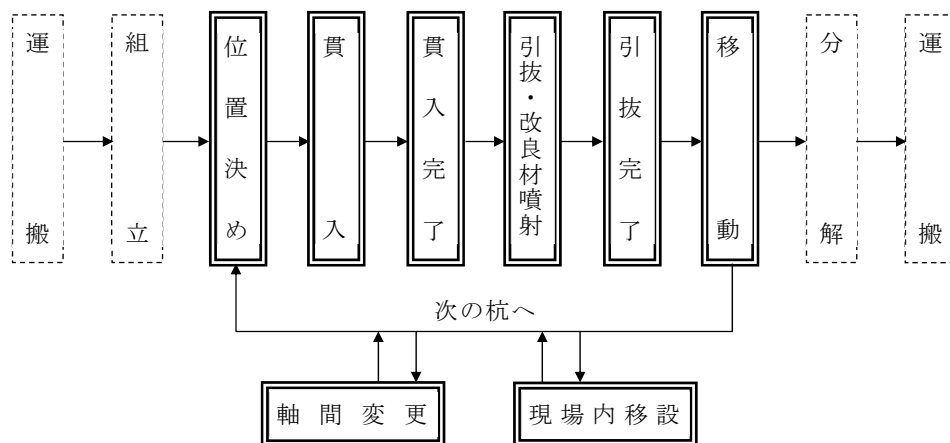
- (1) 施工範囲が改良材供給機を中心に半径約 75m を超え、改良材供給設備を移設しなければならない場合
- (2) 同一現場内に施工箇所が 2 箇所以上あり、改良材供給設備を移設しなければならない場合

1-1-3 粉体噴射攪拌（軸間変更）

- (1) 二軸施工の場合に同一現場において、粉体噴射攪拌機の軸間変更を必要とする場合

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



（注）本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 粉体噴射攪拌

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

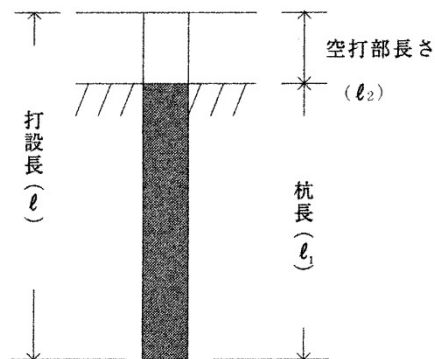
表 3. 1 粉体噴射攪拌 積算条件区分一覧 (積算単位：本)

現場制約の有無	打設長	杭長	改良材使用量
有り	3 mを超え 6 m未満	2 m未満	実数入力 (t / m)
		2 m以上 3 m未満	
		3 m以上 4 m未満	
		4 m以上 5 m未満	
		5 m以上 6 m未満	
	6 m以上 10m未満	4 m以上 5 m未満	
		5 m以上 6 m未満	
		6 m以上 7 m未満	
		7 m以上 8 m未満	
		8 m以上 9 m未満	
		9 m以上 10m未満	
	10m以上 14m未満	8 m以上 9 m未満	
		9 m以上 10m未満	
		10m以上 12m未満	
		12m以上 14m未満	
	14m以上 17m未満	12m以上 14m未満	
		14m以上 15m未満	
		15m以上 17m未満	
	17m以上 20m以下	15m以上 17m未満	
		17m以上 20m以下	
無し	3 mを超え 6 m未満	2 m未満	
		2 m以上 3 m未満	
		3 m以上 4 m未満	
		4 m以上 5 m未満	
		5 m以上 6 m未満	
	6 m以上 10m未満	4 m以上 5 m未満	
		5 m以上 6 m未満	
		6 m以上 7 m未満	
		7 m以上 8 m未満	
		8 m以上 9 m未満	
	10m以上 15m未満	9 m以上 10m未満	
		8 m以上 9 m未満	
		9 m以上 10m未満	
		10m以上 12m未満	
		12m以上 14m未満	
	15m以上 20m以下	12m以上 14m未満	
		14m以上 15m未満	
		15m以上 17m未満	
		15m以上 17m未満	
		17m以上 20m以下	
	20mを超え 27m未満	17m以上 20m以下	
		20mを超え 23m未満	
		23m以上 27m未満	
	27m以上 33m以下	23m以上 27m未満	
		27m以上 32m未満	
		32m以上 33m以下	

(注) 1. 上表は、粉体改良材の噴射攪拌による改良柱の形成、施工機械用及び改良材供給設備用足場材（敷鉄板）の設置・撤去、改良後の整地、足場材賃料、空気圧縮機の賃料及び運転経費、特許使用料、電力に関する経費等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等）を含む。

2. 攪拌翼が貫入できない場合や引抜きに障害となる転石等の除去は、掘削の施工パッケージを別途計上する。
3. 現場制約の有無について
有り：下記の条件のいずれかに該当する場合に選択
 - ・作業面積が狭く、二軸施工機の移動が困難な場合、又は二軸用改良材供給プラントの設置が困難な場合
 - ・杭の配列により二軸施工が困難な場合
 - ・地盤条件により二軸施工が困難な場合
4. 打設長 ℓ (m) は次式による。
打設長 ℓ (m) = 空打部長さ (ℓ_2) + 杭長 (ℓ_1)
5. 安定処理工（土木用安定シートも含む）の施工経費は、別途計上する。
6. 改良材使用量
改良材は、セメント系、石灰系を標準とし、現場条件により決定する。
なお、改良材のロス（損失+杭頭・着底部処理を含む）を含んでいるので改良材使用量は実数量（ロスによる割増をしない数量）とする。（標準ロス率は、+0.15）
7. 施工本数は杭間の移動、位置決め、貫入、引抜き（改良材噴射）までの一連の作業のものである。
8. 二軸施工の杭施工本数は、1 軸当たり 1 本とする。
9. 現場内移設に伴い、粉体噴射攪拌機本体の分解・組立が必要となった場合は、「1 6. 共通仮設①重建設機械分解組立運搬」の「分解組立」により分解・組立費を別途計上する。
10. 改良材供給設備の現場内移設は、3－2 粉体噴射攪拌（移設）より別途計上する。
11. 軸間変更を行う場合は、3－3 粉体噴射攪拌（軸間変更）より別途計上する。

図 3. 1 施工図



(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 粉体噴射攪拌 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	粉体噴射攪拌機 〔単軸（油圧）・スキッド式〕 攪拌モータ トルク 19.6kN・m×1 台 最大改良深度 20m	現場制約有りの場合
		粉体噴射攪拌機 〔二軸（電動）・クローラ式〕 攪拌モータ 55kw×2 台 最大改良深度 26m	現場制約無し (打設長 20m以下)の場合
		粉体噴射攪拌機 〔二軸（電動）・クローラ式〕 攪拌モータ 90kw×2 台 最大改良深度 33m	現場制約無し (打設長 20mを超え)の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	普通作業員	
材料	Z 1	セメント 高炉 B	
	Z 2	軽油 パトロール給油	現場制約無しの場合
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-2 粉体噴射攪拌（移設）

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 3 粉体噴射攪拌（移設） 積算条件区分一覧

(積算単位：回)

施工方法
単軸施工
二軸施工

(注) 上表は粉体噴射攪拌における改良材供給機、改良材貯蔵槽、発動発電機、空気圧縮機、圧縮空気除湿機、空気槽、制御室、ホース及びケーブル等の設備の移設、制御室移設後の調整費等その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等）を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 粉体噴射攪拌(移設) 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	特殊作業員	
	R 2	普通作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	—	
材 料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-3 粉体噴射攪拌(軸間変更)

(1) 条件区分

軸間変更には条件区分はない。

積算単位は回とする。

(注) 粉体噴射攪拌における粉体噴射攪拌機の軸間変更等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費(損料等)を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 5 粉体噴射攪拌(軸間変更) 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン [油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	特殊作業員	
	R 2	普通作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	—	
材 料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

5. フリューム類据付工

- ① コンクリート分水槽据付894
- ② ボックスカルバート機械据付896

5. フリューム類据付工

① コンクリート分水槽据付

1. 適用範囲

本歩掛は、コンクリート分水槽の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 コンクリート分水槽

- (1) コンクリート分水槽の据付、撤去、据付・撤去の場合
- (2) コンクリート分水槽の質量（蓋版除く）が 50kg/基以上 2,800kg/基以下の場合

1-2 適用できない範囲

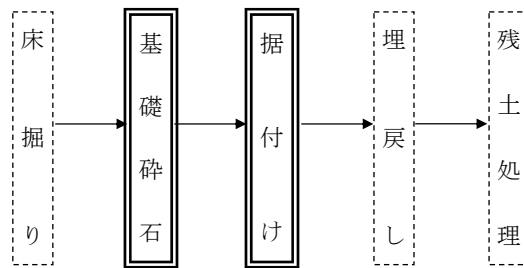
1-2-1 コンクリート分水槽

- (1) コンクリート分水槽の質量（蓋版除く）が 50kg/基未満及び 2,800kg/基を超える場合
- (2) 組立式コンクリート分水槽の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

(1) コンクリート分水槽



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。
3. コンクリート分水槽は、蓋版の有無にかかわらず、本施工パッケージを適用できる。

3. 施工パッケージ

3-1 コンクリート分水槽

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 コンクリート分水槽 積算条件区分一覧 (積算単位：基)

作業区分	製品質量(kg/基)	基礎砕石の有無
据付	(表3. 2)	有り
		無し
撤去		－
据付・撤去		有り
		無し

- (注) 1. 上表は、コンクリート分水槽の設置（蓋版を含む）、基礎材、敷砂又は敷モルタル、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
- ただし、分水槽（材料費）は含まない。
2. 蓋版の有無にかかわらず適用できる。

3. 基礎碎石の敷均し厚は、20cm 以下を標準としており、これにより難い場合は別途考慮する。
4. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。
5. 基礎碎石は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
6. 分水槽の材料費は、別途計上する。
7. 基面整正は含まない。

表 3. 2 製品質量

積算条件	区 分
製品質量 (kg/基)	50kg 以上 80kg 以下
	80kg を超え 200kg 以下
	200kg を超え 400kg 以下
	400kg を超え 600kg 以下
	600kg を超え 800kg 以下
	800kg を超え 1,200kg 以下
	1,200kg を超え 1,600kg 以下
	1,600kg を超え 2,200kg 以下
	2,200kg を超え 2,800kg 以下

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 3 コンクリート分水槽 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機 械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)] 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)1.7 t	・ 賃料 ・ 製品質量が 1,200kg/基以下の場合
		バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第3次基準値)]山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)2.9 t 吊	・ 賃料 ・ 製品質量が 1,200kg/基超えの場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基以下の場合
		普通作業員	製品質量が 800kg/基超えの場合
	R 2	普通作業員	製品質量が 800kg/基以下の場合
		運転手（特殊）	製品質量が 800kg/基超えの場合
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	特殊作業員	
材 料	Z 1	軽油 パトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-2 コンクリート分水槽（材料費）

(1) 条件区分

コンクリート分水槽（材料費）の条件区分はない。

積算単位は基とする。

② ボックスカルバート機械据付

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 ボックスカルバート

- (1) 1ブロックを1部材で構成するプレキャスト製ボックスカルバート（内空断面が台形タイプの物を含む）の据付、撤去、据付・撤去の場合

1-2 適用できない範囲

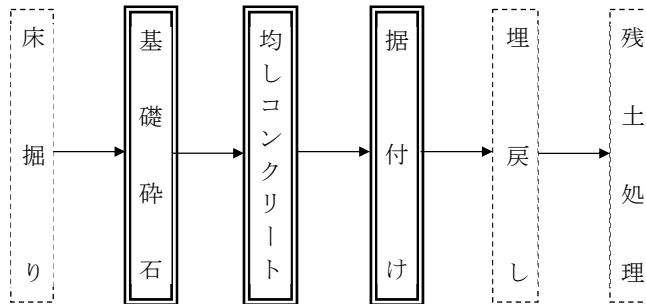
1-2-1 ボックスカルバート

- (1) グラウトを使用しないP Cアンボンドケーブル等による施工の場合
 (2) 製品長 1.0m/個で縦締を行う場合
 (3) 曲線部における縦締め施工の場合
 (4) コンクリート養生で、特殊な養生を必要とする場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

(1) ボックスカルバート



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。
 2. 基礎砕石、均しコンクリートは、必要に応じて計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 ボックスカルバート

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 ボックスカルバート 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め
据付	1.0m/個	1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m	(表3. 2)	—
		2.5m<B≤3.75m 1.25m≤H≤ 2.5m		
	1.5m/個	1.25m<B≤ 2.5m 0m<H≤1.25m	(表3. 2)	(表3. 3)
		1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m		
		2.5m<B≤3.75m 1.25m≤H≤ 2.5m		
		2.5m≤B≤3.75m 2.5m<H≤3.75m		
	2.0m/個	0m<B≤1.25m 0m<H≤1.25m	(表3. 2)	(表3. 3)
		1.25m<B≤ 2.5m 0m<H≤1.25m		
		0m<B≤1.25m 1.25m<H≤ 2.5m		
		1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m		
撤去	1.0m/個	1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m	—	—
		2.5m<B≤3.75m 1.25m≤H≤ 2.5m		
	1.5m/個	1.25m<B≤ 2.5m 0m<H≤1.25m	—	(表3. 3)
		1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m		
		2.5m<B≤3.75m 1.25m≤H≤ 2.5m		
		2.5m≤B≤3.75m 2.5m<H≤3.75m		
	2.0m/個	0m<B≤1.25m 0m<H≤1.25m	—	(表3. 3)
		1.25m<B≤ 2.5m 0m<H≤1.25m		
		0m<B≤1.25m 1.25m<H≤ 2.5m		
		1.25m<B≤ 2.5m 1.25m<H≤ 2.5m		

(つづく)

(つづき)

作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め
据付・撤去	1.0m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m	(表3. 2)	—
		2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m		
	1.5m/個	1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m	(表3. 2)	(表3. 3)
		1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m		
		2.5m < B ≤ 3.75m 1.25m ≤ H ≤ 2.5m		
		2.5m ≤ B ≤ 3.75m 2.5m < H ≤ 3.75m		
	2.0m/個	0m < B ≤ 1.25m 0m < H ≤ 1.25m	(表3. 2)	(表3. 3)
		1.25m < B ≤ 2.5m 0m < H ≤ 1.25m		
		0m < B ≤ 1.25m 1.25m < H ≤ 2.5m		
		1.25m < B ≤ 2.5m 1.25m < H ≤ 2.5m		

- (注) 1. 上表は、現場内小運搬（運搬車から直接据え付ける場合も含む）、ボックスカルバートの設置、PC 鋼材による縦締め、基礎砕石、均しコンクリート、型枠（剥離材塗布及びケレン作業を含む）、養生、敷モルタル、目地モルタル、グラウト材、レバーブロック、油圧ジャッキ（ポンプを含む）、グラウトポンプ、ハンドミキサーの損料等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
- ただし、PC 鋼材材料費、定着金具材料費は含まない。
2. 対象としている製品は、1 ブロックを1 部材で構成するボックスカルバートである。
3. PC 鋼材を使用しない場合において、高力ボルト連結、ボンド連結等による施工にも適用できる。
4. 内空断面が台形タイプの場合やインバート形状の場合の内空高、内空幅は最大値とする。
5. PC 鋼材、定着金具の材料費は、必要量を別途計上する。
6. 製品表とは、一連のボックスカルバートの標準的な1 部材の有効長であり、有効長未満の部材及び短尺、片斜切、横孔等の特殊加工部材が含まれる場合も適用できる。
7. 縦締めは、直線部にのみ適用する。
8. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。
9. 基礎砕石、均しコンクリートの材料は、種別・規格にかかわらず適用できる。
10. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。
11. 製品長が1 個あたり 1.0mの場合、PC 鋼材による縦締めの費用は含まない。
12. 床掘り、基面整正、埋戻し、残土処理は含まない。

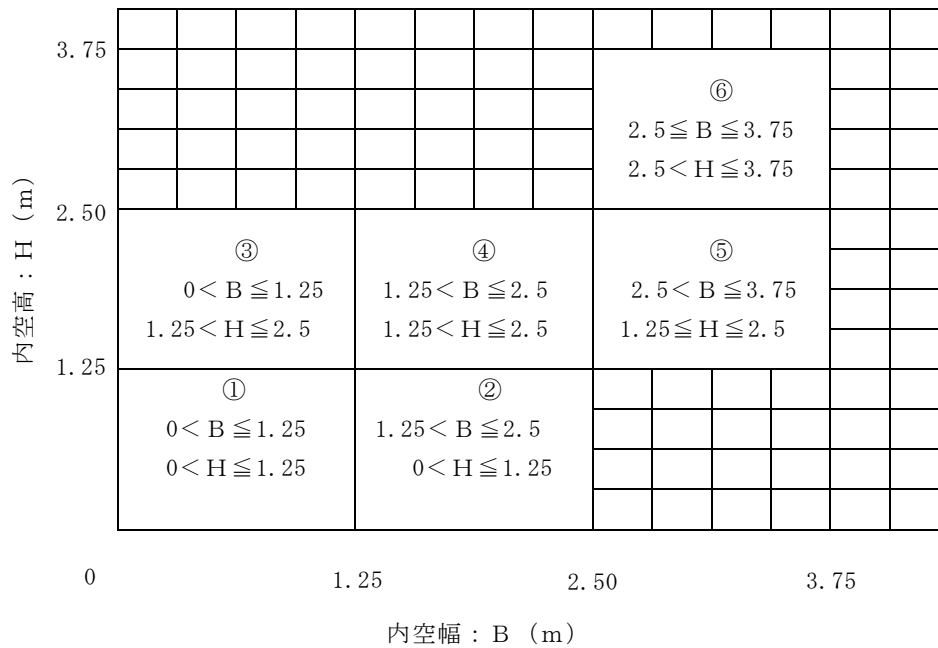
表 3. 2 基礎材種別

積算条件	区 分
基礎材種別	基礎砕石＋均しコンクリート
	基礎砕石
	均しコンクリート
	無し

表 3. 3 PC 鋼材による縦締め

積算条件	区 分
PC 鋼材による縦締め	無し
	有り

図 3-1 ボックスカルパート内空幅・内空高区分



(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 ボックスカルパート 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 25 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2.5m 以下の場合
	K2	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・低騒音型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 50 t 吊	・ 賃料 ・ 内空高 2.5m 超の場合
	K3	ー	
労務	R1	普通作業員	
	R2	土木一般世話役	
	R3	特殊作業員	
	R4	ー	
材料	Z1	ボックスカルパート RC B1500×H1500×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.0m/個で、内空幅・内空高が 1.25m < B ≤ 2.5m、1.25m ≤ H ≤ 2.5m の場合
		ボックスカルパート RC B3000×H2000×L1000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.0m/個で、内空幅・内空高が 2.5m < B ≤ 3.75m、1.25m < H ≤ 2.5m の場合
		ボックスカルパート RC B1500×H1000×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.5m/個で、内空幅・内空高が 1.25m < B ≤ 2.5m、0m < H ≤ 1.25m の場合
		ボックスカルパート RC B1500×H1500×L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.5m/個で、内空幅・内空高が 1.25m < B ≤ 2.5m、1.25m < H ≤ 2.5m の場合

(つづく)

(つづき)

項目		代表機材規格	備 考
材料	Z 1	ボックスカルバート RC B3000×H2000× L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.5m/個で、内空幅・内空高が $2.5\text{m} < B \leq 3.75\text{m}$ 、 $1.25\text{m} \leq H \leq 2.5\text{m}$ の場合
		ボックスカルバート RC B3000×H3000× L1500 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 1.5m/個で、内空幅・内空高が $2.5\text{m} < B \leq 3.75\text{m}$ 、 $2.5\text{m} < H \leq 3.75\text{m}$ の場合
		ボックスカルバート RC B600×H600× L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 2.0m/個で、内空幅・内空高が $0\text{m} < B \leq 1.25\text{m}$ 、 $0\text{m} < H \leq 1.25\text{m}$ の場合
		ボックスカルバート RC B1500×H1000× L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 2.0m/個で、内空幅・内空高が $1.25\text{m} < B \leq 2.5\text{m}$ 、 $0\text{m} < H \leq 1.25\text{m}$ の場合
		ボックスカルバート RC B1000×H1500× L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 2.0m/個で、内空幅・内空高が $0\text{m} < B \leq 1.25\text{m}$ 、 $1.25\text{m} < H \leq 2.5\text{m}$ の場合
		ボックスカルバート RC B1500×H1500× L2000 T-25 土被り 0.2～3.0m	作業区分が据付又は据付・撤去で、製品長が 2.0m/個で、内空幅・内空高が $1.25\text{m} < B \leq 2.5\text{m}$ 、 $1.25\text{m} < H \leq 2.5\text{m}$ の場合
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

6. 河川・水路工

① 消波根固めブロック工	902
② 捨石工	914
③ 多自然型護岸工（木杭打工）	917

6. 河川・水路工

① 消波根固めブロック工

1. 適用範囲

本資料は、河川、砂防、海岸、道路工事に使用する 11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの現地製作、陸上よりの敷設工事に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 消波根固めブロック製作

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの現地製作の場合

1-1-2 消波根固めブロック横取り

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの横取りのみの場合

1-1-3 消波根固めブロック積込

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの積込のみの場合

1-1-4 消波根固めブロック荷卸

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの荷卸のみの場合

1-1-5 消波根固めブロック据付

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックの陸上よりの敷設の場合

1-1-6 消波根固めブロック運搬

（1）11.0 t 以下（実質量とする）の消波根固めブロックのトラックによる運搬の場合

1-2 適用できない範囲

1-2-1 消波根固めブロック製作

（1）11.0 t を超える（実質量とする）消波根固めブロックの現地製作の場合（土地改良事業等請負工事標準歩掛 6. 河川・水路工④消波工による）

1-2-2 消波根固めブロック横取り

（1）11.0 t を超える（実質量とする）の消波根固めブロックの横取りのみの場合

1-2-3 消波根固めブロック積込

（1）11.0 t を超える（実質量とする）の消波根固めブロックの積込のみの場合

1-2-4 消波根固めブロック荷卸

（1）11.0 t を超える（実質量とする）の消波根固めブロックの荷卸のみの場合

1-2-5 消波根固めブロック据付

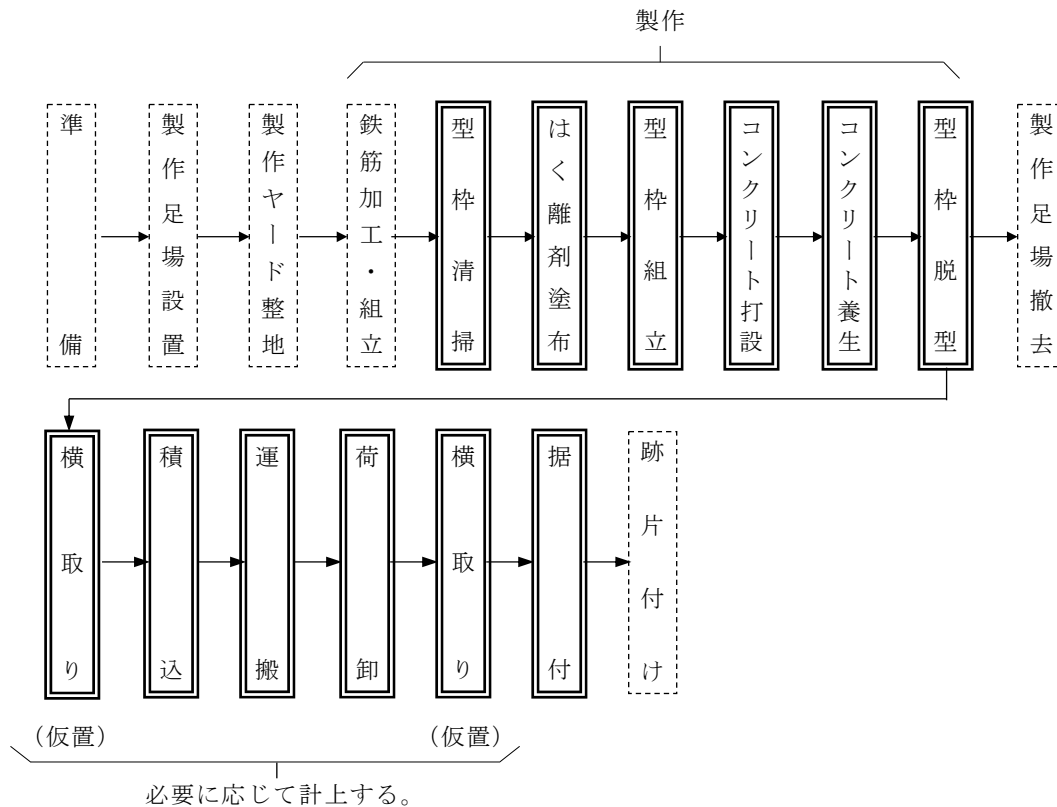
（1）11.0 t を超える（実質量とする）の消波根固めブロックの陸上よりの敷設の場合

1-2-6 消波根固めブロック運搬

（1）11.0 t を超える（実質量とする）消波根固めブロックのトラックによる運搬の場合

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 据付は連結金具の有無にかかわらず適用できる。

なお、ブロック製作後の各工程の作業内容については下記による。

- (1) 横取り： ブロックの移動（型枠脱型場所～製作場所仮置場又は据付場所仮置場～据付場所）を目的としたもので、クレーンによるブロックの移動距離 50m 未満の範囲内の作業をいう。
 ただし、クレーンによる移動の範囲内で、型枠脱型場所から直接製作場所仮置場へ現場内小運搬をする場合は「型枠脱型」として取扱う。
- (2) 運搬： トラック等による運搬作業をいう。
 ただし、運搬距離が 50m 未満の場合は横取りとして取扱う。
- (3) 荷卸： トラック等から地面に置く作業をいう。
 一旦地面に置くことなく、直接ブロック据付作業を行う場合は据付作業とする。

3. 施工パッケージ

3-1 消波根固めブロック製作

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 消波根固めブロック製作 積算条件区分一覧

(積算単位:個)

消波根固め ブロック規格	型枠の種類	生コンク リート規格	1 個当り コンクリート 体積 (m ³ /個)	1 個当り型枠 面積 (m ² /個)	養生工の種別
2.5t 以下	鋼製型枠 10t 未満	(表 3. 2)	(表 3. 3)	(表 3. 3)	(表 3. 6)
	FRP 製型枠				
	直積ブロック用 鋼製型枠				
2.5t を超え 5.5 t 以下	鋼製型枠 10t 未満		(表 3. 4)	(表 3. 4)	
	FRP 製型枠				
	直積ブロック用 鋼製型枠				
5.5t を超え 11.0 t 以下	鋼製型枠 10t 未満		(表 3. 5)	(表 3. 5)	
	鋼製型枠 10t 以上 20 t 未満				
	FRP 製型枠				
	直積ブロック用 鋼製型枠				

- (注) 1. 上表は、消波根固めブロックの製作（現地で製作するコンクリート投入打設、型枠の清掃及び組立・脱型、はく離剤塗布）、養生（給熱養生を含む）の他、コンクリート打設小器材、型枠はく離剤、インパクトレンチ損料、養生シート、練炭火鉢及び養生囲い材料（シート、さん木等）、電力に関する経費等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。
2. コンクリートの材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.01）
3. 鉄筋（連結用フック含む）の加工・組立費用及び材料費は、市場単価による。
4. 給熱養生は、練炭を使用した場合である。
5. 給熱養生は、養生期間を 3 日程度としたもので、養生囲いの設置・撤去を含む。

表 3. 2 生コンクリート規格

積算条件	区 分	
コンクリート 規格	18-5-40（普通）	18-5-40（高炉）
	18-8-25（20）（普通）	18-8-25（20）（高炉）
	18-8-40（普通）	18-8-40（高炉）
	18-12-25（20）（普通）	18-12-25（20）（高炉）
	18-12-40（普通）	18-12-40（高炉）
	21-8-25（20）（普通）	21-5-40（高炉）
	21-8-40（普通）	21-8-25（20）（高炉）
	21-12-25（20）（普通）	21-8-40（高炉）
	21-12-40（普通）	24-8-25（20）（高炉）
		27-5-40（高炉）
		（各種）

表 3. 3 1 個当りコンクリート設計量－1 個当り型枠面積の区分表

【消波根固めブロック規格：2.5 t 以下】

1 個当り コンクリート 体積 (m ³)	1 個当り型枠面積 (m ²)	1 個当り コンクリート 体積 (m ³)	1 個当り型枠面積 (m ²)
0.17m ³ 以上 0.23m ³ 以下	2.00m ² 以上 2.20m ² 以下	0.57m ³ を超え 0.64m ³ 以下	3.50m ² 以上 3.96m ² 以下
	2.20m ² を超え 2.40m ² 以下		3.96m ² を超え 4.42m ² 以下
	2.40m ² を超え 2.60m ² 以下		4.42m ² を超え 4.88m ² 以下
	2.60m ² を超え 2.80m ² 以下		4.88m ² を超え 5.34m ² 以下
	2.80m ² を超え 3.00m ² 以下		5.34m ² を超え 5.80m ² 以下
0.23m ³ を超え 0.28m ³ 以下	2.20m ² 以上 2.43m ² 以下	0.64m ³ を超え 0.71m ³ 以下	3.75m ² 以上 4.27m ² 以下
	2.43m ² を超え 2.66m ² 以下		4.27m ² を超え 4.78m ² 以下
	2.66m ² を超え 2.89m ² 以下		4.78m ² を超え 5.29m ² 以下
	2.89m ² を超え 3.12m ² 以下		5.29m ² を超え 5.80m ² 以下
	3.12m ² を超え 3.35m ² 以下		5.80m ² を超え 6.31m ² 以下
0.28m ³ を超え 0.33m ³ 以下	2.37m ² 以上 2.64m ² 以下	0.71m ³ を超え 0.79m ³ 以下	4.06m ² 以上 4.62m ² 以下
	2.64m ² を超え 2.91m ² 以下		4.62m ² を超え 5.18m ² 以下
	2.91m ² を超え 3.18m ² 以下		5.18m ² を超え 5.74m ² 以下
	3.18m ² を超え 3.45m ² 以下		5.74m ² を超え 6.30m ² 以下
	3.45m ² を超え 3.72m ² 以下		6.30m ² を超え 6.86m ² 以下
0.33m ³ を超え 0.39m ³ 以下	2.59m ² 以上 2.90m ² 以下	0.79m ³ を超え 0.86m ³ 以下	4.28m ² 以上 4.90m ² 以下
	2.90m ² を超え 3.21m ² 以下		4.90m ² を超え 5.52m ² 以下
	3.21m ² を超え 3.52m ² 以下		5.52m ² を超え 6.14m ² 以下
	3.52m ² を超え 3.83m ² 以下		6.14m ² を超え 6.76m ² 以下
	3.83m ² を超え 4.14m ² 以下		6.76m ² を超え 7.38m ² 以下
0.39m ³ を超え 0.45m ³ 以下	2.81m ² 以上 3.16m ² 以下	0.86m ³ を超え 0.94m ³ 以下	7.38m ² を超え 8.00m ² 以下
	3.16m ² を超え 3.51m ² 以下		4.58m ² 以上 5.26m ² 以下
	3.51m ² を超え 3.86m ² 以下		5.26m ² を超え 5.93m ² 以下
	3.86m ² を超え 4.21m ² 以下		5.93m ² を超え 6.60m ² 以下
	4.21m ² を超え 4.56m ² 以下		6.60m ² を超え 7.27m ² 以下
0.45m ³ を超え 0.51m ³ 以下	4.56m ² を超え 4.91m ² 以下	0.94m ³ を超え 1.04m ³ 以下	7.27m ² を超え 7.94m ² 以下
	3.04m ² 以上 3.43m ² 以下		4.92m ² 以上 5.66m ² 以下
	3.43m ² を超え 3.82m ² 以下		5.66m ² を超え 6.39m ² 以下
	3.82m ² を超え 4.21m ² 以下		6.39m ² を超え 7.12m ² 以下
	4.21m ² を超え 4.60m ² 以下		7.12m ² を超え 7.85m ² 以下
	4.60m ² を超え 4.99m ² 以下		7.85m ² を超え 8.58m ² 以下
	4.99m ² を超え 5.38m ² 以下		8.58m ² を超え 9.31m ² 以下
0.51m ³ を超え 0.57m ³ 以下	5.38m ² を超え 5.77m ² 以下	1.04m ³ を超え 1.13m ³ 以下	9.31m ² を超え 10.04m ² 以下
	5.77m ² を超え 6.16m ² 以下		5.25m ² 以上 6.05m ² 以下
	3.25m ² 以上 3.69m ² 以下		6.05m ² を超え 6.84m ² 以下
	3.69m ² を超え 4.12m ² 以下		6.84m ² を超え 7.63m ² 以下
	4.12m ² を超え 4.55m ² 以下		7.63m ² を超え 8.42m ² 以下
	4.55m ² を超え 4.98m ² 以下		8.42m ² を超え 9.21m ² 以下
	4.98m ² を超え 5.41m ² 以下		

表 3. 4 1 個当りコンクリート設計量－1 個当り型枠面積の区分表

【消波根固めブロック規格：2.5 t 超え 5.5 t 以下】

1 個当り コンクリート 体積 (m ³)	1 個当り型枠面積 (m ²)	1 個当り コンクリート 体積 (m ³)	1 個当り型枠面積 (m ²)
1.05m ³ 以上 1.15m ³ 以下	5.14m ² 以上 5.94m ² 以下	1.73m ³ を超え 1.87m ³ 以下	6.61m ² 以上 7.81m ² 以下
	5.94m ² を超え 6.73m ² 以下		7.81m ² を超え 9.00m ² 以下
	6.73m ² を超え 7.52m ² 以下		9.00m ² を超え 10.19m ² 以下
	7.52m ² を超え 8.31m ² 以下		10.19m ² を超え 11.38m ² 以下
	8.31m ² を超え 9.10m ² 以下		11.38m ² を超え 12.57m ² 以下
1.15m ³ を超え 1.25m ³ 以下	5.35m ² 以上 6.21m ² 以下	1.87m ³ を超え 2.01m ³ 以下	6.91m ² 以上 8.19m ² 以下
	6.21m ² を超え 7.06m ² 以下		8.19m ² を超え 9.46m ² 以下
	7.06m ² を超え 7.91m ² 以下		9.46m ² を超え 10.73m ² 以下
	7.91m ² を超え 8.76m ² 以下		10.73m ² を超え 12.00m ² 以下
	8.76m ² を超え 9.61m ² 以下		12.00m ² を超え 13.27m ² 以下
1.25m ³ を超え 1.37m ³ 以下	5.58m ² 以上 6.50m ² 以下	2.01m ³ を超え 2.17m ³ 以下	13.27m ² を超え 14.54m ² 以下
	6.50m ² を超え 7.41m ² 以下		14.54m ² を超え 15.81m ² 以下
	7.41m ² を超え 8.32m ² 以下		7.24m ² 以上 8.60m ² 以下
	8.32m ² を超え 9.23m ² 以下		8.60m ² を超え 9.95m ² 以下
1.37m ³ を超え 1.48m ³ 以下	9.23m ² を超え 10.14m ² 以下	2.17m ³ を超え 2.33m ³ 以下	9.95m ² を超え 11.30m ² 以下
	5.87m ² 以上 6.83m ² 以下		11.30m ² を超え 12.65m ² 以下
	6.83m ² を超え 7.80m ² 以下		12.65m ² を超え 14.00m ² 以下
	7.80m ² を超え 8.77m ² 以下		7.53m ² 以上 8.99m ² 以下
	8.77m ² を超え 9.74m ² 以下		8.99m ² を超え 10.45m ² 以下
1.48m ³ を超え 1.61m ³ 以下	9.74m ² を超え 10.71m ² 以下	2.33m ³ を超え 2.51m ³ 以下	10.45m ² を超え 11.91m ² 以下
	6.04m ² 以上 7.08m ² 以下		11.91m ² を超え 13.37m ² 以下
	7.08m ² を超え 8.12m ² 以下		13.37m ² を超え 14.83m ² 以下
	8.12m ² を超え 9.16m ² 以下		7.95m ² 以上 9.49m ² 以下
	9.16m ² を超え 10.20m ² 以下		9.49m ² を超え 11.02m ² 以下
1.61m ³ を超え 1.73m ³ 以下	10.20m ² を超え 11.24m ² 以下		11.02m ² を超え 12.55m ² 以下
	11.24m ² を超え 12.28m ² 以下		12.55m ² を超え 14.08m ² 以下
	6.34m ² 以上 7.46m ² 以下		14.08m ² を超え 15.61m ² 以下
	7.46m ² を超え 8.58m ² 以下		
	8.58m ² を超え 9.70m ² 以下		
	9.70m ² を超え 10.82m ² 以下		
	10.82m ² を超え 11.94m ² 以下		

表 3. 5 1 個当りコンクリート設計量－1 個当り型枠面積の区分表

【消波根固めブロック規格：5.5 t を超え 11.0 t 以下】

1 個当り コンクリート 体積 (m³)	1 個当り型枠面積 (m²)	1 個当り コンクリート 体積 (m³)	1 個当り型枠面積 (m²)
2.20m³ 以上 2.40m³ 以下	10.01m² 以上 11.59m² 以下	3.45m³ を超え 3.70m³ 以下	12.23m² 以上 14.51m² 以下
	11.59m² を超え 13.15m² 以下		14.51m² を超え 16.79m² 以下
	13.15m² を超え 14.73m² 以下		16.79m² を超え 19.07m² 以下
2.40m³ を超え 2.60m³ 以下	10.38m² 以上 12.08m² 以下	3.70m³ を超え 3.96m³ 以下	12.86m² 以上 15.28m² 以下
	12.08m² を超え 13.76m² 以下		15.28m² を超え 17.70m² 以下
	13.76m² を超え 15.46m² 以下		17.70m² を超え 20.12m² 以下
2.60m³ を超え 2.80m³ 以下	10.74m² 以上 12.56m² 以下	3.96m³ を超え 4.23m³ 以下	13.33m² 以上 15.93m² 以下
	12.56m² を超え 14.36m² 以下		15.93m² を超え 18.51m² 以下
	14.36m² を超え 16.18m² 以下		18.51m² を超え 21.11m² 以下
2.80m³ を超え 3.00m³ 以下	11.12m² 以上 13.04m² 以下	4.23m³ を超え 4.53m³ 以下	21.11m² を超え 23.71m² 以下
	13.04m² を超え 14.96m² 以下		13.87m² 以上 16.61m² 以下
	14.96m² を超え 16.88m² 以下		16.61m² を超え 19.35m² 以下
3.00m³ を超え 3.22m³ 以下	11.51m² 以上 13.53m² 以下	4.53m³ を超え 4.84m³ 以下	19.35m² を超え 22.09m² 以下
	13.53m² を超え 15.55m² 以下		22.09m² を超え 24.83m² 以下
	15.55m² を超え 17.57m² 以下		14.45m² 以上 17.37m² 以下
	17.57m² を超え 19.59m² 以下		17.37m² を超え 20.27m² 以下
3.22m³ を超え 3.45m³ 以下	11.94m² 以上 14.10m² 以下		20.27m² を超え 23.19m² 以下
	14.10m² を超え 16.24m² 以下		
	16.24m² を超え 18.40m² 以下		

表 3. 6 養生工の種類

積算条件	区 分
養生工の種別	一般
	給熱

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 7 消波根固めブロック製作 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格	備 考
機械	K1 ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)]25t 吊	賃料
	K2 ー	
	K3 ー	
労務	R1 普通作業員	
	R2 特殊作業員	
	R3 土木一般世話役	
	R4 ー	
材料	Z1 生コンクリート 高炉 21-8-25 (20) W/C 55%	
	Z2 鋼製型枠 異形ブロック 10 t 未満	賃料
	Z3 練炭 マッチ練炭 4 号	給熱養生の場合
	Z4 ー	
市場単価	S ー	

3-2 消波根固めブロック横取り

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 8 消波根固めブロック横取り 積算条件区分一覧 (積算単位：個)

消波根固めブロック規格	クレーン機種
2.5 t 以下	(表 3. 9)
2.5 t を超え 5.5 t 以下	
5.5 t を超え 11.0 t 以下	

- (注) 1. 上表は、消波根固めブロックの横取り、ワイヤーロープ等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。
 2. クレーンによるブロックの移動距離 50m 未満の範囲とする。

表 3. 9 クレーン機種

積算条件	区分
クレーン機種	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25 t 吊
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 35 t 吊
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 45 t 吊
	ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 50 t 吊

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 10 消波根固めブロック横取り 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)]50t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	—	
材 料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-3 消波根固めブロック積込

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 11 消波根固めブロック積込 積算条件区分一覧 (積算単位：個)

消波根固めブロック規格	クレーン機種
2.5 t 以下	(表 3. 9)
2.5 t を超え 5.5 t 以下	
5.5 t を超え 11.0 t 以下	

(注) 上表は、消波根固めブロックの積込、ワイヤーロープ等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 消波根固めブロック積込 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 50t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	—	
材 料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-4 消波根固めブロック荷卸

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 13 消波根固めブロック荷卸 積算条件区分一覧 (積算単位：個)

消波根固めブロック規格	クレーン機種
2.5 t 以下	(表 3. 9)
2.5 t を超え 5.5 t 以下	
5.5 t を超え 11.0 t 以下	

(注) 上表は、消波根固めブロックの荷卸、ワイヤーロープ等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料を含む）を含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 14 消波根固めブロック荷卸 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)]25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)]35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)]45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型 (第1次基準値)]50t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	土木一般世話役	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	普通作業員	
	R 4	—	
材 料	Z 1	—	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-5 消波根固めブロック据付

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 15 消波根固めブロック据付 積算条件区分一覧

(積算単位：個)

消波根固めブロック規格	据付場所	消波根固めブロック 10 個当 り連結金具 設置数量	据付方法	クレーン 機種
2.5 t 以下	陸上	実数入力	乱積	(表 3. 9)
			層積	
	水中		乱積	
			層積	
2.5 t を超え 5.5 t 以下	陸上		乱積	
			層積	
	水中		乱積	
			層積	
5.5 t を超え 11.0 t 以下	陸上		乱積	
			層積	
	水中		乱積	
			層積	

(注) 1. 上表は、消波根固めブロックの据付の他、連結金具、ワイヤーロープ等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。

2. 据付け(水中)とは、据付作業の内、玉外し作業又はブロックの据付位置の確認作業を水中で行う場合に適用する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 16 消波根固めブロック据付 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）]25t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）]35t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）]45t 吊	賃料
		ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型（第1次基準値）]50t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	据付場所が「陸上」の場合
		潜水士	据付場所が「水中」の場合
	R 3	特殊作業員	据付場所が「陸上」の場合
		潜水連絡員	据付場所が「水中」の場合
	R 4	潜水送気員	据付場所が「水中」の場合
材 料	Z 1	連結金具（根固めブロック用）φ16	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3－6 消波根固めブロック運搬

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 17 消波根固めブロック運搬 積算条件区分一覧 (積算単位：個)

消波根固め ブロック規格	作業区分	トラック1台当り ブロック積載個数	トラック1台当り 運搬距離
2.5 t 以下	積込・荷卸	(表 3. 18)	(表 3. 19)
	積込・据付（乱積）		
	積込・据付（層積）		
2.5 t を超え 5.5 t 以下	積込・荷卸		
	積込・据付（乱積）		
	積込・据付（層積）		
5.5 t を超え 11.0 t 以下	積込・荷卸		
	積込・据付（乱積）		
	積込・据付（層積）		

- (注) 1. 上表は、消波根固めブロックの仮置き時又は据付時の運搬、ワイヤーロープ等、その施工に要するすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。
3. 片道運搬距離が 15 km を超える場合は、別途考慮すること。

表 3. 18 トラック 1 台当りブロック積載個数 (n)

積算条件	2.5 t 以下	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下
トラック 1 台当り ブロック積載個数	1 個	1 個	1 個
	2 個		
	3 個		
	4 個	2 個	
	5 個		
	6 個		
	7 個	3 個	2 個
	8 個		
	9 個		
	10 個	4 個	
	11 個以上 15 個以下		
	15 個を超え 23 個以下		

- (注) トラック 1 台当りブロック積載個数 (n) はブロックの形状、寸法及びトラック等の荷台寸法、積載質量を考慮して決定するが、一般の場合は下記による。

$$n = X / W \text{ (小数以下切り捨て)}$$

X : トラック等の積載質量 (t)

W : ブロック 1 個当りの質量 (実質量) (t)

表 3. 19 トラック 1 台当り運搬距離

積算条件	区 分	区 分
トラック 1 台当り 運搬距離	0.5km 以下	6.0km 以下
	1.0km 以下	6.5km 以下
	1.5km 以下	7.0km 以下
	2.0km 以下	7.5km 以下
	2.5km 以下	8.5km 以下
	3.0km 以下	9.5km 以下
	3.5km 以下	10.5km 以下
	4.0km 以下	11.5km 以下
	4.5km 以下	12.5km 以下
	5.0km 以下	14.0km 以下
	5.5km 以下	15.0km 以下

- (注) 1. 運搬距離は片道であり、往路と復路が異なる場合は、平均値とする。
2. 片道運搬距離が 15km を超える場合は、別途考慮すること。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 20 消波根固めブロック運搬 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	トラック[普通型] 10～11t 積	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	運転手 (一般)	
	R 2	—	
	R 3	—	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

② 捨石工

1. 適用範囲

本資料は、河川及び海岸工事における護岸の根固めを目的とした、捨石工に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 捨石

(1) 捨石質量 1,000kg 以下/個の陸上からの施工を行う場合

1-1-2 表面均し

(1) 施工期間中の平均水位以上の陸上の表面を均す場合

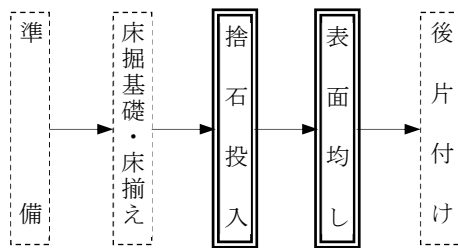
1-2 適用できない範囲

1-2-1 表面均し（水中部）

(1) 潜水土等を用いて水中部の表面を均す場合

2. 施工概要

施工フローは、次図を標準とする。



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 捨石

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 捨石 積算条件区分一覧

(積算単位：m³)

最大作業半径
9 m以下
9 mを超え 24m以下

- (注) 1. 上表は、捨石の投入の他、ワイヤモック等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
ただし、捨石（材料費）は含まない。
2. 捨石規格、作業半径、現場条件により、表 3. 2 に示す代表機械により難しい場合は、別途考慮する。
3. 捨石の材料費は別途計上する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 捨石 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 25t 吊	・最大作業半径が9 mを超え 24m 以下の場合 ・賃料
	K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	
	K3	—	
労務	R1	運転手(特殊)	
	R2	普通作業員	
	R3	特殊作業員	最大作業半径が9 mを超え 24m 以下の場合
	R4	土木一般世話役	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-2 捨石(材料費)

(1) 条件区分

捨石(材料費)における積算条件区分はない。

積算単位は、m³とする。

(注) 捨石材料の使用量は、設計量に次表のロス率を割増しする。

$$\text{使用量 (m}^3\text{)} = \text{設計量 (m}^3\text{)} \times (1 + K)$$

表 3. 3 ロス率(K)

ロ ス 率	0.21
-------	------

(注) 1. 上表のロス率には、間詰、中詰石の数量を含む。

2. 現場条件(軟弱地盤等)で、上表により難しい場合は、別途考慮する。

3-3 表面均し

(1) 条件区分

表面均しにおける積算条件区分はない。

積算単位は、m²とする。

(注) 1. 根固め等のために投入した捨石の表面均し、人力による間詰、中詰石の現場内小運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。

2. 捨石規格、作業半径、現場条件により、表 3.4 に示す代表機械により難しい場合は、別途考慮する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 表面均し 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	運転手（特殊）	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	—	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

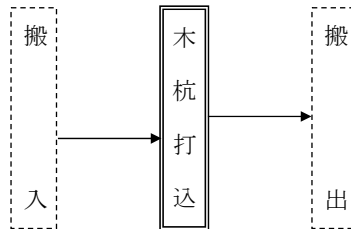
③ 多自然型護岸工（木杭打工）

1. 適用範囲

本資料は、河川における多自然護岸工の施工で、杭長3.5m以下の木杭の打込みに適用する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



（注） 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 木杭打

（1）条件区分

木杭打における積算条件区分はない。

積算単位は、本とする。

（注）護岸等における大型ブレーカ（バックホウ装着式）による木杭打込みの他、大型ブレーカの先に付ける木杭打込用のキャップの費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

（2）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 1 多自然型護岸工 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型） [標準型・排出ガス対策型(第1次基準値)] 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）	
	K 2	大型ブレーカ（ベースマシン含まず）[油圧式] 質量 600～800kg 級	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	—	
材料	Z 1	杭丸太（松）長さ 2.0m×末口 12 c m 皮付 先端加工	
	Z 2	軽油 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

7. 管水路工

①	遠心力鉄筋コンクリート管（B形）機械布設.....	920
---	---------------------------	-----

7. 管水路工

① 遠心力鉄筋コンクリート管（B形）機械布設

1. 適用範囲

本資料は、遠心力鉄筋コンクリート管（B形）の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

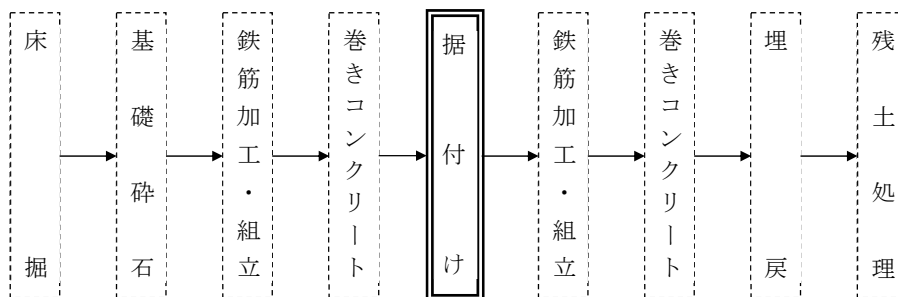
- （１）遠心力鉄筋コンクリート管（B形）の据付、撤去、据付・撤去の場合
- （２）遠心力鉄筋コンクリート管（B形）を仮設に使用する場合

1-2 適用できない範囲

- （１）巻きコンクリート（固定基礎）を含む撤去、据付・撤去の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- （注） 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 基礎砕石、巻きコンクリート、鉄筋加工・組立は、必要に応じて別途計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 遠心力鉄筋コンクリート管（B形）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 遠心力鉄筋コンクリート管（B形） 積算条件区分一覧 （積算単位：m）

作業区分	管 径	規 格
据付	(表 3. 2) (表 3. 3)	外圧管 1 種
		外圧管 2 種
		各種
撤去	(表 3. 2) (表 3. 3)	—
据付・撤去	(表 3. 2) (表 3. 3)	外圧管 1 種
		外圧管 2 種
		各種

（注） 1. 上表は、遠心力鉄筋コンクリート管（B形）の据付、現場内小運搬、コンクリートカット運転の費用、滑材、遠心力鉄筋コンクリート管（B形）損失分の費用、カットブレードの損耗費、レバブロック及びワイヤーロープ損料等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 撤去作業、据付・撤去作業は、遠心力鉄筋コンクリート管（B形）のみを対象としている。

表 3. 2 管径①

積算条件	区 分
管 径	200mm
	250mm
	300mm
	350mm
	400mm
	450mm
	500mm
	600mm
	700mm
	800mm
	900mm
	1,000mm

表 3. 3 管径②

積算条件	区 分
管 径	1,100mm
	1,200mm
	1,350mm

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 遠心力鉄筋コンクリート管 (B 形) 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]25 t 吊	・ 賃料 ・ 管径が 1,100～1,350mm の場合
		バックホウ (クローラ型) [後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型(2014 年規制)]山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	・ 賃料 ・ 管径が 200～1,000mm の場合
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	普通作業員	
	R 2	運転手 (特殊)	管径が 200～1,000mm の場合
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	特殊作業員	
材 料	Z 1	遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 200 長さ 2.00m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 200mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 250 長さ 2.00m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 250mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 300 長さ 2.00m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 300mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 350 長さ 2.00m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 350mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 400 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 400mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 450 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 450mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 500 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 500mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 600 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 600mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 700 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 700mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 800 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 800mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 900 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 900mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 1,000 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,000mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 1,100 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,100mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 1,200 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,200mm の場合
		遠心力鉄筋コンクリート管 B 形 外圧 1 種 径 1,350 長さ 2.43m	作業区分が据付又は据付・撤去で、管径が 1,350mm の場合
	Z 2	軽油 パトロール給油	管径が 200～1,000mm の場合
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

8. 道 路 工

①	安定処理工	924
②	路盤工	927
③	アスファルト舗装工	936
④	マンホール据付	946
⑤	プレキャストL形側溝	948
⑥	暗渠排水管布設	950
⑦	路側工(据付け)	953
⑧	路側工(取外し)	958
⑨	防雪柵設置工	960
⑩	橋梁排水管設置工	966

8. 道 路 工

① 安定処理工

1. 適用範囲

本資料は、地盤改良工における安定処理に適用する。

(1) スタビライザ混合

現位置での路上混合作業で、混合深さ 1 m まで、かつ 1 層までの混合に適用する。

なお、1 層の混合深さが 1 m を超える場合や 2 層以上混合する場合は、別途考慮する。

(2) バックホウ混合

現場条件によりスタビライザによる施工が出来ない路床改良工事のうち 1 層の混合深さが路床 1 m 以下における現位置での混合作業、又は構造物基礎の地盤改良工事で 1 層の混合深さが 2 m 以下における現位置での混合作業に適用する。

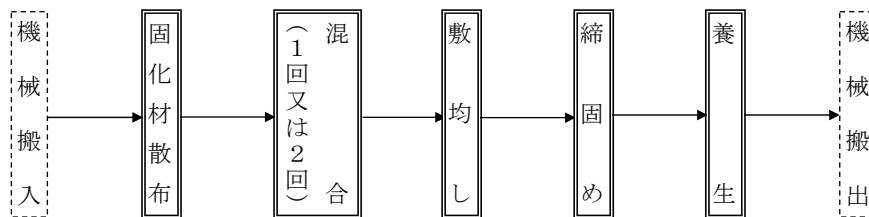
なお、固化材はセメント系のみとし、路床改良における適用可能な現場条件とは次のいずれかに該当する箇所とする。

- ① 施工現場が狭隘な場合
- ② 転石がある場合
- ③ 移設出来ない埋設物がある場合

2. 施工概要

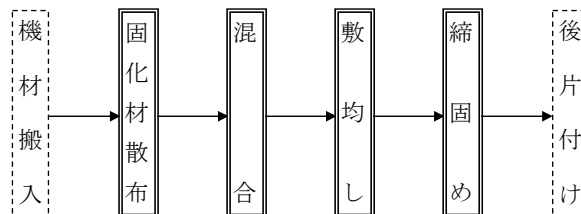
施工フローは、下記を標準とする。

(1) スタビライザ混合



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 養生中の飛散防止等の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。

(2) バックホウ混合



- (注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 安定処理

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 安定処理 積算条件区分一覧

(積算単位：m²)

使用機種	施工箇所	混合深さ	固化材 100m ² 当り 使用量	混合回数
スタビライザ	－	0.6m 以下	(実数入力)	1 回
				2 回
		0.6m を超え 1 m 以下		1 回
				2 回
バックホウ	路床	1 m 以下		－
	構造物基礎	1 m 以下		－
		1 m を超え 2 m 以下		－

(注) 1. 上表は、地盤表層部もしくは路床、構造物基礎の改良材散布混合、敷均し・締固め、養生中の飛散防止(シート掛け)、現場内小運搬(スタビライザは 100m 程度の仮置場～現場、バックホウの現場内小運搬(固化材の荷卸を含む))等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費(損料を含む)を含む。

2. スタビライザ施工の混合回数は、消石灰・セメント系は 1 回、生石灰は 2 回を標準とする。ただし、土質状態により、これにより難い場合は、別途考慮する。

3. 条件区分の「固化材 100m² 当り使用量」は、実数量(材料ロスを含んだ数量)とする。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 安定処理 代表機労材規格一覧

使用機種	施工箇所	項目		代表機労材規格	備考
スタビライザ	—	機械	K1	スタビライザ[路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 幅 2.0m 深 0.6m	混合深さ 0.6m 以下の場合
				スタビライザ[路床改良用・排出ガス対策型(第2次基準値)] 幅 2.0m 深 1.2m	混合深さ 0.6m を超え 1 m 以下の場合
			K2	バックホウ(クローラ型)[標準型・超低騒音型・クレーン機能付]排出ガス対策型(第3次基準値)山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³) 2.9 t 吊	賃料
			K3	ブルドーザ湿地[低騒音型・排出ガス対策型(第2次基準値)] 7 t 級	賃料
		労務	R1	運転手(特殊)	
			R2	普通作業員	
			R3	土木一般世話役	
			R4	—	
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1 トンパック	
			Z2	軽油 パトロール給油	
			Z3	—	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	

(つづく)

(つづき)

使用機種	施工箇所	項目		代表機材規格	備考
バックホウ	路床	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付〕 排出ガス対策型（2011年規制） 山積 0.5 m ³ （平積 0.4 m ³ ） 2.9 t 吊	賃料
			K2	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 質量 8～20 t	賃料
			K3	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 質量 3～4 t	賃料
		労務	R1	運転手（特殊）	
			R2	普通作業員	
			R3	土木一般世話役	
			R4	—	
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1 トンパック	
			Z2	軽油 パトロール給油	
			Z3	—	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	
バックホウ	構造物基礎	機械	K1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・超低騒音型・クレーン機能付〕 排出ガス対策型（第3次基準値） 山積 0.8 m ³ （平積 0.6 m ³ ） 2.9 t 吊	賃料
			K2	振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕 質量 0.8～1.1 t	賃料
			K3	—	
		労務	R1	土木一般世話役	
			R2	特殊作業員	
			R3	運転手（特殊）	
			R4	普通作業員	
		材料	Z1	セメント系固化材 一般軟弱土用・フレコン・1 トンパック	
			Z2	軽油 パトロール給油	
			Z3	—	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	

（注）バックホウ及び振動ローラは、賃料とする。

② 路盤工

1. 適用範囲

本資料は、アスファルト舗装及びコンクリート舗装工事の路盤工（瀝青安定処理路盤を含む）に適用する。

1-1 適用できる範囲

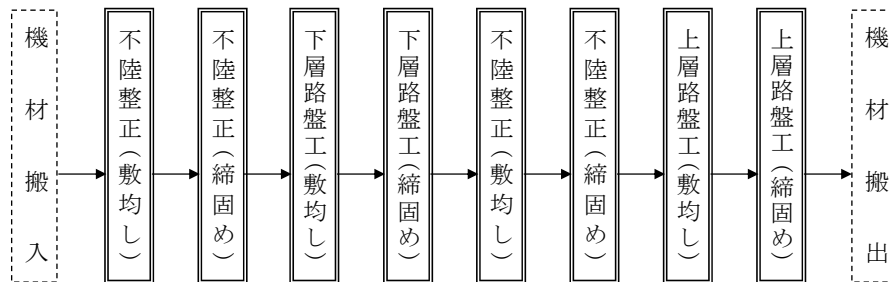
- (1) 路盤・路床面等の不陸整正
- (2) 1層当りの仕上り厚さが20cmまでの下層路盤
- (3) 1層当りの仕上り厚さが15cmまで（瀝青安定処理路盤の場合は10cmまで）の上層路盤
- (4) 舗装構成が車道部と同じ場合の路肩部の路盤

1-2 適用できない範囲

- (1) 瀝青安定処理路盤の締固め後密度 2.30t/m^3 未満、 2.40t/m^3 以上の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 不陸整正は（敷均し・締固め）、必要に応じて計上する。
3. 下層路盤工（下層路盤（車道・路肩部）、下層路盤（歩道部））は、凍上抑制層の施工にも適用する。
4. 現道における情報ボックス工事、路盤の部分的な補修工事等は、歩道部を適用する。

3. 施工パッケージ

3-1 不陸整正

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 不陸整正 積算条件区分一覧

（積算単位： m^2 ）

補足材料の有無	補足材料平均厚さ	補足材料
無し	—	—
有り	（表 3. 2）	（表 3. 3）

- (注) 1. 上表は、路盤・路床面等の不陸整正（補足材料がある場合も含む）等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 補足材料の材料ロスを含む。（標準ロス率は、 $+0.27$ ）

表 3. 2 補足材料平均厚さ

積算条件	区 分
補足材料平均厚さ	1 mm 以上 3 mm 未満
	3 mm 以上 6 mm 未満
	6 mm 以上 9 mm 未満
	9 mm 以上 13mm 未満
	13mm 以上 17mm 未満
	17mm 以上 21mm 未満
	21mm 以上 25mm 未満
	25mm 以上 29mm 未満
	29mm 以上 34mm 未満
	34mm 以上 39mm 未満
	39mm 以上 44mm 未満
	44mm 以上 49mm 未満
	49mm 以上 55mm 未満
	55mm 以上 61mm 未満
	61mm 以上 67mm 未満
	67mm 以上 75mm 未満

表 3. 3 補足材料

積算条件	区 分
補足材料	クラッシュラン (C-20)
	クラッシュラン (C-30)
	クラッシュラン (C-40)
	再生クラッシュラン (RC-30)
	再生クラッシュラン (RC-40)
	再生粒度調整碎石 (RM-30)
	再生粒度調整碎石 (RM-40)
	粒度調整碎石 (M-25)
	粒度調整碎石 (M-30)
	粒度調整碎石 (M-40)
	補足材料 (各種)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージ使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 不陸整正 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	モータグレーダ [土工用・排出ガス対策型 (第2次基準値)] ブレード幅 3.1m	
	K2	ロードローラ [マカダム・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 質量 10 t 締固め幅 2.1m	
	K3	タイヤローラ [普通型・排出ガス対策型 (第2次基準値)] 質量 8 ～ 20 t	賃料
労務	R1	運転手 (特殊)	
	R2	特殊作業員	
	R3	普通作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	再生クラッシュラン RC-40	補足材料有りの場合
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-2 下層路盤(車道・路肩部)

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 5 下層路盤 (車道・路肩部) 積算条件区分一覧 (積算単位: m²)

全仕上り厚	施工区分	材 料
実数入力	1 層施工	(表 3. 6)
	2 層施工	
	3 層施工	
	4 層施工	
	5 層施工	
	6 層施工	

- (注) 1. 上表は、車道部及び路肩部の下層路盤 (凍上抑制層がある場合も含む) の路盤材数均し・締固めの他、散水、タンパ・ランマによる締固め補助、小型バックホウ及び振動ローラによる補助作業等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。
2. 施工区分は、一層当りの仕上り厚を 20cm として施工層数を算出し、決定する。
 なお、施工層数は小数点以下を切り上げるものとする。
 (例: 全仕上がり厚が 500mm の場合 $500\text{mm}/200\text{mm}=2.5 \cdots \rightarrow 3$ 層施工)
3. 路盤材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.27)

表 3. 6 材料

積算条件	区 分
材 料	クラッシャラン C-20
	クラッシャラン C-30
	クラッシャラン C-40
	再生クラッシャラン RC-30
	再生クラッシャラン RC-40
	路盤材各種

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 7 下層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格	備 考
機 械	K1 モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 ブレード幅 3.1m	
	K2 ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 質量 10 t 締固め幅 2.1m	
	K3 タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 質量 8 ～ 20 t	賃料
労 務	R1 特殊作業員	
	R2 運転手（特殊）	
	R3 普通作業員	
	R4 土木一般世話役	
材 料	Z1 クラッシャラン C-40	
	Z2 軽油 パトロール給油	
	Z3 ー	
	Z4 ー	
市場単価	S ー	

3-3 下層路盤（歩道部）

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 8 下層路盤（歩道部） 積算条件区分一覧 (積算単位：m²)

全仕上り厚	施工区分	材 料
実数入力	1 層施工	(表 3. 9)
	2 層施工	
	3 層施工	

(注) 1. 上表は、歩道部の下層路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水、タンパ・ランマによる締固め補助等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 施工区分は、一層当りの仕上り厚を 20cm として施工層数を算出し、決定する。

なお、施工層数は小数点以下を切り上げるものとする。

(例：全仕上がり厚が 300mm の場合 300mm/200mm=1.5 … → 2 層施工)

3. 路盤材の材料ロスを含む。(標準ロス率は、+0.27)

表 3. 9 材料

積算条件	区 分
材 料	クラッシャラン C-20
	クラッシャラン C-30
	クラッシャラン C-40
	再生クラッシャラン RC-30
	再生クラッシャラン RC-40
	路盤材各種

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 10 下層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	小型バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）	賃料
	K2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 質量 3～4 t	賃料
	K3	—	
労務	R1	普通作業員	
	R2	運転手（特殊）	
	R3	特殊作業員	
	R4	—	
材料	Z1	再生クラッシャラン RC-40	
	Z2	軽油 パトロール給油	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-4 上層路盤（車道・路肩部）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 11 上層路盤（車道・路肩部） 積算条件区分一覧

（積算単位：m²）

材 料	平均幅員	1 層当り平均 仕上り厚	全仕上り厚	施工区分	瀝青材料 種類
（表 3. 12）	1.4m未満 （1 層当り平均仕上り厚 50mm 以下）	実数入力	—	—	（表 3. 14）
	1.4m未満 （1 層当り平均仕上り厚 50mm を超え 100mm 以下）				
	1.4m以上 3.0m以下				
	3.0m超				
（表 3. 13）	—	—	実数入力	1 層施工	—
				2 層施工	
				3 層施工	

- （注）1. 上表で材料が瀝青安定処理材の場合、アスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 上表で材料が粒度調整碎石の場合、路盤材敷均し・締固めの他、散水、タンパ・ランマによる締固め補助、小型バックホウ及び振動ローラによる補助作業等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
3. 施工区分は、一層当りの仕上り厚を 15cm として施工層数を算出し、決定する。
なお、施工層数は小数点以下を切り上げるものとする。
（例：全仕上がり厚が 400mm の場合 $400\text{mm}/150\text{mm}=2.66 \cdots \rightarrow 3$ 層施工）
4. 路盤材及びアスファルト混合物の材料ロスを含む。標準ロス率は、路盤材が +0.27、アスファルト混合物が +0.07 とする。
5. 瀝青安定処理材は一層分の施工となっており、複数層を施工する場合は、本施工パッケージを層数分計上する。

表 3. 12 瀝青安定処理材種類

積算条件	区 分	標準締固め後密度 (t/m ³)
材料	瀝青安定処理材（25）	2.35
	瀝青安定処理材（30）	〃
	瀝青安定処理材（40）	〃
	再生瀝青安定処理材（40）	〃
	路盤材（各種）	2.30 以上～2.40 未満

表 3. 13 粒度調整碎石種類

積算条件	区 分
材料	再生粒度調整碎石（RM-30）
	再生粒度調整碎石（RM-40）
	粒度調整碎石（M-25）
	粒度調整碎石（M-30）
	粒度調整碎石（M-40）
	路盤材（各種）

表 3. 14 瀝青材料種類

積算条件	区 分
瀝青材料種類	タックコート（PK-4）
	プライムコート（PK-3）
	タックコート（各種）
	プライムコート（各種）

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 15 上層路盤（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

材料	平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
瀝青 安定 処理	1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ(舗装用) [ハンドガイド式] 質量 0.5～0.6 t	
			K2	振動コンパクタ [前進型] 質量 40～60kg	
			K3	—	
		労務	R1	特殊作業員	
			R2	普通作業員	
			R3	土木一般世話役	
			R4	—	
		材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)	
			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プ ラ イ ム コート の 場 合
				アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タ ッ ク コ ー ト の 場 合
			Z3	ガソリン レギュラー スタンド	
			Z4	軽油 パトロール給油	
		市場単価	S	—	
	1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー[ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型(2014年規制)] 舗装幅 1.4～3.0m	賃料
			K2	振動ローラ [搭乗・コンバインド式・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 質量 3～4 t	賃料
			K3	タイヤローラ [普通型・超低騒音型・排出ガス対策型(第3次基準値)] 質量 3～4 t	賃料
		労務	R1	普通作業員	
			R2	特殊作業員	
			R3	運転手(特殊)	
			R4	土木一般世話役	
		材料	Z1	アスファルト混合物(安定処理材) AS 安定処理(40)	
			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プ ラ イ ム コート の 場 合
				アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タ ッ ク コ ー ト の 場 合
			Z3	軽油 パトロール給油	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	

(つづく)

(つづき)

材料	平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
瀝青 安定 処理	3.0m 超	機械	K1	アスファルトフィニッシャー〔ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕 舗装幅 2.3～6.0m	賃料
			K2	ロードローラ〔マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 質量 10 t 締固め幅 2.1m	賃料
			K3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）〕 質量 13 t	賃料
		労務	R1	普通作業員	
			R2	特殊作業員	
			R3	運転手（特殊）	
			R4	土木一般世話役	
		材料	Z1	アスファルト混合物（安定処理材） AS 安定処理（40）	
			Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プ ラ イ ム コートの 場 合
				アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タ ッ ク コ ー トの場合
			Z3	軽油 パトロール給油	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	
粒度 調整 碎石	—	機械	K1	モータグレーダ〔土工用・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 ブレード幅 3.1m	
			K2	ロードローラ〔マカダム・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 質量 10 t 締固め幅 2.1m	
			K3	タイヤローラ〔普通型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 質量 8～20 t	賃料
		労務	R1	運転手（特殊）	
			R2	特殊作業員	
			R3	普通作業員	
			R4	土木一般世話役	
		材料	Z1	再生粒度調整碎石 RM-40	
			Z2	軽油 パトロール給油	
			Z3	—	
			Z4	—	
		市場単価	S	—	

3-5 上層路盤（歩道部）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 16 上層路盤（歩道部） 積算条件区分一覧（積算単位：m²）

全仕上り厚	施工区分	材 料
実数入力	1 層施工	（表 3. 17）
	2 層施工	
	3 層施工	

（注） 1. 上表は、歩道部の上層路盤の路盤材敷均し・締固めの他、散水、タンパ・ランマによる締固め補助等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 施工区分は、一層当りの仕上り厚を 15cm として施工層数を算出し、決定する。

なお、施工層数は小数点以下を切り上げるものとする。

（例：全仕上がり厚が 200mm の場合 $200\text{mm}/150\text{mm}=1.33 \cdots \rightarrow 2$ 層施工）

3. 路盤材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.27）

表 3. 17 材料

積算条件	区 分
材 料	再生粒度調整碎石 (RM-30)
	再生粒度調整碎石 (RM-40)
	粒度調整碎石 (M-25)
	粒度調整碎石 (M-30)
	粒度調整碎石 (M-40)
	路盤材（各種）

（2）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 18 上層路盤（歩道部） 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）] 山積 0.11m ³ （平積 0.08m ³ ）	賃料
	K 2	振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型（第 1 次基準値）] 質量 3～4 t	賃料
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	運転手（特殊）	
	R 3	特殊作業員	
	R 4	—	
材料	Z 1	再生粒度調整碎石 RM-30	
	Z 2	軽油 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

③ アスファルト舗装工

1. 適用範囲

本資料は、舗装工における基層・中間層・表層及び縁石工におけるアスカーブに適用する。

1-1 適用できる範囲

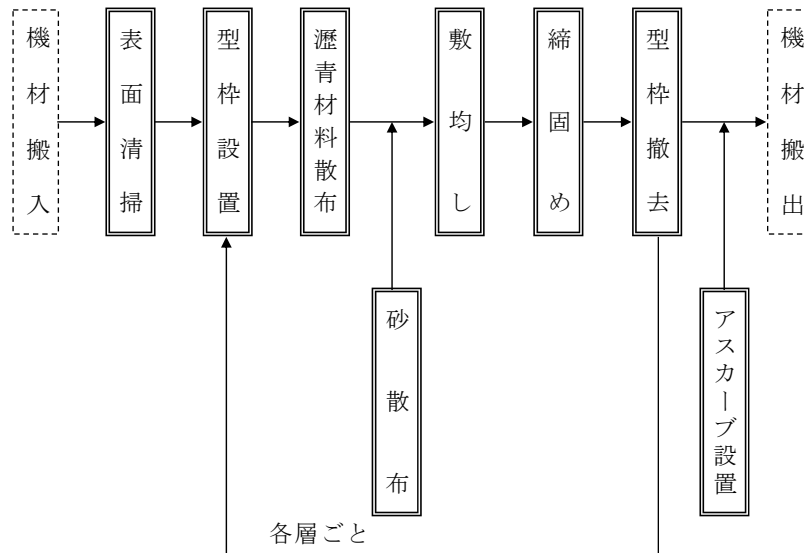
- (1) アスファルト混合物が購入方式の場合
- (2) 施工箇所が車道・路肩部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合
- (3) 施工箇所が歩道部で1層当り平均仕上り厚が70mm以下の場合
- (4) 断面積が125cm²以上、300cm²未満のアスカーブの場合

1-2 適用できない範囲

- (1) アスファルト混合物が現地プラント方式の場合
- (2) アスファルト混合物の締固め後密度が1.90t/m³未満、2.50t/m³以上の場合
- (3) 瀝青材料散布後に砂散布が必要な場合のうち、瀝青材料がプライムコート以外の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 瀝青材料がプライムコートの場合、砂散布の有無にかかわらず本施工パッケージを適用できる。

3. 施工パッケージ

3-1 基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部）・表層（車道・路肩部）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部）・表層（車道・路肩部） 積算条件区分一覧

（積算単位：m²）

平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材 料	瀝青材料種類
1.4m 未満 (1層当り平均仕上り厚 50mm 以下)	実数入力	(表 3. 2)	(表 3. 3)
1.4m 未満 (1層当り平均仕上り厚 50mm を超え 70mm 以下)			
1.4m 以上 3.0m 以下			
3.0m 超			

- （注）1. 上表は、車道・路肩部における基層、中間層又は表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.07）
3. 瀝青材料の材料ロスを含む。なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m²とする。
4. 面積＝本線＋すりつけ部＋非常駐車帯とする。
5. 幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は平均幅員 1.4m 未満を適用する。

表 3. 2 材料

積算条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固め後密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固め後密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン (20)	2.35	細粒度アスコン (13)	2.30
	密粒度アスコン (13)	〃	細粒度アスコン (13F)	〃
	密粒度アスコン (20F)	〃	細粒度ギャップアスコン (13F)	〃
	密粒度アスコン (13F)	〃	再生細粒度アスコン (13)	〃
	密粒度ギャップアスコン (13)	〃	開粒度アスコン (13)	1.94
	密粒度ギャップアスコン (13F)	〃	各種 (1.90 以上 2.50t/m ³ 未満)	1.90 以上～ 2.50 未満
	粗粒度アスコン (20)	〃		
	再生密粒度アスコン (20)	〃		
	再生密粒度アスコン (13)	〃		
	再生粗粒度アスコン (20)	〃		

表 3. 3 瀝青材料種類

積算条件	区 分
瀝青材料種類	タックコート (PK-4)
	プライムコート (PK-3)
	タックコート (各種)
	プライムコート (各種)
	無し

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 基層（車道・路肩部）・中間層（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕 質量 0.5～0.6 t	
		K2	振動コンパクタ〔前進型〕 質量 40～60kg	
		K3	—	
	労務	R1	特殊作業員	
		R2	普通作業員	
		R3	土木一般世話役	
		R4	—	
	材料	Z1	再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.50 t/m ³ 未満）
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの 場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場 合
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド	
		Z4	軽油 パトロール給油	
	市場単価	S	—	
1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K1	アスファルトフィニッシャー〔ホイール型・低騒音型・ 排出ガス対策型（2014 年規制）〕舗装幅 1.4～3.0m	賃料
		K2	振動ローラ〔搭乗・コンバインド式・超低騒音型・ 排出ガス対策型（第3次基準値）〕質量 3～4 t	賃料
		K3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型 （第3次基準値）〕質量 3～4 t	賃料
	労務	R1	普通作業員	
		R2	特殊作業員	
		R3	運転手（特殊）	
		R4	土木一般世話役	
	材料	Z1	再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.50t/m ³ 未満）
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの 場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場 合
		Z3	軽油 パトロール給油	
		Z4	—	
	市場単価	S	—	

（つづく）

平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
3.0m 超	機械	K1	アスファルトフィニッシャ〔ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014年規制）〕舗装幅 2.3～6.0m	賃料
		K2	ロードローラ〔マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕質量 10t 締固め幅 2.1m	賃料
		K3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011年規制）〕質量 13t	賃料
	労務	R1	普通作業員	
		R2	特殊作業員	
		R3	運転手（特殊）	
		R4	土木一般世話役	
	材料	Z1	再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			再生粗粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90以上 2.50t/m ³ 未満）
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z3	軽油 パトロール給油	
		Z4	—	
	市場単価	S	—	

表 3. 5 表層（車道・路肩部） 代表機労材規格一覧

平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕 質量 0.5～0.6 t	
		K 2	振動コンパクタ〔前進型〕 質量 40～60kg	
		K 3	—	
	労務	R 1	特殊作業員	
		R 2	普通作業員	
		R 3	土木一般世話役	
		R 4	—	
	材料	Z 1	密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.50 t/m ³ 未満）
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド	
		Z 4	軽油 パトロール給油	
	市場単価	S	—	
1.4m 以上 3.0m 以下	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ〔ホイール型・低騒音 型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕舗装幅 1.4～ 3.0m	賃料
		K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・超 低騒音型・排出ガス対策型（第 3 次基準値）〕質量 3～4 t	賃料
		K 3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策 型（第 3 次基準値）〕 質量 3～4 t	賃料
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	特殊作業員	
		R 3	運転手（特殊）	
		R 4	土木一般世話役	
	材料	Z 1	密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.50 t/m ³ 未満）
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z 3	軽油 パトロール給油	
		Z 4	—	
	市場単価	S	—	

（つづく）

(つづき)

平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
3.0m 超	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ〔ホイール型・低騒音型・排出ガス対策型（2014 年規制）〕 舗装幅 2.3～6.0m	賃料
		K 2	ロードローラ〔マカダム・超低騒音型・排出ガス対策型（第 2 次基準値）〕 質量 10 t 締固め幅 2.1m	賃料
		K 3	タイヤローラ〔普通型・超低騒音型・排出ガス対策型（2011 年規制）〕 質量 13t	賃料
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	特殊作業員	
		R 3	運転手（特殊）	
		R 4	土木一般世話役	
	材料	Z 1	密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 2.35t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.30t/m ³
			開粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 1.94t/m ³
			密粒度アスコン（20）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.50 t/m ³ 未満）
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z 3	軽油 パトロール給油	
		Z 4	－	
	市場単価	S	－	

3-2 基層（歩道部）・中間層（歩道部）・表層（歩道部）

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 6 基層（歩道部）・中間層（歩道部）・表層（歩道部） 積算条件区分一覧

(積算単位：m²)

平均幅員	1層当り平均仕上り厚	材 料	瀝青材料種類
1.4m 未満 (1層当り平均仕上り厚 50mm 以下)	実数入力	(表 3. 7)	(表 3. 3)
1.4m 未満 (1層当り平均仕上り厚 50mm を超え 70mm 以下)			
1.4m 以上			

- (注) 1. 上表は、歩道部における基層、中間層又は表層のアスファルト混合物敷均し・締固め、アスファルト乳剤散布の他、砂の散布、舗装用器具、補助機械、型枠材料、加熱燃料、瀝青材飛散保護等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.10）
3. 瀝青材料の材料ロスを含む。なお、標準使用量は、タックコートの場合 43L/100m²、プライムコートの場合 126L/100m²とする。
4. 幅員にかかわらず機械施工が困難な場合は、平均幅員 1.4m 未満を適用する。

表 3. 7 材料

積算条件	区 分			
材料	アスファルト混合物	標準締固め後 密度 (t/m ³)	アスファルト混合物	標準締固め後 密度 (t/m ³)
	密粒度アスコン (20)	2.20	細粒度アスコン (13)	2.15
	密粒度アスコン (13)	〃	細粒度アスコン (13F)	〃
	密粒度アスコン (20F)	〃	細粒度ギャップアスコン (13F)	〃
	密粒度アスコン (13F)	〃	再生細粒度アスコン (13)	〃
	密粒度ギャップアスコン (13)	〃	各種 (1.90 以上 2.40t/m ³ 未満)	1.90 以上 2.40 未満
	密粒度ギャップアスコン (13F)	〃		
	粗粒度アスコン (20)	〃		
	再生密粒度アスコン (20)	〃		
	再生密粒度アスコン (13)	〃		
	再生粗粒度アスコン (20)	〃		

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 8 基層(歩道部)・中間層(歩道部) 代表機労材規格一覧

平均幅員	項 目		代表機労材規格	備 考
1.4m 未満	機械	K1	振動ローラ（舗装用）[ハンドガイド式] 質量 0.5～0.6 t	
		K2	振動コンパクタ [前進型] 質量 40～60kg	
		K3	—	
	労務	R1	特殊作業員	
		R2	普通作業員	
		R3	土木一般世話役	
		R4	—	
	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³
			細粒度アスコン (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³
			再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z3	ガソリン レギュラー スタンド	
		Z4	軽油 パトロール給油	
	市場単価	S	—	
1.4m 以上	機械	K1	アスファルトフィニッシャ [クローラ型] 舗装幅 1.4～3.0m	
		K2	振動ローラ（舗装用）[搭乗・コンバインド式・超低 騒音型・排出ガス対策型（第3次基準値）] 質量 3～ 4 t	賃料
		K3	—	
	労務	R1	普通作業員	
		R2	特殊作業員	
		R3	運転手（特殊）	
		R4	土木一般世話役	
	材料	Z1	再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 2.20t/m ³
			細粒度アスコン (13)	標準締固め後密度 2.15t/m ³
			再生粗粒度アスコン (20)	標準締固め後密度 各種 (1.90 以上 2.40 t/m ³ 未満)
		Z2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z3	軽油 パトロール給油	
		Z4	—	
	市場単価	S	—	

表 3. 9 表層(歩道部) 代表機労材規格一覧

平均幅員	項 目	代表機労材規格		備 考
1.4m 未満	機械	K 1	振動ローラ（舗装用）〔ハンドガイド式〕 質量 0.5～0.6 t	
		K 2	振動コンパクタ〔前進型〕 質量 40～60kg	
		K 3	－	
	労務	R 1	特殊作業員	
		R 2	普通作業員	
		R 3	土木一般世話役	
		R 4	－	
	材料	Z 1	再生密粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.20t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.15t/m ³
			再生密粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.40 t/m ³ 未満）
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z 3	ガソリン レギュラー スタンド	
		Z 4	軽油 パトロール給油	
	市場単価	S	－	
1.4m 以上	機械	K 1	アスファルトフィニッシャ〔クローラ型〕 舗装幅 1.4 ～3.0m	
		K 2	振動ローラ（舗装用）〔搭乗・コンバインド式・超低騒音 型・排出ガス対策型（第3次基準値）〕 質量 3～4 t	賃料
		K 3	－	
	労務	R 1	普通作業員	
		R 2	特殊作業員	
		R 3	運転手（特殊）	
		R 4	土木一般世話役	
	材料	Z 1	再生密粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.20t/m ³
			細粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 2.15t/m ³
			再生密粒度アスコン（13）	標準締固め後密度 各種（1.90 以上 2.40 t/m ³ 未満）
		Z 2	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	プライムコートの場合
			アスファルト乳剤 PK-4 タックコート用	タックコートの場合
		Z 3	軽油 パトロール給油	
		Z 4	－	
	市場単価	S	－	

3-3 アスカーブ

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 10 アスカーブ 積算条件区分一覧 (積算単位：m)

断面積	材 料
125cm ² 以上 140cm ² 未満	(表 3. 11)
140cm ² 以上 155cm ² 未満	
155cm ² 以上 175cm ² 未満	
175cm ² 以上 195cm ² 未満	
195cm ² 以上 215cm ² 未満	
215cm ² 以上 235cm ² 未満	
235cm ² 以上 255cm ² 未満	
255cm ² 以上 280cm ² 未満	
280cm ² 以上 300cm ² 未満	

(注) 1. 上表は、アスカーブ設置の他、瀝青材料、瀝青材料の散布及び加熱燃料等の費用等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. アスファルト混合物の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.09）

表 3. 11 材料

積算条件	積算条件
材料	細粒度アスコン (13)
	細粒度アスコン (13F)
	再生細粒度アスコン (13)
	再生細粒度アスコン (13F)
	各種（締固め後密度 2.10t/m ³ ）

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 アスカーブ 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格	備 考
機械	K1 ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 2 t 積級	タイヤ損料費 及び補修費（良好）を含む
	K2 アスファルトカーバ [ガソリンエンジン駆動 式] 4.0～4.5m ³ /h	
	K3 ー	
労務	R1 普通作業員	
	R2 土木一般世話役	
	R3 特殊作業員	
	R4 運転手（一般）	
材料	Z1 再生細粒度アスコン (13)	
	Z2 軽油 バトロール給油	
	Z3 ガソリン レギュラー スタンド	
	Z4 ー	
市場単価	S ー	

④ マンホール据付

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製排水構造物の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

- (1) プレキャスト製マンホールの据付、撤去、据付・撤去の場合
- (2) プレキャスト製マンホールの内径が 1,500mm 以下の場合

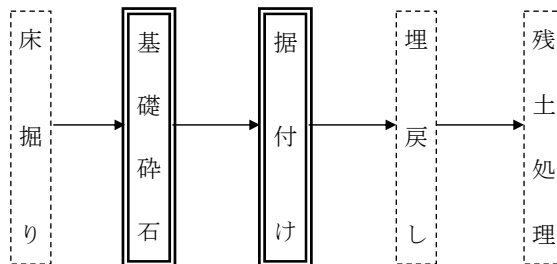
1-2 適用できない範囲

- (1) 円形断面以外の基礎碎石の場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

(1) プレキャストマンホール



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. 基礎碎石は、必要に応じて計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 プレキャストマンホール

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 プレキャストマンホール 積算条件区分一覧 (積算単位：基)

作業区分	製品質量	基礎碎石
据付	2,000kg/基以下	有り (円形断面)
		無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り (円形断面)
		無し又は円形断面以外
撤去	2,000kg/基以下	—
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	—
据付・撤去	2,000kg/基以下	有り (円形断面)
		無し又は円形断面以外
	2,000kg/基を超え 4,000kg/基以下	有り (円形断面)
		無し又は円形断面以外

- (注) 1. 上表は、マンホール及び蓋の設置、基礎碎石、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬の他、敷砂又は敷モルタル等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費 (損料等を含む) を含む。
 2. 基礎碎石の敷均し厚は、20 cm 以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。
 3. 撤去作業の場合、基礎碎石は含まない。
 4. 基礎碎石は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
 5. 基面整正は含まない。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 プレキャストマンホール 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第1次基準値）〕 山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）2.9 t 吊	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	特殊作業員	
材料	Z 1	下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホール蓋 φ600mm 浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×50 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（斜壁 600×750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（直壁 750×300mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（管取付け壁 750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が2,000kg/基以下の場合
		下記の材料を各1個ずつ組み合わせて1つの代表材料とする。 ・下水道用マンホール蓋 φ600mm 浮上防止型かぎ付 T-25 ・調整リング 600×150 ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（斜壁 600×750×600mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（直壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（管取付け壁 750×1800mm） ・下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール 円形0号I種（底版）	作業区分が据付又は据付・撤去、製品質量が4,000kg/基以下の場合
	Z 2	軽油 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

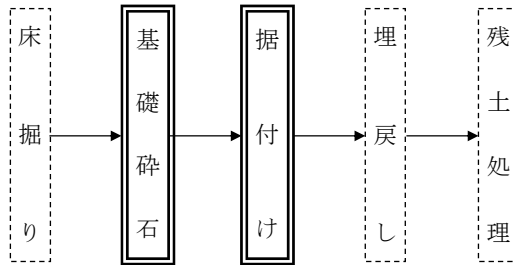
⑤ プレキャストL形側溝

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製L形側溝の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。
 2. 基礎砕石は、必要に応じて計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 プレキャストL形側溝

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 プレキャストL形側溝 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	基礎砕石の有無	L形側溝の種類
据 付	有り	(表3. 2)
	無し	
撤 去	—	—
据付・撤去	有り	(表3. 2)
	無し	

- (注) 1. 上表は、プレキャスト製品によるL型側溝の設置基礎砕石、運搬距離30m程度までの現場内小運搬の他、コンクリートカット運転経費、目地モルタル、敷モルタルの費用、コンクリートカットブレードの損耗費等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 基礎砕石の敷均し厚は、20 cm以下を標準としており、これにより難しい場合は別途考慮する。
 3. 撤去作業の場合、基礎砕石は含まない。
 4. 基礎砕石は、材料の種別・規格にかかわらず適用できる。
 5. 基面整正は含まない。
 6. L型側溝の標準使用量は、16.5 個/10m とする。

表 3. 2 プレキャストL形側溝の種類

積算条件	区 分	
	呼び名	種 類
L形側溝の種類	C250A	コンクリートL形 (350×175×600)
	C250B	コンクリートL形 (450×175×600)
	250A	鉄筋コンクリートL形 (350×155×600)
	250B	鉄筋コンクリートL形 (450×155×600)
	300	鉄筋コンクリートL形 (500×155×600)
	350	鉄筋コンクリートL形 (550×155×600)
	500A	鉄筋コンクリートL形 (665×270×600)
	500B	鉄筋コンクリートL形 (700×320×600)
	500C	鉄筋コンクリートL形 (705×370×600)
	—	各種

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 3 プレキャストL形側溝 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	バックホウ(クローラ型)[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型(第1次基準値)]山積0.45m ³ (平積0.35 m ³)吊能力2.9t	
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	普通作業員	
	R2	土木一般世話役	
	R3	運転手(特殊)	
	R4	特殊作業員	
材料	Z1	鉄筋コンクリートL形300(500×155×600)	作業区分が据付又は据付・撤去の場合
	Z2	軽油 パトロール給油	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S		

⑥ 暗渠排水管布設

1. 適用範囲

本資料は、硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付、撤去、据付・撤去作業に適用する。
ただし、管水路工事、水路工事及びほ場整備工事等には適用しない。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 暗渠排水管

(1) 硬質塩化ビニル管、ポリエチレン管等の有孔・無孔管の据付、撤去、据付・撤去の場合

1-1-2 フィルター材

(1) 暗渠排水管の敷設に伴うフィルター材（クラッシュラン・単粒度碎石等）の敷設の場合

1-2 適用できない範囲

1-2-1 暗渠排水管

(1) 持上げ高が2m以上の場合

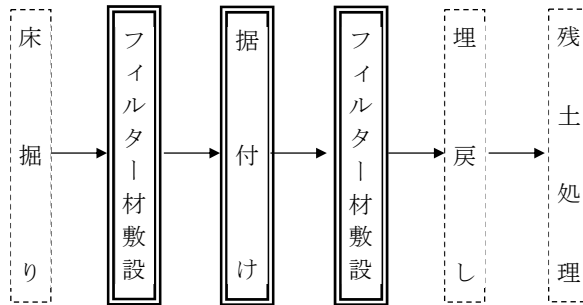
(2) 埋設を行わない地上露出配管の敷設の場合

1-2-2 フィルター材

(1) 暗渠排水管の敷設を行わない場合

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



(注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。

3. 施工パッケージ

3-1 暗渠排水管

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 暗渠排水管 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据 付	直 管	50 ～ 150mm	—
		200 ～ 400mm	
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要
			不要
		200 ～ 400mm	要
			不要
撤 去	直 管	50 ～ 150mm	—
		200 ～ 400mm	
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	
		200 ～ 400mm	
		450 ～ 600mm	

(つづく)

(つづき)

作業区分	管種別	呼び径	継手材料費
据 付 ・ 撤 去	直 管	50 ～ 150mm	—
		200 ～ 400mm	
	波状管及び網状管	50 ～ 150mm	要
			不要
		200 ～ 400mm	要
			不要
		450 ～ 600mm	要
			不要

- (注) 1. 上表は、暗渠排水管（浅層地下排水除去のために行う）の敷設、継手の取付（波状管及び網状管の場合のみ）、運搬距離 100m 程度まで現場内小運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 暗渠排水管の敷設であり、埋設を行わない地上露出配管の敷設は別途考慮する。
3. 暗渠排水管の切断ロスを含む。（標準ロス率は、+0.01）
4. 波状管及び網状管の継手は、形状にかかわらず適用できる。
5. 継手材料費は継手接合（形状は問わない）の場合であり、継手を必要としない場合及び排水管価格に含む場合は計上しない。
6. 基面整正は含まない。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 暗渠排水管 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	—	
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	—	
	R 4	—	
材 料	Z 1	暗渠排水管 直管 呼び径 75mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 直管 呼び径 300mm ポリエチレン吸水管	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が直管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 75mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 50～150mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 300mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 200～400mm の場合
		暗渠排水管 波状管 呼び径 500mm 高密度ポリエチレン管（シングル構造）	作業区分が据付又は据付・撤去で、管種別が波状管及び網状管、呼び径が 450～600mm の場合
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

3-2 フィルター材

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 3 フィルター材 積算条件区分一覧

(積算単位：m³)

フィルター材の種類		フィルター材の種類	
クラッシャラン	C-80	コンクリート用骨材	砕石 40-5
〃	C-40	単粒度砕石	4号 30-20
〃	C-30	再生クラッシャラン	RC-80
粒度調整砕石	M-40	〃	RC-40
〃	M-30	〃	RC-30
〃	M-25	各	種

(注) 1. 上表は、暗渠排水管敷設に伴うフィルター材（クラッシャラン及び単粒度砕石等）の設置、締固め、運搬距離 30m 程度までの現場内小運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. フィルター材の材料ロスを含む。（標準ロス率は、+0.20）

3. 基面整正は含まない。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 フィルター材 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K 1	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（第 1 次基準値）] 山積 0.45m ³ (平積 0.35 m ³)	
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	運転手（特殊）	
	R 4	特殊作業員	
材料	Z 1	再生クラッシャラン RC-40	
	Z 2	軽油 パトロール給油	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

⑦ 路側工（据付け）

1. 適用範囲

本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの据付作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 歩車道境界ブロック

（1）製品長 2 m 以下の場合

1-1-2 地先境界ブロック

（1）製品長 2 m 以下の場合

1-2 適用できない範囲

1-2-1 歩車道境界ブロック

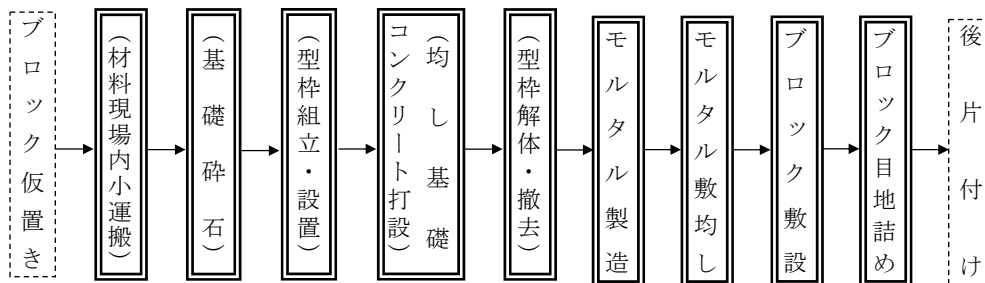
（1）製品長が 2 m を超える場合

1-2-2 地先境界ブロック

（1）製品長が 2 m を超える場合

2. 施工概要

施工フローは下記を標準とする。



- （注） 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分である。
 2. 養生の種類（一般養生、特殊養生（練炭）、特殊養生（ジェットヒータ））にかかわらず適用できる。
 3. （ ）書きについては、必要な場合計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 歩車道境界ブロック

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 歩車道境界ブロック 積算条件区分一覧

（積算単位：m）

作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎コンクリート規格	養生工の有無
設置	(表 3. 2)	(表 3. 3)	(表 3. 4)	無し
再利用設置				有り
				無し
				有り

- （注） 1. 上表は、歩車道境界ブロック（道路の車道と歩道等を分離するために用いる）の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、ブロック据付作業におけるバックホウ（クレーン機能付き）の賃料、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 作業区分が「再利用設置」の場合、注 1 の歩車道境界ブロック本体の製品費は含まない費用とする。
 3. 均し基礎コンクリートの厚さが 15cm を超える場合、又は、均し基礎コンクリート有りブロック幅（底面）が 30cm を超える場合は、均し基礎コンクリート規格は無しとし、「施工パッケージ型積算基準 3. コンクリート工②コンクリート工」よりコンクリートを別途計上する。

4. 基礎碎石の厚さが15cmを超える場合、又は、基礎碎石有りでブロック幅（底面）が30cmを超える場合は、基礎碎石規格は無しとし、「施工パッケージ積算基準3. コンクリート工①基礎・裏込碎石工」より基礎碎石を別途計上する。
5. ブロック規格A種、B種、C種の標準使用量は、165個/100mとする。
6. 基礎碎石、均し基礎コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、基礎碎石が+0.20、均し基礎コンクリートが+0.07とする。

表 3. 2 ブロック規格

積算条件	区分
ブロック規格	A種（150/170×200×600）
	B種（180/205×250×600）
	C種（180/210×300×600）
	各種（600mm以下、50kg未満）
	各種（600mm以下、50kg以上100kg未満）
	各種（600mm超1000mm以下、50kg以上150kg未満）
	各種（1000mm超2000mm以下、150kg以上550kg未満）

表 3. 3 基礎碎石規格

積算条件	区 分
基礎碎石規格	クラッシャラン C-40
	再生クラッシャラン RC-40
	碎石（各種）
	無し

表 3. 4 均し基礎コンクリート規格

積算条件	区 分
均し基礎 コンクリート規格	18-8-25（20）（普通）
	18-8-40（普通）
	18-8-25（20）（高炉）
	18-8-40（高炉）
	生コンクリート（各種）
	無し

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 5 歩車道境界ブロック 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機 械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）[後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）]山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格②③⑤⑥の場合
		バックホウ（クローラ型）[標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第2次基準値）]山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）吊能力 2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ（クローラ型）[標準型・排出ガス対策型（2014年規制）]山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労 務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
		運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合
材 料	Z 1	歩車道境界ブロック A 種 (150/170×200×600)	設置の場合
		歩車道境界ブロック B 種 (180/205×250×600)	
		歩車道境界ブロック C 種 (180/210×300×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合
市場単価	Z 4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①④、かつ基礎砕石無しの場合を除く
	S	—	

※ブロック規格は、以下のとおりとする。

- ①：A 種 (150/170×200×600)
- ②：B 種 (180/205×250×600)
- ③：C 種 (180/210×300×600)
- ④：各種 (600mm 以下、50kg 未満)
- ⑤：各種 (600mm 以下、50kg 以上 100kg 未満)
- ⑥：各種 (600mm 超 1000mm 以下、50kg 以上 150kg 未満)
- ⑦：各種 (1000mm 超 2000mm 以下、150kg 以上 550kg 未満)

3-2 地先境界ブロック

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 6 地先境界ブロック 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	ブロック規格	基礎碎石規格	均し基礎 コンクリート規格	養生工の有無
設置	(表 3. 7)	(表 3. 3)	(表 3. 4)	無し
				有り
再利用設置				無し
				有り

- (注) 1. 上表は、地先境界ブロック（地先境界に道路の舗装止めとして用いる）の基礎材、均し基礎コンクリート型枠、均し基礎コンクリート、プレキャストブロックの設置、ブロック据付作業におけるバックホウ（クレーン機能付き）の賃料、コンクリート現場内小運搬の他、敷モルタル、目地モルタル、器具等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 作業区分が「再利用設置」の場合、(注) 1 の地先境界ブロック本体の製品費は含まない費用とする。
3. 均し基礎コンクリートの厚さが 15cm を超える場合、又は、均し基礎コンクリート有りでブロック幅（底面）が 30cm を超える場合は、均し基礎コンクリート規格は無しとし、「施工パッケージ型積算基準 3. コンクリート工②コンクリート工」よりコンクリートを別途計上する。
4. 基礎碎石の厚さが 15cm を超える場合、又は、基礎碎石有りでブロック幅（底面）が 30cm を超える場合は、基礎碎石規格は無しとし、「施工パッケージ積算基準 3. コンクリート工①基礎・裏込碎石工」より基礎碎石を別途計上する。
5. ブロック規格 A 種、B 種、C 種の標準使用量は、165 個/100m とする。
6. 基礎碎石、均し基礎コンクリートの材料ロスを含む。標準ロス率は、基礎碎石が +0.20、均し基礎コンクリートが +0.07 とする。

表 3. 7 ブロック規格

積算条件	区分
ブロック規格	A 種 (120×120×600)
	B 種 (150×120×600)
	C 種 (150×150×600)
	各種 (600mm 以下、50kg 未満)
	各種 (600mm 以下、50kg 以上 100kg 未満)
	各種 (600mm 超 1000mm 以下、50kg 以上 150kg 未満)
	各種 (1000mm 超 2000mm 以下、150kg 以上 550kg 未満)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 8 地先境界ブロック 代表機労材規格一覧

項 目	代表機労材規格		備 考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型・超低騒音型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第3次基準値）〕山積 0.09m ³ （平積 0.07m ³ ）吊能力 0.9t	・賃料 ・ブロック規格⑤⑥の場合
		バックホウ（クローラ型）〔標準型・クレーン機能付・排出ガス対策型（第2次基準値）〕山積 0.45m ³ （平積 0.35m ³ ）吊能力 2.9t	・賃料 ・ブロック規格⑦の場合
	K 2	バックホウ（クローラ型）〔標準型・排出ガス対策型（2014年規制）〕山積 0.8m ³ （平積 0.6m ³ ）	・賃料 ・基礎砕石有りの場合
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	特殊作業員	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	型わく工	・均し基礎コンクリート有りの場合
		運転手（特殊）	・基礎砕石有り、かつ均し基礎コンクリート無しの場合 ・ブロック規格⑦で基礎砕石無し、かつ均し基礎コンクリート無しの場合
材料	Z 1	地先境界ブロック A 種 (120×120×600)	設置の場合
		地先境界ブロック B 種 (150×120×600)	
		地先境界ブロック C 種 (150×150×600)	
	Z 2	生コンクリート 高炉 18-8-25 (20) W/C 60%	均し基礎コンクリート有りの場合
	Z 3	再生クラッシュラン RC-40	基礎砕石有りの場合
	Z 4	軽油 パトロール給油	ブロック規格①②③④、かつ基礎砕石無しの場合を除く
市場単価	S	—	

※ブロック規格は、以下のとおりとする。

- ①：A 種（120×120×600）
- ②：B 種（150×120×600）
- ③：C 種（150×150×600）
- ④：各種（600mm 以下、50kg 未満）
- ⑤：各種（600mm 以下、50kg 以上 100kg 未満）
- ⑥：各種（600mm 超 1000mm 以下、50kg 以上 150kg 未満）
- ⑦：各種（1000mm 超 2000mm 以下、150kg 以上 550kg 未満）

⑧ 路側工（取外し）

1. 適用範囲

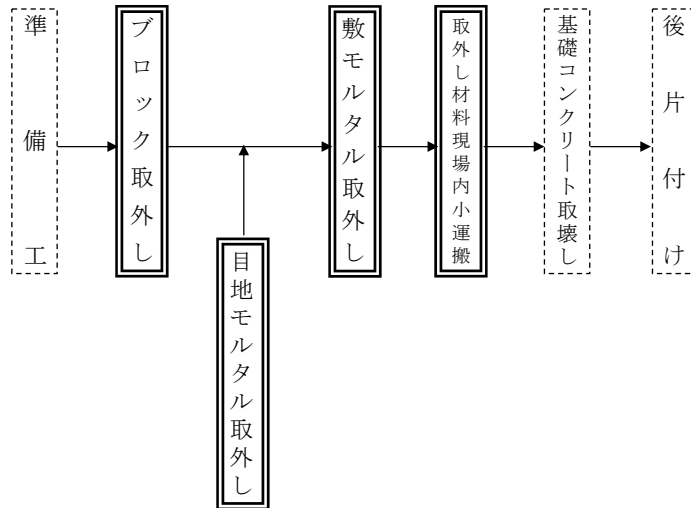
本資料は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック及び地先境界ブロックの取外し作業に適用する。

1-1 適用できる範囲

- (1) 処分又は再利用を目的としたブロック（長さ 800mm/個以下、質量 105kg/個未満）の撤去の場合

2. 施工概要

施工フローは下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
 2. ブロック、モルタル処分費及び現場搬出の費用は、別途計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

再利用区分
処分
再利用

- (注) 1. 上表は、プレキャスト製品による歩車道境界ブロック、または地先境界ブロックの撤去、敷モルタル・目地モルタルの取外し、集積、現場内小運搬等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
 2. 施工数量は直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用ブロックを含んだ施工延長である。
 3. 基礎コンクリートのとりこわしは別途計上する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 歩車道境界ブロック撤去 地先境界ブロック撤去 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	小型バックホウ（クローラ型）〔超小旋回型・排出ガス対策型（第2次基準値）〕 山積 0.22m ³ （平積 0.16m ³ ）	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労務	R 1	普通作業員	
	R 2	土木一般世話役	
	R 3	特殊作業員	再利用区分が再利用の場合
	R 4	運転手（特殊）	
材料	Z 1	軽油 バトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

⑨ 防雪柵設置工

1. 防雪柵設置及び撤去工

1-1 適用範囲

本資料は、防雪柵の設置及び撤去に適用する。また、種別及び施工方法は、次表を標準とする。
なお、吹止式防風柵には適用しない。

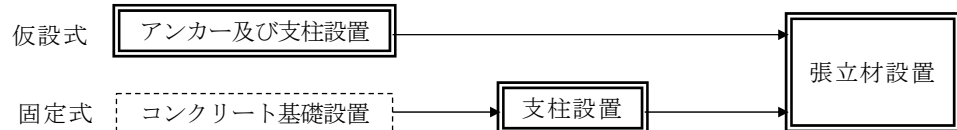
表 1. 1 防雪柵の種別及び施工方法

種 別	取付区分	張立材の種類	支柱の支持方法	柵 高
吹溜式	仮設式	防雪板 又は 防雪網	土中に支柱を打込む又は土中にアンカーを打込み固定する	3.5 m以下
				3.5 mを超え 6.0 m以下
吹払式	固定式	防雪板	コンクリート基礎に固定する	5.0 m以下
	仮設式	防雪板	土中にアンカーを打込み固定する	4.0 m以下
吹払式	固定式	防雪板	コンクリート基礎に固定する	4.0 m以下
	仮設式	防雪板	土中にアンカーを打込み固定する	4.0 m以下

1-2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

設置作業



撤去作業



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. 固定式の支柱設置には、コンクリート基礎に固定する際のアンカーボルト設置を含む。

1-3 施工パッケージ

1-3-1 防雪柵

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 1 防雪柵 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

作業区分	形 式	取付方式	柵 高
設置	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下
			3.5mを超え 6.0m以下
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下
			3.5mを超え 6.0m以下
	吹払式	固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下
			5.0m以下
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下
			5.0m以下
撤去	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下
			3.5mを超え 6.0m以下
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下
			3.5mを超え 6.0m以下
	吹払式	固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下
			5.0m以下
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下
			5.0m以下

(注) 1. 上表は、道路上の吹溜りの防止のための防雪柵の設置、撤去、現場内小運搬の他、脚立及び工具の損料等、その施工に必要なすべての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

ただし、防雪柵（材料費）は含まない。

2. 防雪柵の材料費は別途計上する。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 2 防雪柵 代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備 考
機械	K1	トラック [クレーン装置付] ベーストラック 4～4.5 t 積 吊能力 2.9 t	
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	普通作業員	
	R2	土木一般世話役	
	R3	運転手 (特殊)	
	R4	—	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

1-3-2 防雪柵 (材料費)

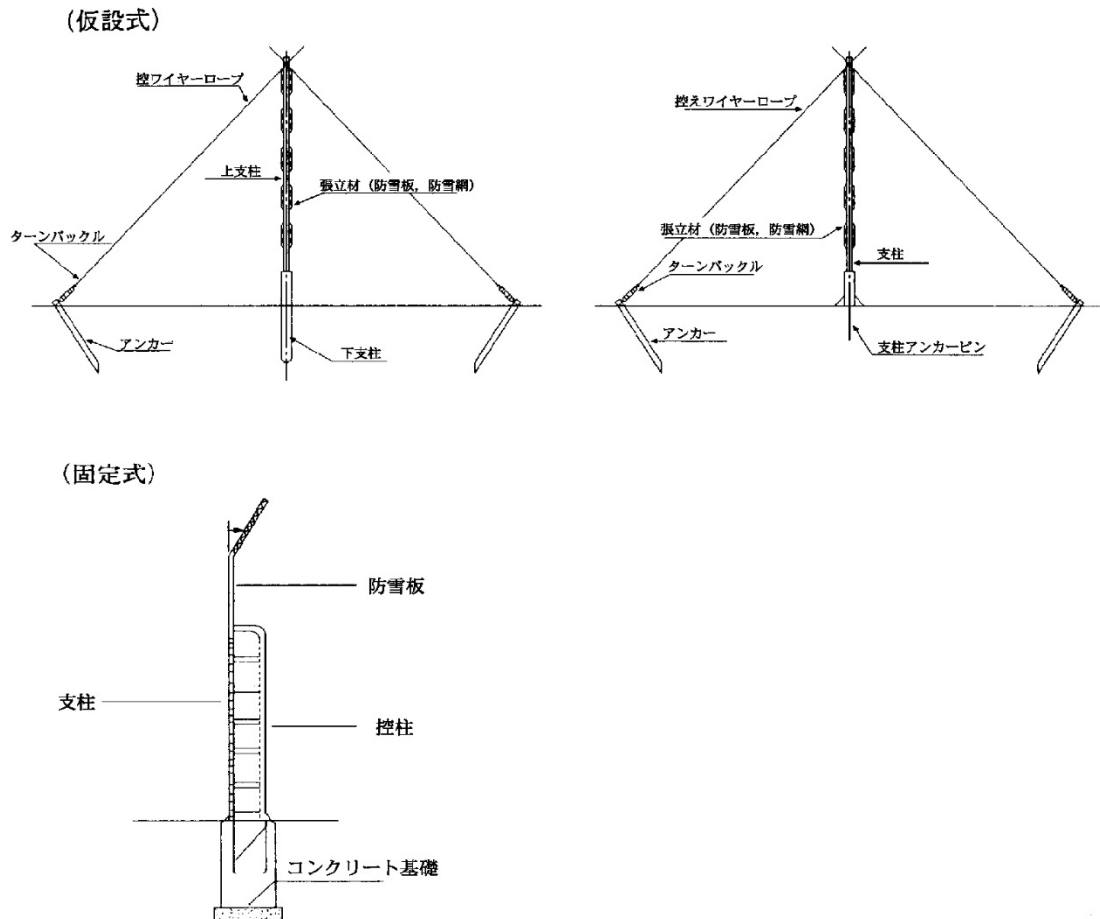
(1) 条件区分

防雪柵 (材料費) における積算条件区分はない。

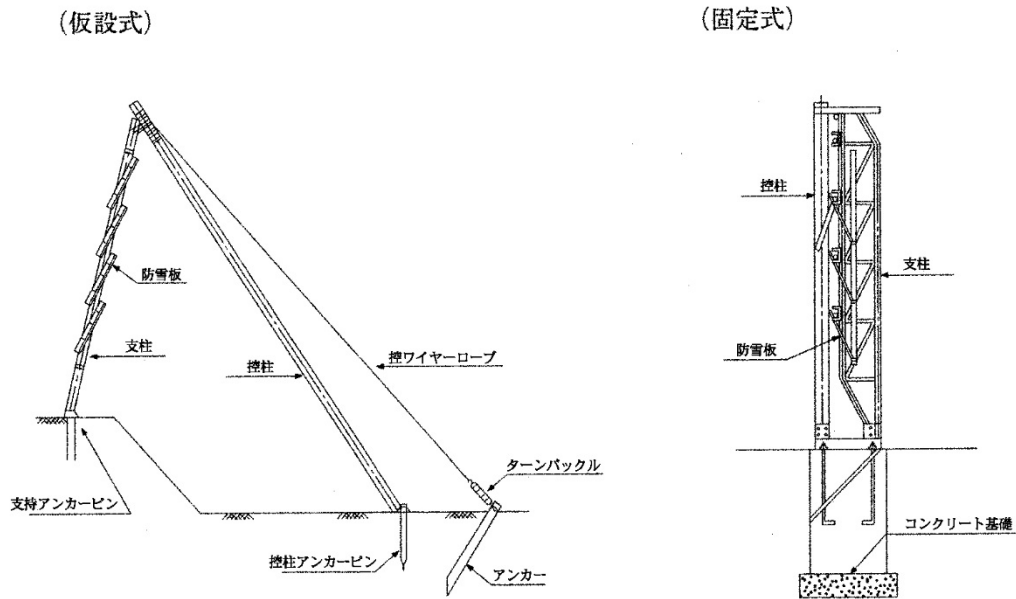
積算単位は、mとする。

1-4 防雪柵の概念図 (参考)

(1) 吹溜式防雪柵



(2) 吹払式防雪柵



2. 防雪柵現地張出し・収納工

2-1 適用範囲

本資料は、現地収納式防雪柵の張出し及び収納に適用する。

また、防雪柵の種類及び収納方式、柵高・支間長は、次表を標準とする。

表 1.1 防雪柵の種類及び柵高・支間長

種 類	収 納 方 式	柵 高	支 間 長
吹払式 又は 吹止式	支柱・防雪板下部収納 (連動型・単動型)	5.5 m以下	4.0 m以下

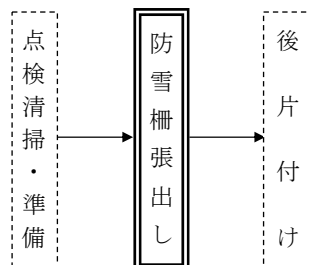
(注) 1. 柵高は、張出し状態における支柱固定端から支柱・防雪板を問わず最上端となるまでの高さとする。

2. 支間長は、支柱の中心間長さとする。

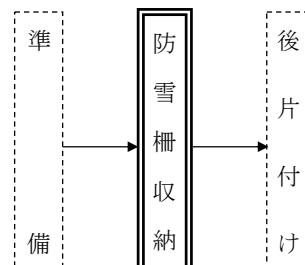
2-2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

張出し作業



収納作業



(注) 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。

2-3 施工パッケージ

2-3-1 防雪柵現地張出し・収納

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 防雪柵現地張出し・収納 積算条件区分一覧 (積算単位：m)

作業区分	防雪柵高さ (種類)
張出し	4.3m以下 (吹払式・吹止式)
	4.3mを超え 5.5m以下 (吹止式)
収納	4.3m以下 (吹払式・吹止式)
	4.3mを超え 5.5m以下 (吹止式)

(注) 上表は、冬期安全施設における現地収納式防雪柵の張出し・収納の他、脚立及びレンチの損料等、その施工に必要なすべての労務・材料費 (損料等を含む) を含む。

(2) 代表機労材規格

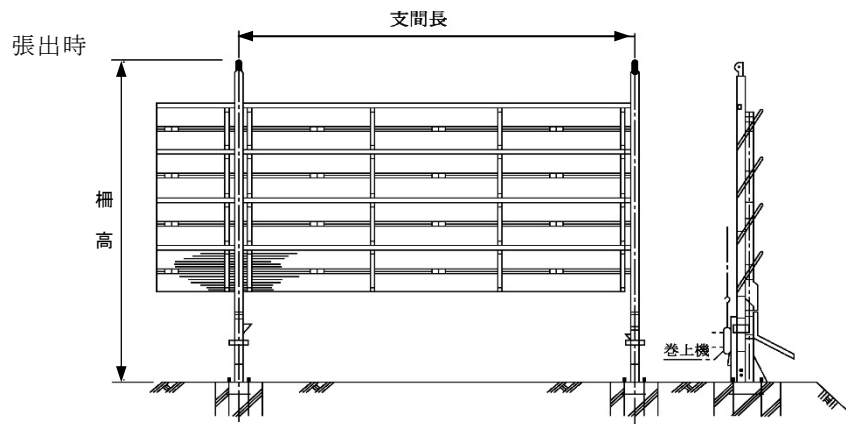
下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3.2 防雪柵現地張出し・収納 代表機労材規格一覧

項目	代表機労材規格	備考
機械	K1	—
	K2	—
	K3	—
労務	R1	普通作業員
	R2	土木一般世話役
	R3	—
	R4	—
材料	Z1	—
	Z2	—
	Z3	—
	Z4	—
市場単価	S	—

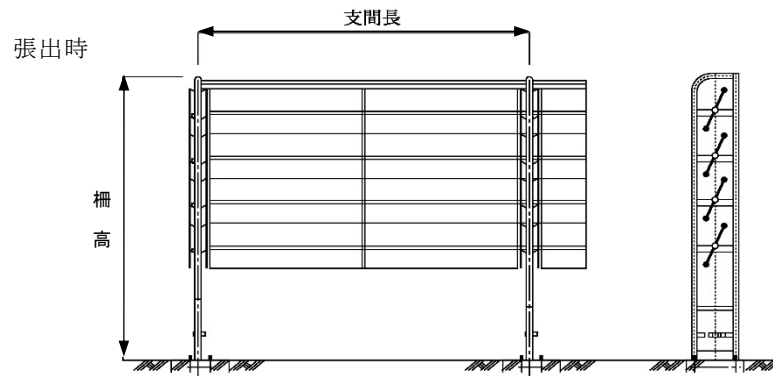
2-4 参考図

(1) 吹払式（連動型）



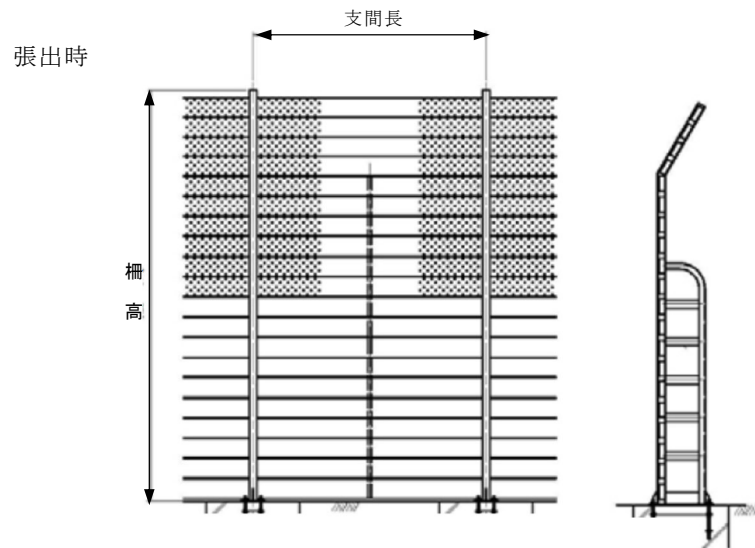
連動型：防雪板全数を同時に張出・収納するタイプ

(2) 吹払式（単動型）



単動型：防雪板を一枚ごとに張出・収納するタイプ

(3) 吹止式（連動型・単動型）



連動型：防雪板全数を同時に張出・収納するタイプ

単動型：防雪板を一枚ごとに張出・収納するタイプ

⑩ 橋梁排水管設置工

1. 適用範囲

本資料は、鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P 管（φ100 mm～φ200mm）、F R P 管（φ100mm～φ200 mm）による各種系統タイプ及び溝部の橋梁排水管を設置する作業に適用し、排水桝設置及び排水管製作は含まない。

1-1 適用できる範囲

1-1-1 コンクリートアンカーボルト設置

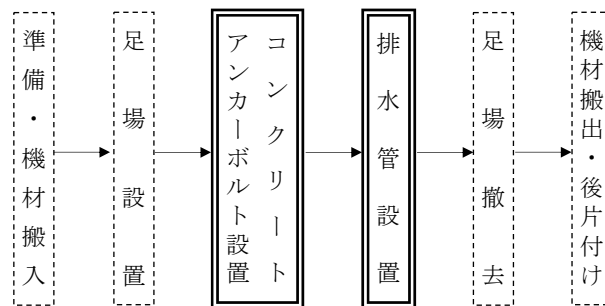
（1）橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置

1-1-2 排水管設置

（1）鋼管（φ100mm～φ200mm）、V P 管（φ100mm～φ200mm）、F R P 管（φ100mm～φ200 mm）による各種系統タイプ及び溝部における橋梁排水管の設置

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- （注） 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重線部分のみである。
2. 既設排水管の取替作業を行う際、排水管撤去作業は別途考慮する。

3. 施工パッケージ

3-1 コンクリートアンカーボルト設置

（1）条件区分

条件区分は次表を標準とする。

表 3.1 コンクリートアンカーボルト設置 積算条件区分一覧 （積算単位:本）

足場の有無
無し
有り

- （注） 1. 橋梁、シェッドの排水管取付金具を設置するためのコンクリートアンカーボルト穿孔及び設置の他、電力に関する経費等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 足場の設置は、別途計上する。
3. 現場条件等により代表機材規格一覧（表 3.2）に示す機械・規格により難しい場合は、別途考慮する。

（2）代表機材規格

下表機材は、当該施工パッケージで使用されている機材の代表的な規格である。

表 3.2 コンクリートアンカーボルト設置 代表機材規格一覧

項目	代表機材規格	備考
機械	K1 高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m 以下	・ 賃料 ・ 足場無しの場合
	K2 —	
	K3 —	

労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	運転手（特殊）	・ 足 場 無 し の 場 合
		土木一般世話役	・ 足 場 有 り の 場 合
	R 3	土木一般世話役	・ 足 場 無 し の 場 合
		普通作業員	・ 足 場 有 り の 場 合
	R 4	普通作業員	・ 足 場 無 し の 場 合
材料	Z 1	あと施工アンカー 芯棒打込み式 M12	
	Z 2	軽油 パトロール給油	・ 足 場 無 し の 場 合
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場 単価	S	－	

3－2 排水管設置

（１）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 3 排水管設置 積算条件区分一覧 （積算単位：m）

足場の有無
無し
有り

- （注） 1. 上表は、橋梁、シェッドの取付金具、排水管（蛇腹管・エルボ等の排水管付属品の設置も含む）の設置の他、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。ただし、排水管（材料費）は含まない。
2. 排水管の材料費は別途計上する。
3. 足場の設置は、別途計上する。
4. 現場条件等により代表機労材規格一覧(表 3. 4)に示す機械・規格により難しい場合は、別途考慮する。

（２）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 4 排水管設置 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K 1	高所作業車 トラック架装リフト・ブーム型・幅広デッキタイプ 作業床高さ 10～12m以下	・ 賃料 ・ 足 場 無 し の 場 合
	K 2	－	
	K 3	－	

労務	R 1	特殊作業員	
	R 2	運転手（特殊）	・ 足場無しの場合
		普通作業員	・ 足場有りの場合
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	普通作業員	・ 足場無しの場合
材料	Z 1	軽油 パトロール給油	・ 足場無しの場合
	Z 2	－	
	Z 3	－	
	Z 4	－	
市場単価	S	－	

3－3 排水管（材料費）

（１）条件区分

排水管（材料費）における積算条件区分はない。

積算単位は、mとする。

（注）排水管（材料費）は、排水管（蛇腹管・エルボ等の排水管付属品も含む）、取付金具の材料費を全て含む。

9. 地すべり防止工

- ① 集排水ボーリング工（ロータリーパーカッション式）……………970

9. 地すべり防止工

① 集排水ボーリング工（ロータリーパーカッション式）

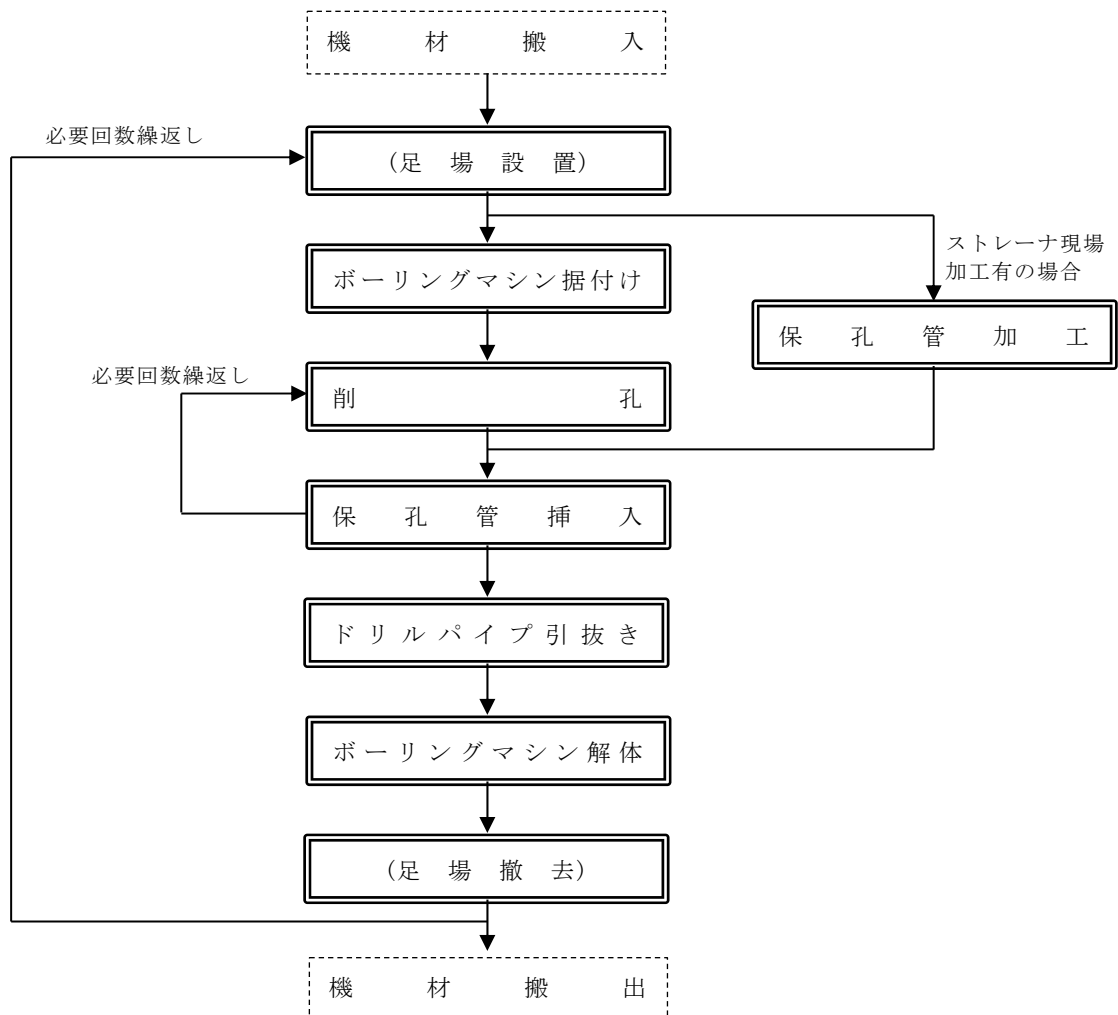
1. 適用範囲

本資料は、地表及び集水井内において、ロータリーパーカッション式ボーリングマシン（二重管方式）にて集排水ボーリング工を施工するものであり、呼び径φ90～135 mm、削孔長 80m以下、削孔角度は水平±10 度以内の作業に適用する。

なお、ボーリングマシン（ロータリー式）を用いて集排水ボーリング工の施工を行う場合は、「土地改良事業等請負工事標準歩掛 12. 地すべり防止工③集排水ボーリング工（ロータリー式）」及び「土地改良事業等請負工事の積算参考資料 11. 地すべり防止工①集水井内ボーリング用架設足場」によるものとする。

2. 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本施工パッケージで対応しているのは、二重実線部分のみである。
2. () 書きは必要な場合計上する。

3. 施工パッケージ

3-1 ボーリング

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.1 ボーリング 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

施工場所	土質区分	呼び径	削孔長区分
(表 3. 2)	(表 3. 3)	φ 90mm	50m／本以下
			50m／本を超え 80m／本以下
		φ 115mm	50m／本以下
			50m／本を超え 80m／本以下
		φ 135mm	50m／本以下
			50m／本を超え 80m／本以下

(注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における削孔、ドリルパイプの引抜き、同一足場上での移動の他、削孔材料（シャンクロッド、クリーニングアダプタ、エキステンションロッド、ドリルパイプ、インナーロッド、リングビット、インナービット、ウォータースイベル）の損料、工事用水中モータポンプ（普通型（潜水ポンプ）口径 50mm、全揚程 30m）の賃料、ファン損料、水槽等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。

2. 呼び径とは、ドリルパイプ外径(mm)をいう。

3. 削孔する土質が異なる場合は、土質毎に計上する。

4. 削孔長区分は、土質毎ではなく、削孔する 1 本の全長で判断する。

5. 工事用水中モータポンプ（給水用、排水用）を複数台で使用する場合にも適用できる。

6. 施工場所は、施工機械の配置位置を示す。

表 3.2 施工場所

積算条件	区 分
施工場所	地 表
	集水井内

表 3.3 土質

積算条件	区 分
土質区分	粘性土・砂質土
	礫 質 土
	岩 塊 ・ 玉 石
	軟 岩

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3.4 ボーリング 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ボーリングマシン [ロータリーパーカッション式・スキッド型] 55kW 級	
	K2	発動発電機 [ディーゼルエンジン駆動] 排出ガス対策型 (第2次基準値) 125kVA	賃料
	K3	グラウトポンプ [横型二連複動ピストン式] 吐出量 200L/min	
労務	R1	普通作業員	
	R2	土木一般世話役	
	R3	特殊作業員	
	R4	ー	
材料	Z1	ドリルパイプ φ90mm 用 (1.0m)	呼び径が φ90mm で集水井内の場合
		ドリルパイプ φ90mm 用 (1.5m)	呼び径が φ90mm で地表の場合
		ドリルパイプ φ115mm 用 (1.0m)	呼び径が φ115mm で集水井内の場合
		ドリルパイプ φ115mm 用 (1.5m)	呼び径が φ115mm で地表の場合
		ドリルパイプ φ135mm 用 (1.0m)	呼び径が φ135mm で集水井内の場合
		ドリルパイプ φ135mm 用 (1.5m)	呼び径が φ135mm で地表の場合
	Z2	インナーロッド φ90mm 用 (1.0m)	呼び径が φ90mm で集水井内の場合
		インナーロッド φ90mm 用 (1.5m)	呼び径が φ90mm で地表の場合
		インナーロッド φ115mm 用 (1.0m)	呼び径が φ115mm で集水井内の場合
		インナーロッド φ115mm 用 (1.5m)	呼び径が φ115mm で地表の場合
		インナーロッド φ135mm 用 (1.0m)	呼び径が φ135mm で集水井内の場合
		インナーロッド φ135mm 用 (1.5m)	呼び径が φ135mm で地表の場合
	Z3	リングビット φ90mm 用	呼び径が φ90mm の場合
		リングビット φ115mm 用	呼び径が φ115mm 場合
		リングビット φ135mm 用	呼び径が φ135mm の場合
	Z4	軽油 パトロール給油	
市場単価	S	ー	

3-2 保孔管

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.5 保孔管 積算条件区分一覧

(積算単位：m)

施工場所	保孔管種別	ストレーナ現場加工の有無	保孔管種類(VP)	保孔管種類(SGP)	製品区分
(表 3. 2)	VP	有り	(表 3. 6)	—	—
		無し			工場加工品 既製保孔管
	SGP	有り	—	(表 3. 7)	—
		無し			

- (注) 1. 上表は、集排水ボーリング工における保孔管加工（管のネジ切り加工を含む）・挿入の他、工事用水中モータポンプ（普通型（潜水ポンプ）口径 50mm、全揚程 30m）の賃料、ファン損料及び電力に関する費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 保孔管は V P 管（JIS K 6741）を標準とするが、活動中の地すべり地区で、挿入後剪断、よじれ等により保孔管破損の恐れのある場合は S G P 管とする。
3. 保孔管材料のロスを含む。標準ロス率は、地表かつ V P 管が +0.03、地表かつ S G P 管が +0.04、集水井内かつ V P 管が +0.06、集水井内かつ S G P 管が +0.08 とする。
4. V P 管（ストレーナ現場加工無し）は、工場加工品又は、既製保孔管（既製品。外管が V P の二重管を含む。）とする。

表 3.6 保孔管種類(VP)

積算条件	区 分
保孔管種類(VP)	VP40
	VP50
	VP65
	VP75
	各種 (VP)

表 3.7 保孔管種類(SGP)

積算条件	区 分
保孔管種類(SGP)	SGP40A
	SGP50A
	SGP65A
	SGP80A
	SGP90A
	各種 (SGP)

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3.8 保孔管 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	ボーリングマシン〔ロータリーパーカッション式・スキッド型〕55kW 級	SGP の場合
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	配管工	SGP の場合
	R2	特殊作業員	
	R3	普通作業員	
	R4	土木一般世話役	
材料	Z1	配管用炭素鋼鋼管 (SGP JIS G 3452) 黒ねじ無し管 80A	SGP の場合
		硬質塩化ビニル管 (VP管 JIS K 6741) φ40mm	VP の場合
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-3 ボーリング仮設機材

(1) 条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3.9 ボーリング仮設機材 積算条件区分一覧

(積算単位：回)

施 工 場 所
地 表
集水井内

- (注) 1. 上表は、ボーリングマシンの据付け・解体、集水井内の足場設置・撤去の他、足場材等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費(損料等を含む)を含む。
2. 同一足場上の移動は3-1 ボーリングに含む。

(2) 代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3.10 ボーリング仮設機材 代表機労材規格一覧

項目		代表機労材規格	備考
機械	K1	クローラクレーン〔油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)〕4.9t 吊	賃料
	K2	—	
	K3	—	
労務	R1	特殊作業員	
	R2	普通作業員	
	R3	土木一般世話役	
	R4	運転手(特殊)	
材料	Z1	軽油 パトロール給油	
	Z2	—	
	Z3	—	
	Z4	—	
市場単価	S	—	

3-4 足場（地表）

（1）条件区分

条件区分は、次表を標準とする。

表 3. 11 足場（地表）積算条件区分一覧（積算単位：空³m）

施 工 場 所
平 地
傾斜地

- （注） 1. 上表は、地表における足場の設置・撤去の他、足場材等の費用等、その施工に必要な全ての機械・労務・材料費（損料等を含む）を含む。
2. 作業足場の幅は 4.5m とする。

（2）代表機労材規格

下表機労材は、当該施工パッケージで使用されている機労材の代表的な規格である。

表 3. 12 足場（地表）代表機労材規格一覧

項 目		代表機労材規格	備考
機 械	K 1	クローラクレーン[油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第2次基準値)]4.9t 吊	賃料
	K 2	—	
	K 3	—	
労 務	R 1	特殊作業員	
	R 2	とび工	
	R 3	土木一般世話役	
	R 4	運転手(特殊)	
材 料	Z 1	軽油 バトロール給油	
	Z 2	—	
	Z 3	—	
	Z 4	—	
市場単価	S	—	

10. そ の 他

①	作業日当り標準作業量.....	978
---	-----------------	-----

10. その他

① 作業日当り標準作業量

1. 適用

本章に掲載した作業日当り標準作業量は、施工パッケージ型積算基準及び標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当り標準作業量

工 種 名	設 定 内 容								
土工	① 掘削								
	土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量
	土砂	オープンカット	有り	—	普通土 30,000m ³ 未満又は湿地軟弱土	—	—	—	320m ³ /日
					30,000m ³ 以上	—	—	—	710m ³ /日
			無し	無し	5,000m ³ 未満	—	—	—	230m ³ /日
					5,000m ³ 以上	—	—	—	270m ³ /日
					10,000m ³ 未満	—	—	—	330m ³ /日
					10,000m ³ 以上	—	—	—	500m ³ /日
					50,000m ³ 未満	—	—	—	500m ³ /日
					50,000m ³ 以上	—	—	—	140m ³ /日
			有り	—	5,000m ³ 未満	—	—	—	170m ³ /日
					5,000m ³ 以上	—	—	—	210m ³ /日
					10,000m ³ 未満	—	—	—	210m ³ /日
					10,000m ³ 以上	—	—	—	320m ³ /日
					50,000m ³ 以上	—	—	—	320m ³ /日
			片切掘削	—	—	—	—	—	220m ³ /日
			水中掘削	—	—	—	—	—	260m ³ /日
			現場制約有り	—	—	—	—	—	4 m ³ /日
			上記以外(小規模)	—	1箇所 100m ³ 以下(標準)	—	—	—	37m ³ /日
					1箇所 50m ³ 以下(標準以外)	—	—	—	15m ³ /日
	岩塊・玉石	オープンカット	有り	—	普通土 30,000m ³ 未満又は湿地軟弱土	—	—	—	200m ³ /日
					30,000m ³ 以上	—	—	—	440m ³ /日
			無し	無し	5,000m ³ 未満	—	—	—	180m ³ /日
					5,000m ³ 以上	—	—	—	210m ³ /日
					10,000m ³ 未満	—	—	—	250m ³ /日
					10,000m ³ 以上	—	—	—	410m ³ /日
					50,000m ³ 以上	—	—	—	110m ³ /日
			有り	—	5,000m ³ 未満	—	—	—	130m ³ /日
					5,000m ³ 以上	—	—	—	150m ³ /日
					10,000m ³ 未満	—	—	—	150m ³ /日
					10,000m ³ 以上	—	—	—	260m ³ /日
			水中掘削	—	—	—	—	—	180m ³ /日
			現場制約有り	—	—	—	—	—	3 m ³ /日

(つづく)

工 種 名		設 定 内 容										
土工		(つづき)										
		土質	施工方法	押土の有無	障害の有無	施工数量	火薬使用	破砕片除去の有無	集積押土の有無	作業日当り標準作業量		
		軟岩	オープンカット	—	無し	1,000m ³ 未満	—	無し	無し	59m ³ /日		
								有り(5万m ³ 未満)	有り	59m ³ /日		
							—	有り(5万m ³ 以上)	無し	59m ³ /日		
								1,000m ³ 以上 5,000m ³ 未満		無し	無し	91m ³ /日
						有り(5万m ³ 未満)	無し			91m ³ /日		
							有り(5万m ³ 以上)		無し	91m ³ /日		
							5,000m ³ 以上		—	—	—	340m ³ /日
						有り	5,000m ³ 未満	—	無し	無し	32m ³ /日	
									有り(5万m ³ 未満)	有り	32m ³ /日	
					有り(5万m ³ 以上)				無し	32m ³ /日		
					有り(5万m ³ 以上)				無し	32m ³ /日		
					片切掘削	—	—	—	—	無し	無し	49m ³ /日
										有り(5万m ³ 未満)	無し	49m ³ /日
		有り(5万m ³ 以上)	無し	49m ³ /日								
		有り(5万m ³ 以上)	無し	49m ³ /日								
		硬岩	オープンカット	—	無し	—	不可	無し	無し	45m ³ /日		
								有り(5万m ³ 未満)	有り	45m ³ /日		
								有り(5万m ³ 以上)	無し	45m ³ /日		
							可	—	—	190m ³ /日		
						有り		—	不可	無し	無し	21m ³ /日
										有り(5万m ³ 未満)	無し	21m ³ /日
							有り(5万m ³ 以上)			無し	21m ³ /日	
					片切掘削	—	—	不可		無し	無し	29m ³ /日
										有り(5万m ³ 未満)	無し	29m ³ /日
										有り(5万m ³ 以上)	無し	29m ³ /日
			可	無し					無し	55m ³ /日		
				有り(5万m ³ 未満)					無し	55m ³ /日		
				有り(5万m ³ 以上)					無し	55m ³ /日		

工 種 名	設 定 内 容					
土工	②土砂等運搬					
	土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	標準	バックホウ 山積 0.8m ³ (平積 0.6m ³)	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.3 km以下	154m ³ /日
					0.5 km以下	133m ³ /日
					1.0 km以下	118m ³ /日
					1.5 km以下	105m ³ /日
					2.0 km以下	91m ³ /日
					3.0 km以下	77m ³ /日
					4.0 km以下	67m ³ /日
					5.5 km以下	56m ³ /日
					6.5 km以下	48m ³ /日
					7.5 km以下	42m ³ /日
					9.5 km以下	37m ³ /日
					11.5 km以下	32m ³ /日
					15.5 km以下	26m ³ /日
					22.5 km以下	21m ³ /日
					49.5 km以下	16m ³ /日
					60.0 km以下	11m ³ /日
				有り	0.3 km以下	154m ³ /日
					0.5 km以下	133m ³ /日
					1.0 km以下	118m ³ /日
					1.5 km以下	105m ³ /日
					2.0 km以下	91m ³ /日
					3.0 km以下	77m ³ /日
					3.5 km以下	67m ³ /日
					5.0 km以下	56m ³ /日
				軟岩	6.0 km以下	48m ³ /日
					7.0 km以下	42m ³ /日
					8.5 km以下	37m ³ /日
					11.0 km以下	32m ³ /日
					14.0 km以下	26m ³ /日
					19.5 km以下	21m ³ /日
					31.5 km以下	16m ³ /日
					60.0 km以下	11m ³ /日
			硬岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37
	(つづく)					

工 種 名	設 定 内 容							
土工	(つづき)							
	土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量		
	標準	バックホウ 山積 1.4m ³ (平積 1.0m ³)	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.3 km 以下	200m ³ /日		
					0.5 km 以下	167m ³ /日		
					1.0 km 以下	143m ³ /日		
					1.5 km 以下	125m ³ /日		
					2.0 km 以下	111m ³ /日		
					2.5 km 以下	100m ³ /日		
					3.0 km 以下	83m ³ /日		
					3.5 km 以下	77m ³ /日		
					4.5 km 以下	67m ³ /日		
					6.0 km 以下	56m ³ /日		
					7.0 km 以下	48m ³ /日		
					8.5 km 以下	42m ³ /日		
					10.0 km 以下	37m ³ /日		
					12.5 km 以下	32m ³ /日		
					16.5 km 以下	26m ³ /日		
					23.5 km 以下	21m ³ /日		
					51.5 km 以下	16m ³ /日		
					60.0 km 以下	11m ³ /日		
				有り	0.3 km 以下	200m ³ /日		
					0.5 km 以下	167m ³ /日		
					1.0 km 以下	143m ³ /日		
					1.5 km 以下	125m ³ /日		
					2.0 km 以下	111m ³ /日		
					2.5 km 以下	100m ³ /日		
					3.0 km 以下	83m ³ /日		
					3.5 km 以下	77m ³ /日		
					4.5 km 以下	67m ³ /日		
					5.5 km 以下	56m ³ /日		
				6.5 km 以下	48m ³ /日			
				8.0 km 以下	42m ³ /日			
				9.5 km 以下	37m ³ /日			
				11.5 km 以下	32m ³ /日			
				15.0 km 以下	26m ³ /日			
				20.5 km 以下	21m ³ /日			
				33.0 km 以下	16m ³ /日			
				60.0 km 以下	11m ³ /日			

工 種 名	設 定 内 容						
土工	(つづき)						
	土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量	
	標準	バックホウ 山積 0.45m ³ (平積 0.35m ³)	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.5 km 以下	91m ³ /日	
					1.0 km 以下	83m ³ /日	
					2.0 km 以下	71m ³ /日	
					2.5 km 以下	63m ³ /日	
					3.5 km 以下	56m ³ /日	
					4.5 km 以下	48m ³ /日	
					6.0 km 以下	42m ³ /日	
					7.5 km 以下	37m ³ /日	
					10.0 km 以下	32m ³ /日	
					13.5 km 以下	26m ³ /日	
					19.5 km 以下	21m ³ /日	
					39.0 km 以下	16m ³ /日	
					60.0 km 以下	11m ³ /日	
				有り	0.5 km 以下	91m ³ /日	
					1.0 km 以下	83m ³ /日	
					1.5 km 以下	71m ³ /日	
					2.0 km 以下	63m ³ /日	
					3.0 km 以下	56m ³ /日	
					4.0 km 以下	48m ³ /日	
					5.5 km 以下	42m ³ /日	
					7.0 km 以下	37m ³ /日	
					9.0 km 以下	32m ³ /日	
					12.0 km 以下	26m ³ /日	
					17.5 km 以下	21m ³ /日	
					28.5 km 以下	16m ³ /日	
					60.0 km 以下	11m ³ /日	
			軟岩	—	—	土砂÷1.22	
			硬岩	—	—	土砂÷1.37	
			クラムシェル 平積 0.4m ³ 又は 平積 0.8m ³	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.5 km 以下	67m ³ /日
						2.0 km 以下	56m ³ /日
	2.5 km 以下					48m ³ /日	
	4.0 km 以下					42m ³ /日	
	5.5 km 以下					37m ³ /日	
	7.5 km 以下					32m ³ /日	
	10.5 km 以下					26m ³ /日	
16.0 km 以下	21m ³ /日						
30.0 km 以下	16m ³ /日						
60.0 km 以下	11m ³ /日						
(つづく)							

工 種 名	設 定 内 容					
土工	(つづき)					
	土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	標準	クラムシエル 平積 0.4m ³ 又は 平積 0.8m ³	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	有り	0.5 km以下	67m ³ /日
					2.0 km以下	56m ³ /日
					2.5 km以下	48m ³ /日
					3.5 km以下	42m ³ /日
					5.0 km以下	37m ³ /日
					7.0 km以下	32m ³ /日
					10.0 km以下	26m ³ /日
					14.5 km以下	21m ³ /日
					24.5 km以下	16m ³ /日
					60.0 km以下	11m ³ /日
			軟岩	—	—	土砂÷1.22
			硬岩	—	—	土砂÷1.37
	小規模	バックハウ 山積 0.28m ³ (平積 0.2m ³)	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.2 km以下	50m ³ /日
					1.0 km以下	40m ³ /日
					1.5 km以下	33m ³ /日
					2.5 km以下	29m ³ /日
					3.5 km以下	25m ³ /日
					4.0 km以下	22m ³ /日
					5.0 km以下	20m ³ /日
					6.0 km以下	18m ³ /日
					7.5 km以下	17m ³ /日
					10.0 km以下	13m ³ /日
					13.0 km以下	11m ³ /日
					19.0 km以下	9 m ³ /日
					35.0 km以下	7 m ³ /日
					60.0 km以下	4 m ³ /日
				有り	0.2 km以下	50m ³ /日
					1.0 km以下	40m ³ /日
					1.5 km以下	33m ³ /日
					2.0 km以下	29m ³ /日
					3.0 km以下	25m ³ /日
					3.5 km以下	22m ³ /日
					4.5 km以下	20m ³ /日
					5.5 km以下	18m ³ /日
					7.0 km以下	17m ³ /日
					9.0 km以下	13m ³ /日
					12.0 km以下	11m ³ /日
					17.0 km以下	9 m ³ /日
					27.0 km以下	7 m ³ /日
					60.0 km以下	4 m ³ /日
	(つづく)					

工 種 名	設 定 内 容					
土工	(つづき)					
	土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	小規模	バックホウ 山積 0.13m ³ (平積 0.1m ³)	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.3 km以下	22m ³ /日
					1.0 km以下	20m ³ /日
					1.5 km以下	17m ³ /日
					2.5 km以下	14m ³ /日
					3.0 km以下	13m ³ /日
					3.5 km以下	11m ³ /日
					4.5 km以下	10m ³ /日
					5.5 km以下	9 m ³ /日
					7.0 km以下	8 m ³ /日
					9.0 km以下	7 m ³ /日
					12.0 km以下	6 m ³ /日
					17.0 km以下	4 m ³ /日
					28.5 km以下	3 m ³ /日
					60.0 km以下	2 m ³ /日
				有り	0.3 km以下	22m ³ /日
					1.0 km以下	20m ³ /日
					1.5 km以下	17m ³ /日
					2.5 km以下	14m ³ /日
					3.0 km以下	13m ³ /日
					3.5 km以下	11m ³ /日
					4.5 km以下	10m ³ /日
					5.0 km以下	9 m ³ /日
					6.5 km以下	8 m ³ /日
					8.0 km以下	7 m ³ /日
					11.0 km以下	6 m ³ /日
					15.0 km以下	4 m ³ /日
					24.0 km以下	3 m ³ /日
					60.0 km以下	2 m ³ /日
	現場制約 有り	人力	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	無し	0.3 km以下	20m ³ /日
					0.5 km以下	18m ³ /日
					1.5 km以下	17m ³ /日
					2.0 km以下	14m ³ /日
					2.5 km以下	13m ³ /日
					3.0 km以下	11m ³ /日
4.0 km以下					10m ³ /日	
5.0 km以下					9 m ³ /日	
6.5 km以下					8 m ³ /日	
8.5 km以下					7 m ³ /日	
11.0 km以下					6 m ³ /日	
16.0 km以下					4 m ³ /日	
27.5 km以下					3 m ³ /日	
60.0 km以下					2 m ³ /日	
(つづく)						

工 種 名

土工

設 定 内 容

(つづき)

土砂等 発生現場	積込機種・規格	土質	DID 区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
現場制約 有り	人力	土砂(岩塊・玉 石混り土含む)	有り	0.3 km 以下	20m ³ /日
				0.5 km 以下	18m ³ /日
				1.0 km 以下	17m ³ /日
				1.5 km 以下	14m ³ /日
				2.0 km 以下	13m ³ /日
				2.5 km 以下	11m ³ /日
				3.5 km 以下	10m ³ /日
				4.5 km 以下	9 m ³ /日
				6.0 km 以下	8 m ³ /日
				8.0 km 以下	7 m ³ /日
				10.5 km 以下	6 m ³ /日
				14.5 km 以下	4 m ³ /日
				23.0 km 以下	3 m ³ /日
				60.0 km 以下	2 m ³ /日

③整地

作業区分	敷均し作業内容	障害の有無	作業日当り 標準作業量
残土受入れ地での処理	—	—	434m ³ /日
敷均し(ルーズ)	標準	無し	430m ³ /日
		有り	380m ³ /日
	標準以外	無し	550m ³ /日
		有り	480m ³ /日

④路体(築堤)盛土・埋戻

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量
2.5m 以上 4.0m 未満	—	—	86m ³ /日
4.0m 以上	10,000m ³ 未満	無し	370m ³ /日
		有り	190m ³ /日
	10,000m ³ 以上	無し	540m ³ /日
		有り	310m ³ /日

(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。

2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は 30cm 以下とする。

工 種 名

土工

設 定 内 容

⑤路床盛土

施工幅員	施工数量	障害の有無	作業日当り 標準作業量
2.5m以上 4.0m未満	—	—	78m ³ /日
4.0m以上	10,000m ³ 未満	無し	280m ³ /日
		有り	140m ³ /日
	10,000m ³ 以上	無し	420m ³ /日
		有り	140m ³ /日

(注) 1. 上表は、締固め後の土量である。
2. 敷均し・締固め作業の一層の仕上り厚は 20cm 以下とする。

⑥積込(ルーズ)

土質	作業内容	作業日当り 標準作業量
土砂	土量 50,000m ³ 未満	310m ³ /日
	土量 50,000m ³ 以上	520m ³ /日
	平均施工幅 1 m以上 2 m未満	160m ³ /日
	1箇所 100m ³ 以下(標準)	42m ³ /日
	1箇所 100m ³ 以下(標準以外)	22m ³ /日
岩塊・玉石、破碎岩	土量 50,000m ³ 未満	260m ³ /日
	土量 50,000m ³ 以上	440m ³ /日
	平均施工幅 1 m以上 2 m未満	130m ³ /日

⑦押土 (ルーズ)

土質	作業日当り 標準作業量
土砂	540m ³ /日
岩塊・玉石	350m ³ /日
破碎岩	350m ³ /日

⑧人力積込

土質	作業日当り 標準作業量
土砂	7.1m ³ /日
岩塊・玉石	5.3m ³ /日
軟岩	5.6m ³ /日
中硬岩	5.0m ³ /日
硬岩	4.5m ³ /日

(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合。

工 種 名	設 定 内 容				
作業土工	①床掘り				
	土質	施工方法	土留方式の種類	障害の有無	作業日当り標準作業量
	土砂	標準	無し	有り	180m ³ /日
				無し	220m ³ /日
			自立式	有り	180m ³ /日
				無し	220m ³ /日
			グラウンドアンカー方式	有り	180m ³ /日
				無し	220m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	180m ³ /日
				無し	220m ³ /日
		平均施工幅 1 m以上 2 m未満	無し	有り	100m ³ /日
				無し	150m ³ /日
			自立式	有り	100m ³ /日
				無し	150m ³ /日
			グラウンドアンカー方式	有り	100m ³ /日
				無し	150m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	100m ³ /日
				無し	150m ³ /日
		掘削深さ 5 m超 20m以下	グラウンドアンカー方式	有り	130m ³ /日
				無し	200m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	130m ³ /日
				無し	200m ³ /日
		掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー方式	-	120m ³ /日
			切梁腹起方式	-	120m ³ /日
		上記以外（小規模）	-	-	32m ³ /日
		現場制約あり	-	-	2.4m ³ /日
	岩塊・玉石	標準	無し	有り	130m ³ /日
				無し	160m ³ /日
			自立式	有り	130m ³ /日
				無し	160m ³ /日
			グラウンドアンカー方式	有り	130m ³ /日
				無し	160m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	130m ³ /日
				無し	160m ³ /日
		平均施工幅 1 m以上 2 m未満	無し	有り	70m ³ /日
				無し	110m ³ /日
			自立式	有り	70m ³ /日
				無し	110m ³ /日
			グラウンドアンカー方式	有り	70m ³ /日
				無し	110m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	70m ³ /日
				無し	110m ³ /日
		掘削深さ 5 m超 20m以下	グラウンドアンカー方式	有り	90m ³ /日
				無し	140m ³ /日
			切梁腹起方式	有り	90m ³ /日
				無し	140m ³ /日
		掘削深さ 20m超	グラウンドアンカー方式	-	90m ³ /日
			切梁腹起方式	-	90m ³ /日
		現場制約あり	-	-	1.7m ³ /日

(注)「現場制約あり」の作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合

工 種 名	設 定 内 容					
作業土工	②舗装版破砕積込(小規模土工)					
	作業日当り標準作業量 (m ² /日)			23		
	③基面整正					
	作業日当り標準作業量 (m ² /日)			50		
	④掘削補助機械搬入搬出					
	作業日当り標準作業量			3.3回/日		
	(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員1名の場合。					
法面整形工	①法面整形工					
	整形箇所	法面締固の有無	現場制約の有無	土 質	作業日当り標準作業量	
	盛土部	有り	有り	砂及び砂質土、粘性土	120m ² /日	
			無し	礫質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日	
		無し	無し	礫質土、砂及び砂質土、粘性土	220m ² /日	
	切土部	－	有り	礫質土、砂及び砂質土、粘性土	61m ² /日	
				軟岩(Ⅰ)、軟岩(Ⅱ)、中硬岩、硬岩	30m ² /日	
			無し	礫質土、砂及び砂質土、粘性土	140m ² /日	
				軟岩(Ⅰ)	120m ² /日	
	舗装版切断工	①舗装版切断				
		(1) アスファルト舗装版				
		アスファルト舗装版厚			作業日当り標準作業量	
15cm以下			230m/日			
15cmを超え30cm以下			130m/日			
30cmを超え40cm以下			80m/日			
(2) コンクリート舗装版、コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版						
コンクリート舗装版厚			作業日当り標準作業量			
15cm以下			150m/日			
15cmを超え30cm以下			70m/日			
(注) コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。						

工 種 名	設 定 内 容					
舗装版破碎工	①舗装版破碎					
	(1) アスファルト舗装版					
	障害等の有無	騒音振動対策	舗装版厚	作業日当り標準作業量		
				直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業 掘削・積込作業	
	無し	不要	15cm以下	510m ² /日	—	—
			15cmを超え40cm以下	—	310m ² /日	370m ² /日
		必要	15cm以下	—	260m ² /日	490m ² /日
			15cmを超え35cm以下	—	180m ² /日	370m ² /日
	(2) コンクリート舗装版					
	騒音振動対策	舗装版厚	作業日当り標準作業量			
			直接掘削・積込作業	舗装版破碎作業	掘削・積込作業	
	不要	15cm以下	510m ² /日	—	—	
		15cmを超え35cm以下	—	230m ² /日	260m ² /日	
	必要	15cm以下	—	190m ² /日	320m ² /日	
		15cmを超え35cm以下	—	150m ² /日	260m ² /日	
	(3) コンクリート+アスファルト（カバー）舗装版					
	コンクリート+アスファルト（カバー）舗装によるアスファルト舗装版厚			作業日当り標準作業量		
				舗装版破碎作業	掘削・積込作業	
	15cm以下			230m ² /日	170m ² /日	
	15cmを超え22.5cm以下			230m ² /日	150m ² /日	
	②舗装版破碎（障害有り）					
	(1) アスファルト舗装版					
	舗装版厚			作業日当り標準作業量		
	舗装版4cm以下			35m ² /日		
	舗装版4cmを超え10cm以下			21m ² /日		
	舗装版10cmを超え15cm以下			16m ² /日		
	舗装版15cmを超え30cm以下			8.8m ² /日		
	(注) 上表は、積込の有無にかかわらず適用出来る。					

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	①殻運搬				
	殻発生作業	積込工法 区分	DID区間の 有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	コンクリート (無筋) 構造物 とりこわし	機械積込	無し	1. 6km以下	56m ³ /日
				3. 3km以下	48m ³ /日
				5. 7km以下	40m ³ /日
				8. 0km以下	34m ³ /日
				10. 9km以下	29m ³ /日
				14. 4km以下	25m ³ /日
				18. 5km以下	21m ³ /日
				23. 2km以下	18m ³ /日
				28. 4km以下	16m ³ /日
				34. 3km以下	14m ³ /日
				41. 3km以下	12m ³ /日
				49. 4km以下	10m ³ /日
				58. 8km以下	8. 6m ³ /日
				60. 0km以下	8. 3m ³ /日
			有り	1. 6km以下	48m ³ /日
				3. 3km以下	42m ³ /日
				5. 7km以下	34m ³ /日
				8. 0km以下	30m ³ /日
				10. 9km以下	26m ³ /日
				14. 4km以下	22m ³ /日
				18. 5km以下	19m ³ /日
				23. 2km以下	16m ³ /日
				28. 4km以下	14m ³ /日
				34. 3km以下	12m ³ /日
				41. 3km以下	10m ³ /日
				49. 4km以下	8. 7m ³ /日
				58. 8km以下	7. 5m ³ /日
				60. 0km以下	7. 2m ³ /日
	(つづく)				

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	(つづき)				
	殻発生作業	積込工法 区分	DID区間の 有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	コンクリート (鉄筋) 構造物 とりこわし	機械積込	無し	1. 6km以下	45m ³ /日
				3. 3km以下	39m ³ /日
				5. 7km以下	33m ³ /日
				8. 0km以下	28m ³ /日
				10. 9km以下	24m ³ /日
				14. 4km以下	20m ³ /日
				18. 5km以下	17m ³ /日
				23. 2km以下	15m ³ /日
				28. 4km以下	13m ³ /日
				34. 3km以下	11m ³ /日
				41. 3km以下	9. 5m ³ /日
				49. 4km以下	8. 1m ³ /日
				58. 8km以下	7. 0m ³ /日
				60. 0km以下	6. 8m ³ /日
			有り	1. 6km以下	39m ³ /日
				3. 3km以下	34m ³ /日
				5. 7km以下	28m ³ /日
				8. 0km以下	25m ³ /日
				10. 9km以下	21m ³ /日
				14. 4km以下	18m ³ /日
				18. 5km以下	15m ³ /日
				23. 2km以下	13m ³ /日
				28. 4km以下	11m ³ /日
				34. 3km以下	9. 6m ³ /日
				41. 3km以下	8. 2m ³ /日
				49. 4km以下	7. 1m ³ /日
				58. 8km以下	6. 1m ³ /日
				60. 0km以下	5. 9m ³ /日
	(つづく)				

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	(つづき)				
	殻発生作業	積込工法 区分	DID区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	舗装版破碎	機械積込 (騒音対策不要、 舗装版厚 15cm超) 又は (騒音対策必要)	無し	0.5km以下	70m ³ /日
				1.0km以下	64m ³ /日
				2.0km以下	55m ³ /日
				2.5km以下	48m ³ /日
				3.5km以下	43m ³ /日
				4.5km以下	37m ³ /日
				6.0km以下	32m ³ /日
				7.5km以下	28m ³ /日
				10.0km以下	25m ³ /日
				13.5km以下	20m ³ /日
				19.5km以下	16m ³ /日
				39.0km以下	12m ³ /日
				60.0km以下	8 m ³ /日
			有り	0.5km以下	70m ³ /日
				1.0km以下	64m ³ /日
				1.5km以下	55m ³ /日
				2.0km以下	48m ³ /日
				3.0km以下	43m ³ /日
				4.0km以下	37m ³ /日
				5.5km以下	32m ³ /日
				7.0km以下	28m ³ /日
				9.0km以下	25m ³ /日
				12.0km以下	20m ³ /日
	17.5km以下	16m ³ /日			
	28.5km以下	12m ³ /日			
	60.0km以下	8 m ³ /日			
	(つづく)				

工 種 名	設 定 内 容				
殻運搬	(つづき)				
	殻発生作業	積込工法 区分	DID区間 の有無	運搬距離	作業日当り 標準作業量
	機械積込 (騒音対策不要、 舗装版厚 15cm以下)	機械積込 (騒音対策不要、 舗装版厚 15cm以下)	無し	0.3km以下	32m ³ /日
				1.5km以下	28m ³ /日
				3.5km以下	25m ³ /日
				6.5km以下	20m ³ /日
				11.5km以下	16m ³ /日
				22.0km以下	12m ³ /日
				60.0km以下	8 m ³ /日
			有り	0.3km以下	32m ³ /日
				1.5km以下	28m ³ /日
				3.5km以下	25m ³ /日
				6.0km以下	20m ³ /日
				10.5km以下	16m ³ /日
				19.5km以下	12m ³ /日
				60.0km以下	8 m ³ /日
	舗装版破碎	機械積込 (小規模土工)	無し	0.3km以下	17m ³ /日
				1.0km以下	15m ³ /日
				1.5km以下	13m ³ /日
				2.5km以下	11m ³ /日
				3.0km以下	10m ³ /日
				3.5km以下	9 m ³ /日
				4.5km以下	8 m ³ /日
				5.5km以下	7 m ³ /日
				7.0km以下	6 m ³ /日
				9.0km以下	5 m ³ /日
				12.0km以下	4 m ³ /日
				17.0km以下	3 m ³ /日
				28.5km以下	3 m ³ /日
				60.0km以下	2 m ³ /日
			有り	0.3km以下	17m ³ /日
				1.0km以下	15m ³ /日
				1.5km以下	13m ³ /日
				2.5km以下	11m ³ /日
				3.0km以下	10m ³ /日
				3.5km以下	9 m ³ /日
				4.5km以下	8 m ³ /日
				5.0km以下	7 m ³ /日
				6.5km以下	6 m ³ /日
				8.0km以下	5 m ³ /日
				11.0km以下	4 m ³ /日
				15.0km以下	3 m ³ /日
				24.0km以下	3 m ³ /日
				60.0km以下	2 m ³ /日

工 種 名

殻運搬

設 定 内 容

吹付法面と りこわし (モルタル)	機械積込	DID区間の有無 無し	運搬距離	作業日当り 標準作業量
			0.5km以下	63m ³ /日
			1.0km以下	48m ³ /日
			1.5km以下	42m ³ /日
			2.0km以下	36m ³ /日
			2.5km以下	32m ³ /日
			3.5km以下	29m ³ /日
			4.5km以下	23m ³ /日
			6.0km以下	20m ³ /日
			7.0km以下	18m ³ /日
			8.5km以下	16m ³ /日
			9.0km以下	14m ³ /日
			10.5km以下	13m ³ /日
			13.5km以下	11m ³ /日
			18.0km以下	9 m ³ /日
			27.5km以下	7 m ³ /日
		有り	60.0km以下	5 m ³ /日
			0.5km以下	59m ³ /日
			1.0km以下	48m ³ /日
			1.5km以下	42m ³ /日
			2.0km以下	36m ³ /日
			2.5km以下	30m ³ /日
			3.5km以下	27m ³ /日
			4.0km以下	23m ³ /日
			5.0km以下	22m ³ /日
			6.0km以下	18m ³ /日
			7.0km以下	16m ³ /日
			8.0km以下	14m ³ /日
			9.0km以下	13m ³ /日
			12.0km以下	11m ³ /日
			16.0km以下	9 m ³ /日
			23.0km以下	7 m ³ /日
			43.0km以下	5 m ³ /日
			60.0km以下	4 m ³ /日

かご工

① かご工

かご種類	かご寸法 (cm)	作業日当り標準作業量	摘 要
じゃかご	φ 45	56m/日	
	φ 60	31m/日	
ふとんかご	高さ40×幅120	27m/日	
	高さ50×幅120	21m/日	
	高さ60×幅120	18m/日	

(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。

② 止杭打込

作業日当り標準作業量	17 本/日
------------	--------

(注) 作業日当り標準作業量は、普通作業員 1 名の場合

工 種 名

補強土壁工
(帯鋼補強土壁、
アンカー補強土壁、
ジオテキスタイル
補強土壁(二重壁タ
イプ))

設 定 内 容

①補強土壁壁面材組立・設置

作 業 種 別	作業日当り標準作業量
帯鋼補強土壁	35 m ² /日
アンカー補強土壁	30 m ² /日
ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)	50 m ² /日

②補強材取付

作 業 種 別	作業日当り標準作業量
帯鋼補強土壁	227 m/日
アンカー補強土壁	116 m/日
ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)	128 m ² /日

③まき出し・敷均し、締固め

作 業 種 別	作業日当り標準作業量
帯鋼補強土壁	95 m ³ /日
アンカー補強土壁	95 m ³ /日
ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)	95 m ³ /日

④碎石投入

作 業 種 別	作業日当り標準作業量
ジオテキスタイル補強土壁 (二重壁タイプ)	71m ³ /日

補強盛土工

①壁面材組立・設置

壁 面 材 種 類	作業日当り標準作業量	算出面積
鋼製枠タイプ	59m ² /日	直面積

②ジオテキスタイル敷設

作業日当り標準作業量	120m ² /日
------------	----------------------

(注) 1. 敷設面積には、壁面補強材の面積も含み、巻込み部の面積は含まないものとする。

2. ジオテキスタイルの敷設面積の算出については、次式のとおりとする。

ジオテキスタイル敷設面積 (m²) = a1 + a2 + a3

a 1、a2、a3... : 補強盛土工 1 段当り敷設面積 (m²)

(参考図参照)

③まき出し・敷均し、締固め

作業日当り標準作業量	95m ³ /日
------------	---------------------

(注) 1. 上表は、補強盛土工 1 段当りのまき出し及び締固め回数に関係なく適用できる。

2. 水平排水材、層厚管理材の有無にかかわらず適用できる。

[参考図]

補強盛土工標準断面図

直面積=壁高 (H) × 施工延長 (L) [m²]

工 種 名	設 定 内 容				
プレキャスト擁壁工	①プレキャスト擁壁工				
	プレキャスト 擁壁高さ(m)	0.5以上 1.0以下	1.0を超え 2.0以下	2.0を超え 3.5以下	3.5を超え 5.0以下
	作業日当り 標準作業量	33m/日	26m/日	22m/日	17m/日
	(注) 運搬距離10m程度までの現場内小運搬を含んでいるが、床堀り、埋戻し、雑工種（基礎碎石、均しコンクリート）、残土処理は含まない。				
大型ブロック積(張)工	①大型ブロック積(張)工				
	工 種 名	ブロック質量 又は種類		基礎碎石の 有無	作業日当り 標準作業量
	間知ブロック積	150kg/個以上 730kg/個以下		－	13m ² /日
	大型ブロック積	2,000kg／個以下 (バックホウ据付)		－	43m ² /日
		2,000kg／個を超え 4,600kg／個以下 (クレーン据付)		－	47m ² /日
	間知ブロック張	150kg/個未満		－	45m ² /日
		150kg/個以上770kg/個以下		－	96m ² /日
	平ブロック張	150kg/個未満		－	37m ² /日
		150kg/個以上770kg/個以下		－	97m ² /日
	連節ブロック張	150kg/個未満		－	37m ² /日
		150kg/個以上770kg/個以下 (鉄筋・鋼線)		－	90m ² /日
		150kg/個以上770kg/個以下 (連結金具)		－	121m ² /日
	胴込・裏込コンクリート	間知ブロック		－	10m ³ /日
		大型ブロック (バックホウ打設)		－	18m ³ /日
		大型ブロック (クレーン車打設)		－	23m ³ /日
	胴込・裏込材（碎石）	間知・平・連節ブロック		－	18m ³ /日
		大型ブロック		－	44m ³ /日
	遮水シート張	－		－	540m ² /日
	吸出し防止材（全面）設置	－		－	480m ² /日
	現場打基礎コンクリート	－		有り	3.5m ³ /日
				無し	4.2m ³ /日
	現場打小口止 コンクリート打設	－		－	2.4m ³ /日
	現場打横帯（隔壁） コンクリート打設	－		－	2.5m ³ /日
	現場打天端 コンクリート打設	－		－	3.5m ³ /日
	プレキャスト基礎 ブロック設置	－		－	24m/日
	プレキャスト小口止 ブロック設置	－		－	15m/日
	プレキャスト横帯（隔壁） ブロック設置	－		－	17m/日
	プレキャスト巻止 ブロック設置	－		－	33m/日
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業を含む。 ・間知ブロック積、大型ブロック積、間知ブロック張、平ブロック張、 連節ブロック張、 …ブロック積（張）、裏込・胴込C0、裏込材までの一連作業 2. ブロック積（張）は、裏込・胴込C0、裏込材を施工しない場合も 上表による。				

工 種 名	設 定 内 容			
石積（張）工	① 石積（張）工			
	積張の区分	工種の区分	石の種類	作業日当り標準作業量
	積工	練石	玉石、雑割石	19m ² /日
	張工	練石	玉石、雑割石	31m ² /日
		空石	玉石	31m ² /日
	（注）石積（張）工は、裏込・胴込 C0、裏込材を施工しない場合も上表による。			
	② 胴込・裏込コンクリート			
	積張の区分	作業日当り標準作業量		
	積工	8.3m ³ /日		
	張工	9.1m ³ /日		
吸出し防止材設置工	③ 裏込材（クラッシュラン）			
	積張の区分	作業日当り標準作業量		
	積工	8.3m ³ /日		
	張工	11m ³ /日		
	① 吸出し防止材設置			
	工種名	作業日当り標準作業量		
吸出し防止材設置工	474m ² /日			
吹付法面とりこわし工	① 吹付法面とりこわし工			
	工法区分	作業日当り標準作業量		
	人力施工	54m ² /日		
	機械施工	147m ² /日		
	集積・積込み	234m ² /日		

工 種 名	設 定 内 容							
アンカー工 (ロータリーパー カッション式)	①削孔（アンカー）							
	(m/日)							
	方式	足場の 有無	呼び径	作業日当り標準作業量				
				粘性土 砂質土	礫質土	玉石 混り土	軟岩	硬岩
	単管	有り (スキット型)	90mm	48	32	22	—	—
			115mm	33	26	18	—	—
			135mm	26	22	15	—	—
		無し (クローラ型)	90mm	53	36	24	—	—
			115mm	37	29	20	—	—
			135mm	29	24	17	—	—
	二重管	有り (スキット型)	90mm	45	30	21	26	20
			115mm	28	23	16	20	16
			135mm	22	18	14	15	13
			146mm	19	16	12	14	10
		無し (クローラ型)	90mm	50	33	24	29	22
115mm			31	26	18	22	18	
135mm			24	20	15	17	14	
146mm			21	18	14	15	11	
(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、ボーリングマシンの横移動を含む。								
2. 硬岩は、コンクリートを含む。								
3. 転石等土質条件が上表区分に適用しないと判断される場合は、別途検討する。								
4. 泥水処理が必要な場合は、別途計上する。								
②アンカー鋼材加工・組立・挿入・緊張・定着・頭部処理（アンカー）								
防食方式	アンカー 鋼材種類	削孔長	設計荷重	作業日当り標準作業量 (本/日)				
				頭部処理 有り	頭部処理 無し			
二重防食	PC 鋼線 より線	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	3.1	3.4			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	2.5	2.8			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	2.2	2.4			
		10m を超える	$f < 400\text{kN}$	2.7	2.9			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	2.5	2.8			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	2.2	2.4			
	PC 鋼線 より線 (工場組立)	—	$f < 400\text{kN}$	6.4	8.3			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	5.8	7.1			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	4.3	5.1			
	複合 PC 鋼線 より線束	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	5.0	6.0			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	4.3	5.0			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	3.3	3.8			
		10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.6	5.5			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	4.1	4.7			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	3.2	3.6			
	PC 鋼棒	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	3.7	4.3			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	3.5	3.9			
		10m を超える	$f < 400\text{kN}$	3.7	4.3			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	3.5	3.9			
簡易防食	PC 鋼線 より線	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	4.2	5.0			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	3.2	3.6			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	2.2	2.4			
		10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.0	4.6			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	2.9	3.2			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	2.2	2.4			
	PC 鋼線 より線 (工場組立)	—	$f < 400\text{kN}$	6.9	9.0			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	6.1	7.6			
			$1,300 \leq f < 2,000\text{kN}$	4.5	5.4			
	PC 鋼棒	10m 以内	$f < 400\text{kN}$	4.6	5.5			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	4.1	4.7			
		10m を超える	$f < 400\text{kN}$	4.4	5.2			
			$400 \leq f < 1,300\text{kN}$	3.9	4.5			

工 種 名	設 定 内 容				
アンカー工 (ロータリーパー カッション式)	(参考) 各作業単独の場合の作業量				
	(1) アンカー鋼材加工・組立・挿入				
	1) 削孔長：10m 以内				
	防食	種別	作業日当り標準作業量 (本/日)		
			設計荷重 (f) kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	5	4	4
		複合 PC 鋼線より線束	13	11	10
		PC 鋼棒	7	7	—
	簡易	PC 鋼線より線	9	6	4
		PC 鋼棒	11	10	—
	2) 削孔長：10m 超え 20m 以内				
	防食	種別	作業日当り標準作業量 (本/日)		
			設計荷重 (f) kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	4	4	4
		複合 PC 鋼線より線束	11	10	9
		PC 鋼棒	7	7	—
	簡易	PC 鋼線より線	8	5	4
		PC 鋼棒	10	9	—
	3) 削孔長：20m 超え				
	防食	種別	作業日当り標準作業量 (本/日)		
			設計荷重 (f) kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	4	4	4
		複合 PC 鋼線より線束	10	9	8
		PC 鋼棒	6	6	—
	簡易	PC 鋼線より線	7	5	4
		PC 鋼棒	9	8	—
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量は、現場内小運搬を含む。				
	2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。				
	3. PC 鋼線より線及び PC 鋼棒の現場加工・組立は、シース、防錆材、止水部の取付である。				
	4. 複合 PC 鋼線より線束の現地での加工・組立は、スペーサの取付けである。				
	(2) アンカー鋼材挿入(工場加工・組立)				
	1) 削孔長：10m 以内				
	防食	種別	作業日当り標準作業量 (本/日)		
			設計荷重 (f) kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	33	33	33
	簡易	PC 鋼線より線	50	50	50
	2) 削孔長：10m を超え 20m 以内				
	防食	種別	作業日当り標準作業量 (本/日)		
			設計荷重 (f) kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	23	23	23
	簡易	PC 鋼線より線	30	30	30

工 種 名	設 定 内 容				
アンカー工 (ロータリーパー カッション式)	3) 削孔長：20m超え				
	防食	種別	作業日当り標準作業量（本/日）		
			設計荷重（f）kN		
			f < 400	400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000
	二重	PC 鋼線より線	19	19	19
	簡易	PC 鋼線より線	23	23	23
	(注) 1. 上表は、現場内小運搬を含む。 2. 二重防食とは、腐食防護が二重になされたものをいい、簡易防食とは、腐食防護が二重になされていない簡易なものをいう。 3. 組立・加工については別途考慮する。				
	(3) 緊張・定着・頭部処理				
	定着方法	オイルキャップによる頭部 処理	作業日当り標準作業量（本/日）		
			設計荷重（f）kN		
f < 400			400 ≤ f < 1,300	1,300 ≤ f < 2,000	
クサビ及 びナット	有り	8	7	5	
	無し	11	9	6	
③グラウト注入(アンカー)					
種 別		作業日当り標準作業量			
グラウト注入打設		3.9m ³			
④ボーリングマシン移設(アンカー)					
種 別		作業日当り標準作業量			
ボーリングマシン移設		2.9 回			
⑤足場（アンカー）					
作 業 名		作業日当り標準作業量			
足場設置・撤去		足場量 44 空m ³			
基礎・裏込砕石工	①基礎・裏込砕石工				
工 種 名		作業日当り標準作業量			
基礎砕石		155 m ² /日			
裏込砕石		38 m ³ /日			
(注) 1. 上表には、現場内小運搬を含む。 2. 基礎砕石工の敷均し厚は 20cm までを対象とし、それを超える場合は上表に 0.7 を乗じた数量を計上する。ただし、この場合の敷均し厚は 30cm までを上限とする。					
コンクリート工	①コンクリート				
構造物区分		打設方法	設計日打設量区分	作業日当り標準作業量	摘要
無筋・鉄筋 構造物	コンクリート ポンプ車打設	10m ³ 以上100m ³ 未満	69m ³ /日		
		100m ³ 以上500m ³ 未満	280m ³ /日		
	人力打設	—	4 m ³ /日		
小型構造物	クレーン車打設	—	6 m ³ /日		
	人力打設	—	5 m ³ /日		
無筋・鉄筋・ 小型構造物	バックホウ (クレーン機 能付) 打設	—	8 m ³ /日		
(注) 養生工は、現場、施工条件等により別途考慮する。					

工 種 名	設 定 内 容							
型枠工	①型枠							
	作 業 名	対象構造物	作業日当り標準作業量	摘要				
	型枠の製作・設置・撤去	鉄筋・無筋構造物	38m ² /日					
		小型構造物	15m ² /日					
	(注) 「トンネル非常駐車帯・箱抜き」の場合の作業日当り標準作業量は、上表の「鉄筋・無筋構造物」を適用する。							
コンクリート 継目工 (目地、止水板、 シール材設置)	①目地板設置							
	作業日当り標準作業量	9 m ² /日						
	②止水板設置							
	止水板の種類	塩ビ製	ゴム製					
	作業日当り標準作業量	13m/日	9 m/日					
	③シール材設置							
	作業日当り標準作業量	10m/日						
粉体噴射攪拌 (DJM工法)	①粉体噴射攪拌 1日当り杭施工本数							
	打設長ℓ(m)	現場制約有り (単軸施工)	打設長ℓ(m)	現場制約無し (二軸施工)				
	3mを超え 6m未満	14 本/日	3mを超え 6m未満	28 本/日				
	6m以上 10m未満	10 本/日	6m以上 10m未満	22 本/日				
	10m以上 14m未満	7 本/日	10m以上 15m未満	16 本/日				
	14m以上 17m未満	6 本/日	15m以上 20m以下	12 本/日				
	17m以上 20m以下	5 本/日	20mを超え 27m未満	10 本/日				
			27m以上 33m以下	8 本/日				
	(注) 1. 施工本数は杭間の移動、位置決め、貫入、引抜き(改良材噴射)までの一連の作業のものである。							
	2. 二軸施工の1日当り杭施工本数は、1軸当り1本とする。							
	②粉体噴射攪拌(移設)							
	施工方法	作業日当り標準作業量						
	単軸施工	1.7 回/日						
	二軸施工	1.4 回/日						
	③粉体噴射攪拌(軸間変更)							
	作業日当り標準作業量	0.77 回/日						
コンクリート 分水槽据付	①コンクリート分水槽据付 (1)分水槽単体							
	製品質量(kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下
	作業日当り標準 作業量(基/日)	250	125	50	33	25	20	17
	製品質量(kg/基)	1,600を超え 2,200以下		2,200を超え 2,800以下				
	作業日当り標準 作業量(基/日)	13		10				
	(注)撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。							
	(2)分水槽+基礎砕石							
	製品質量(kg/基)	50以上 80以下	80を超え 200以下	200を超え 400以下	400を超え 600以下	600を超え 800以下	800を超え 1,200以下	1,200を超え 1,600以下
	作業日当り標準 作業量(基/日)	143	91	42	29	22	17	15
	製品質量(kg/基)	1,600を超え 2,200以下		2,200を超え 2,800以下				
	作業日当り標準 作業量(基/日)	11		9				
	(注) 1. 上表(2)の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・分水槽設置							
	2. 上表(2)の作業日当り標準作業量は、分水槽設置数量換算値である。							

工 種 名	設 定 内 容					
	作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め	m/日
ボックスカルバート	据付	1.0m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石＋均しコンクリート	－	5
	据付	1.0m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石	－	7
	据付	1.0m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	均しコンクリート	－	6
	据付	1.0m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	無し	－	8
	据付	1.0m/個	2.5<B≤3.75 1.25≤H≤2.5	基礎碎石＋均しコンクリート	－	4
	据付	1.0m/個	2.5<B≤3.75 1.25≤H≤2.5	基礎碎石	－	5
	据付	1.0m/個	2.5<B≤3.75 1.25≤H≤2.5	均しコンクリート	－	4
	据付	1.0m/個	2.5<B≤3.75 1.25≤H≤2.5	無し	－	5
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	基礎碎石＋均しコンクリート	無し	6
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	基礎碎石＋均しコンクリート	有り	4
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	基礎碎石	無し	8
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	基礎碎石	有り	5
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	均しコンクリート	無し	6
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	均しコンクリート	有り	4
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	無し	無し	10
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 0<H≤1.25	無し	有り	5
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石＋均しコンクリート	無し	5
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石＋均しコンクリート	有り	3
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石	無し	7
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	基礎碎石	有り	4
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	均しコンクリート	無し	5
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	均しコンクリート	有り	3
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	無し	無し	7
	据付	1.5m/個	1.25<B≤2.5 1.25<H≤2.5	無し	有り	4
	据付	1.5m/個	2.5<B≤3.75 1.25≤H≤2.5	基礎碎石＋均しコンクリート	無し	4
	(つづく)					

工 種 名	設 定 内 容					
	(つづき)					
ボックスカル パート	作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め	m/日
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	有り	3
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	基礎碎石	無し	6
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	基礎碎石	有り	4
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	均しコンクリート	無し	5
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	均しコンクリート	有り	3
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	無し	無し	7
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $1.25 \leq H \leq 2.5$	無し	有り	4
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	無し	3
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	有り	2
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	基礎碎石	無し	4
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	基礎碎石	有り	3
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	均しコンクリート	無し	4
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	均しコンクリート	有り	3
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	無し	無し	5
	据付	1.5m/個	$2.5 < B \leq 3.75$ $2.5 < H \leq 3.75$	無し	有り	3
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	無し	11
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	有り	9
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石	無し	17
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石	有り	13
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	均しコンクリート	無し	12
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	均しコンクリート	有り	10
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	無し	無し	20
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $0 < H \leq 1.25$	無し	有り	15
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	無し	9
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石＋ 均しコンクリート	有り	7
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石	無し	14
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	基礎碎石	有り	10
(つづく)						

工 種 名	設 定 内 容					
ボックスカルバート	(つづき)					
	作業区分	製品長	内空幅・内空高(m)	基礎材種別	PC鋼材による縦締め	m/日
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	均しコンクリート	無し	10
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	均しコンクリート	有り	8
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	無し	無し	17
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $0 < H \leq 1.25$	無し	有り	11
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石＋均しコンクリート	無し	10
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石＋均しコンクリート	有り	8
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石	無し	14
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石	有り	10
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	均しコンクリート	無し	11
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	均しコンクリート	有り	8
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	無し	無し	17
	据付	2.0m/個	$0 < B \leq 1.25$ $1.25 < H \leq 2.5$	無し	有り	11
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石＋均しコンクリート	無し	7
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石＋均しコンクリート	有り	5
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石	無し	10
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	基礎碎石	有り	7
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	均しコンクリート	無し	8
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	均しコンクリート	有り	6
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	無し	無し	12
	据付	2.0m/個	$1.25 < B \leq 2.5$ $1.25 < H \leq 2.5$	無し	有り	8
	(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。					

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固め ブロック工	①消波根固めブロック製作			
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート 体積	1個当り型枠 面積	作業日当り 標準作業量
	0.17m ³ 以上 0.23m ³ 以下		2.00m ² 以上 2.20m ² 以下	25 個/日
			2.20m ² を超え 2.40m ² 以下	23 個/日
			2.40m ² を超え 2.60m ² 以下	22 個/日
			2.60m ² を超え 2.80m ² 以下	20 個/日
			2.80m ² を超え 3.00m ² 以下	19 個/日
	0.23m ³ を超え 0.28m ³ 以下		2.20m ² 以上 2.43m ² 以下	22 個/日
			2.43m ² を超え 2.66m ² 以下	21 個/日
			2.66m ² を超え 2.89m ² 以下	19 個/日
			2.89m ² を超え 3.12m ² 以下	18 個/日
			3.12m ² を超え 3.35m ² 以下	17 個/日
	0.28m ³ を超え 0.33m ³ 以下		2.37m ² 以上 2.64m ² 以下	20 個/日
			2.64m ² を超え 2.91m ² 以下	19 個/日
			2.91m ² を超え 3.18m ² 以下	17 個/日
			3.18m ² を超え 3.45m ² 以下	16 個/日
			3.45m ² を超え 3.72m ² 以下	15 個/日
	0.33m ³ を超え 0.39m ³ 以下		2.59m ² 以上 2.90m ² 以下	18 個/日
			2.90m ² を超え 3.21m ² 以下	17 個/日
			3.21m ² を超え 3.52m ² 以下	15 個/日
			3.52m ² を超え 3.83m ² 以下	14 個/日
			3.83m ² を超え 4.14m ² 以下	13 個/日
	0.39m ³ を超え 0.45m ³ 以下		2.81m ² 以上 3.16m ² 以下	17 個/日
			3.16m ² を超え 3.51m ² 以下	15 個/日
			3.51m ² を超え 3.86m ² 以下	14 個/日
			3.86m ² を超え 4.21m ² 以下	13 個/日
			4.21m ² を超え 4.56m ² 以下	12 個/日
	0.45m ³ を超え 0.51m ³ 以下		4.56m ² を超え 4.91m ² 以下	11 個/日
			3.04m ² 以上 3.43m ² 以下	15 個/日
			3.43m ² を超え 3.82m ² 以下	14 個/日
			3.82m ² を超え 4.21m ² 以下	13 個/日
			4.21m ² を超え 4.60m ² 以下	12 個/日
			4.60m ² を超え 4.99m ² 以下	11 個/日
			4.99m ² を超え 5.38m ² 以下	10 個/日
			5.38m ² を超え 5.77m ² 以下	9.6 個/日
	0.51m ³ を超え 0.57m ³ 以下		5.77m ² を超え 6.16m ² 以下	9.0 個/日
			3.25m ² 以上 3.69m ² 以下	14 個/日
			3.69m ² を超え 4.12m ² 以下	13 個/日
			4.12m ² を超え 4.55m ² 以下	12 個/日
			4.55m ² を超え 4.98m ² 以下	11 個/日
	0.57m ³ を超え 0.64m ³ 以下		4.98m ² を超え 5.41m ² 以下	10 個/日
			3.50m ² 以上 3.96m ² 以下	13 個/日
			3.96m ² を超え 4.42m ² 以下	12 個/日
			4.42m ² を超え 4.88m ² 以下	11 個/日
			4.88m ² を超え 5.34m ² 以下	10 個/日
	0.64m ³ を超え 0.71m ³ 以下		5.34m ² を超え 5.80m ² 以下	9.3 個/日
			3.75m ² 以上 4.27m ² 以下	12 個/日
			4.27m ² を超え 4.78m ² 以下	11 個/日
			4.78m ² を超え 5.29m ² 以下	10 個/日
			5.29m ² を超え 5.8m ² 以下	9.2 個/日
	0.71m ³ を超え 0.79m ³ 以下		5.8m ² を超え 6.31m ² 以下	8.5 個/日
			4.06m ² 以上 4.62m ² 以下	11 個/日
			4.62m ² を超え 5.18m ² 以下	10 個/日
			5.18m ² を超え 5.74m ² 以下	9.2 個/日
			5.74m ² を超え 6.30m ² 以下	8.5 個/日
			6.30m ² を超え 6.86m ² 以下	7.8 個/日

(つづく)

工 種 名	設 定 内 容				
消波根固め ブロック工	(つづき)				
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート 体積	1個当り型枠 面積	作業日当り 標準作業量	
	2.5 t 以下	0.79m ³ を超え 0.86m ³ 以下	4.28m ² 以上 4.90m ² 以下	10 個/日	
			4.90m ² を超え 5.52m ² 以下	9.4 個/日	
			5.52m ² を超え 6.14m ² 以下	8.6 個/日	
			6.14m ² を超え 6.76m ² 以下	7.9 個/日	
			6.76m ² を超え 7.38m ² 以下	7.3 個/日	
			7.38m ² を超え 8.00m ² 以下	6.8 個/日	
		0.86m ³ を超え 0.94m ³ 以下	4.58m ² 以上 5.26m ² 以下	9.7 個/日	
			5.26m ² を超え 5.93m ² 以下	8.7 個/日	
			5.93m ² を超え 6.60m ² 以下	8.0 個/日	
			6.60m ² を超え 7.27m ² 以下	7.3 個/日	
			7.27m ² を超え 7.94m ² 以下	6.7 個/日	
		0.94m ³ を超え 1.04m ³ 以下	4.92m ² 以上 5.66m ² 以下	9.0 個/日	
			5.66m ² を超え 6.39m ² 以下	8.1 個/日	
			6.39m ² を超え 7.12m ² 以下	7.4 個/日	
			7.12m ² を超え 7.85m ² 以下	6.7 個/日	
			7.85m ² を超え 8.58m ² 以下	6.2 個/日	
			8.58m ² を超え 9.31m ² 以下	5.8 個/日	
			9.31m ² を超え 10.04m ² 以下	5.4 個/日	
		1.04m ³ を超え 1.13m ³ 以下	5.25m ² 以上 6.05m ² 以下	8.3 個/日	
			6.05m ² を超え 6.84m ² 以下	7.5 個/日	
			6.84m ² を超え 7.63m ² 以下	6.8 個/日	
			7.63m ² を超え 8.42m ² 以下	6.3 個/日	
		2.5tを超え 5.5t以下	1.05m ³ 以上 1.15m ³ 以下	8.42m ² を超え 9.21m ² 以下	5.8 個/日
				5.14m ² 以上 5.94m ² 以下	12 個/日
	5.94m ² を超え 6.73m ² 以下			11 個/日	
	6.73m ² を超え 7.52m ² 以下			10 個/日	
	7.52m ² を超え 8.31m ² 以下			9.2 個/日	
	1.15m ³ を超え 1.25m ³ 以下		8.31m ² を超え 9.10m ² 以下	8.5 個/日	
			5.35m ² 以上 6.21m ² 以下	12 個/日	
			6.21m ² を超え 7.06m ² 以下	10 個/日	
			7.06m ² を超え 7.91m ² 以下	9.4 個/日	
			7.91m ² を超え 8.76m ² 以下	8.7 個/日	
	1.25m ³ を超え 1.37m ³ 以下		8.76m ² を超え 9.61m ² 以下	8.0 個/日	
			5.58m ² 以上 6.50m ² 以下	11 個/日	
			6.50m ² を超え 7.41m ² 以下	9.8 個/日	
			7.41m ² を超え 8.32m ² 以下	8.9 個/日	
			8.32m ² を超え 9.23m ² 以下	8.2 個/日	
	1.37m ³ を超え 1.48m ³ 以下		9.23m ² を超え 10.14m ² 以下	7.5 個/日	
			5.87m ² 以上 6.83m ² 以下	10 個/日	
			6.83m ² を超え 7.80m ² 以下	9.3 個/日	
			7.80m ² を超え 8.77m ² 以下	8.4 個/日	
			8.77m ² を超え 9.74m ² 以下	7.7 個/日	
	1.48m ³ を超え 1.61m ³ 以下		9.74m ² を超え 10.71m ² 以下	7.1 個/日	
			6.04m ² 以上 7.08m ² 以下	9.8 個/日	
			7.08m ² を超え 8.12m ² 以下	8.8 個/日	
			8.12m ² を超え 9.16m ² 以下	8.0 個/日	
			9.16m ² を超え 10.2m ² 以下	7.3 個/日	
			10.2m ² を超え 11.24m ² 以下	6.7 個/日	
	1.61m ³ を超え 1.73m ³ 以下		11.24m ² を超え 12.28m ² 以下	6.2 個/日	
			6.34m ² 以上 7.46m ² 以下	9.3 個/日	
		7.46m ² を超え 8.58m ² 以下	8.3 個/日		
		8.58m ² を超え 9.70m ² 以下	7.5 個/日		
		9.70m ² を超え 10.82m ² 以下	6.9 個/日		
	10.82m ² を超え 11.94m ² 以下				6.3 個/日
	(つづく)				

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固め ブロック工	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート 体積	1個当り型枠 面積	(つづき) 作業日当り 標準作業量
				8.8 個/日
				7.9 個/日
				7.1 個/日
				6.5 個/日
				6.0 個/日
				8.3 個/日
				7.4 個/日
				6.7 個/日
				6.1 個/日
				5.6 個/日
				5.2 個/日
				4.9 個/日
				7.9 個/日
				7.0 個/日
				6.4 個/日
				5.8 個/日
				5.3 個/日
				7.5 個/日
				6.7 個/日
				6.0 個/日
				5.5 個/日
				5.0 個/日
				7.1 個/日
				6.3 個/日
				5.7 個/日
				5.2 個/日
				4.7 個/日
				6.2 個/日
				5.6 個/日
				5.1 個/日
				5.9 個/日
				5.3 個/日
				4.8 個/日
				5.6 個/日
				5.1 個/日
				4.6 個/日
				5.4 個/日
				4.8 個/日
				4.4 個/日
				5.2 個/日
				4.6 個/日
				4.2 個/日
				3.8 個/日
				4.9 個/日
				4.4 個/日
				4.0 個/日
				4.7 個/日
				4.2 個/日
				3.8 個/日
				4.5 個/日
				4.0 個/日
				3.6 個/日
				(つづく)

工 種 名	設 定 内 容			
消波根固め ブロック工	(つづき)			
	消波根固め ブロック規格	1個当りコンクリート 体積	1個当り型枠 面積	作業日当り 標準作業量
	5.5tを超え 11.0t以下	3.96m ³ を超え 4.23m ³ 以下	13.33m ² 以上 15.93m ² 以下	4.3 個/日
			15.93m ² を超え 18.51m ² 以下	3.8 個/日
			18.51m ² を超え 21.11m ² 以下	3.4 個/日
			21.11m ² を超え 23.71m ² 以下	3.1 個/日
		4.23m ³ を超え 4.53m ³ 以下	13.87m ² 以上 16.61m ² 以下	4.1 個/日
			16.61m ² を超え 19.35m ² 以下	3.6 個/日
			19.35m ² を超え 22.09m ² 以下	3.2 個/日
			22.09m ² を超え 24.83m ² 以下	3.0 個/日
		4.53m ³ を超え 4.84m ³ 以下	14.45m ² 以上 17.37m ² 以下	3.9 個/日
			17.37m ² を超え 20.27m ² 以下	3.4 個/日
			20.27m ² を超え 23.19m ² 以下	3.1 個/日
			(参考) 各作業単独の場合の作業量	
	(1) ブロック製作 (型枠工)			
	区 分	作業日当り標準作業量		摘 要
		組 立	脱 型	
	2.5 t 以下	105m ² /日	139m ² /日	
	2.5 t を超え 11.0 t 以下	164m ² /日	193m ² /日	
	(2) ブロック製作 (コンクリート工)			
	区 分	作業日当り標準作業量		摘 要
	2.5 t 以下	43m ³ /日		クレーン打設
	2.5 t を超え 5.5 t 以下	56m ³ /日		
5.5 t を超え 11.0 t 以下	59m ³ /日			
② 消波根固めブロック横取り・積込・荷卸・据付				
	作業日当り標準作業量			
作業区分	2.5 t 以下	2.5 t を超え 5.5 t 以下	5.5 t を超え 11.0 t 以下	
横取り	78 個/日	74 個/日	52 個/日	
積込	69 個/日	62 個/日	55 個/日	
荷卸	72 個/日	72 個/日	60 個/日	
据付 (乱積)	66 個/日	65 個/日	48 個/日	
据付 (層積)	50 個/日	43 個/日	36 個/日	

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固め ブロック工	③消波根固めブロック運搬						
	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	1 個/台			2 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	22	22	19	24	24	20
	1.0km 以下	21	20	18	23	23	20
	1.5km 以下	18	18	16	22	21	18
	2.0km 以下	17	17	15	21	20	18
	2.5km 以下	15	15	13	19	19	17
	3.0km 以下	14	13	12	18	18	16
	3.5km 以下	13	13	12	18	17	15
	4.0km 以下	12	12	11	16	16	15
	4.5km 以下	11	11	10	16	16	14
	5.0km 以下	11	10	9.8	15	15	13
	5.5km 以下	9.9	9.7	9.1	14	14	13
	6.0km 以下	9.5	9.4	8.8	14	14	13
	6.5km 以下	8.9	8.8	8.3	13	13	12
	7.0km 以下	8.4	8.3	7.9	13	13	12
	7.5km 以下	8.1	8.1	7.6	12	12	11
	8.5km 以下	7.9	7.8	7.4	12	12	11
	9.5km 以下	7.3	7.2	6.9	11	11	10
	10.5km 以下	6.8	6.7	6.4	11	11	9.9
	11.5km 以下	6.2	6.1	5.9	10	9.9	9.3
	12.5km 以下	5.8	5.8	5.5	9.5	9.4	8.8
	14.0km 以下	5.5	5.4	5.2	9.1	9.0	8.4
	15.0km 以下	5.0	4.9	4.8	8.4	8.3	7.9
	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	3 個/台			4 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	25	24	21	25	25	21
	1.0km 以下	24	24	20	25	24	21
	1.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	2.0km 以下	22	22	19	23	23	20
	2.5km 以下	21	21	18	22	22	19
	3.0km 以下	20	20	17	22	21	18
	3.5km 以下	20	19	17	21	21	18
	4.0km 以下	19	18	16	20	20	17
	4.5km 以下	18	18	16	20	19	17
	5.0km 以下	18	17	15	19	19	17
	5.5km 以下	17	17	15	19	18	16
	6.0km 以下	17	16	15	18	18	16
	6.5km 以下	16	16	14	18	17	16
	7.0km 以下	15	15	14	17	17	15
	7.5km 以下	15	15	13	17	17	15
	8.5km 以下	15	15	13	17	16	15
	9.5km 以下	14	14	13	16	16	14
	10.5km 以下	13	13	12	15	15	14
	11.5km 以下	13	12	11	15	14	13
	12.5km 以下	12	12	11	14	14	13
	14.0km 以下	12	11	11	14	13	12
	15.0km 以下	11	11	10	13	13	12

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固め ブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	5 個/台			6 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 （乱積）	積込・据付 （層積）	積込・荷卸	積込・据付 （乱積）	積込・据付 （層積）
	0.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.0km 以下	25	24	21	25	25	21
	1.5km 以下	24	24	20	25	24	21
	2.0km 以下	24	23	20	24	24	20
	2.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	3.0km 以下	22	22	19	23	22	19
	3.5km 以下	22	21	19	23	22	19
	4.0km 以下	21	21	18	22	21	19
	4.5km 以下	21	20	18	22	21	19
	5.0km 以下	20	20	18	21	21	18
	5.5km 以下	20	19	17	21	20	18
	6.0km 以下	20	19	17	20	20	18
	6.5km 以下	19	19	16	20	19	17
	7.0km 以下	19	18	16	20	19	17
	7.5km 以下	18	18	16	19	19	17
	8.5km 以下	18	18	16	19	19	17
	9.5km 以下	17	17	15	18	18	16
	10.5km 以下	17	16	15	18	17	16
	11.5km 以下	16	16	14	17	17	15
	12.5km 以下	15	15	14	17	16	15
	14.0km 以下	15	15	13	16	16	14
	15.0km 以下	14	14	13	15	15	14
	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	7 個/台			8 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 （乱積）	積込・据付 （層積）	積込・荷卸	積込・据付 （乱積）	積込・据付 （層積）
	0.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.0km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.5km 以下	25	24	21	25	24	21
	2.0km 以下	25	24	20	25	24	21
	2.5km 以下	24	23	20	24	24	20
	3.0km 以下	23	23	20	24	23	20
	3.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	4.0km 以下	23	22	19	23	22	19
	4.5km 以下	22	22	19	23	22	19
	5.0km 以下	22	21	19	22	22	19
	5.5km 以下	21	21	18	22	21	19
	6.0km 以下	21	21	18	22	21	18
	6.5km 以下	21	20	18	21	21	18
	7.0km 以下	20	20	17	21	20	18
	7.5km 以下	20	20	17	21	20	18
	8.5km 以下	20	19	17	21	20	18
	9.5km 以下	19	19	17	20	19	17
10.5km 以下	19	18	16	19	19	17	
11.5km 以下	18	18	16	19	18	16	
12.5km 以下	18	17	15	18	18	16	
14.0km 以下	17	17	15	18	17	16	
15.0km 以下	16	16	14	17	17	15	

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固め ブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	9 個/台			10 個/台		
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	26	25	21	26	25	22
	1.0km 以下	26	25	21	26	25	21
	1.5km 以下	25	24	21	25	25	21
	2.0km 以下	25	24	21	25	24	21
	2.5km 以下	25	24	20	25	24	21
	3.0km 以下	24	23	20	24	24	20
	3.5km 以下	24	23	20	24	23	20
	4.0km 以下	23	23	20	24	23	20
	4.5km 以下	23	22	20	24	23	20
	5.0km 以下	23	22	19	23	22	19
	5.5km 以下	22	22	19	23	22	19
	6.0km 以下	22	22	19	23	22	19
	6.5km 以下	22	21	19	22	22	19
	7.0km 以下	21	21	18	22	21	19
	7.5km 以下	21	21	18	22	21	18
	8.5km 以下	21	20	18	22	21	18
	9.5km 以下	21	20	18	21	20	18
	10.5km 以下	20	20	17	21	20	18
	11.5km 以下	19	19	17	20	19	17
	12.5km 以下	19	19	16	20	19	17
	14.0km 以下	19	18	16	19	19	17
	15.0km 以下	18	18	16	19	18	16
	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5 t 以下					
	積載個数	11 個以上 15 個以下/台			15 個を超え 23 個以下/台		
	トラック 1 台当り運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	26	25	22	26	25	22
	1.0km 以下	26	25	21	26	25	22
	1.5km 以下	26	25	21	26	25	21
	2.0km 以下	25	25	21	26	25	21
	2.5km 以下	25	24	21	26	25	21
	3.0km 以下	25	24	21	25	24	21
	3.5km 以下	25	24	21	25	24	21
	4.0km 以下	24	24	20	25	24	21
	4.5km 以下	24	23	20	25	24	21
	5.0km 以下	24	23	20	25	24	21
	5.5km 以下	24	23	20	24	24	20
	6.0km 以下	23	23	20	24	24	20
	6.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	7.0km 以下	23	22	19	24	23	20
	7.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	8.5km 以下	23	22	19	24	23	20
	9.5km 以下	22	21	19	23	23	20
	10.5km 以下	22	21	18	23	22	19
	11.5km 以下	21	21	18	23	22	19
	12.5km 以下	21	20	18	22	22	19
	14.0km 以下	21	20	18	22	21	19
	15.0km 以下	20	19	17	22	21	18

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固め ブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5t を超え 5.5t 以下					
	積載個数	1 個/台			2 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	21	21	17	23	22	18
	1.0km 以下	20	19	16	22	21	18
	1.5km 以下	17	17	14	21	20	16
	2.0km 以下	16	16	14	20	19	16
	2.5km 以下	15	14	12	19	18	15
	3.0km 以下	13	13	11	17	17	14
	3.5km 以下	13	12	11	17	16	14
	4.0km 以下	12	11	10	16	15	13
	4.5km 以下	11	11	9.9	15	15	13
	5.0km 以下	10	10	9.2	15	14	12
	5.5km 以下	9.7	9.5	8.7	14	14	12
	6.0km 以下	9.3	9.2	8.4	14	13	12
	6.5km 以下	8.8	8.6	7.9	13	13	11
	7.0km 以下	8.2	8.1	7.5	12	12	11
	7.5km 以下	8.0	7.9	7.3	12	12	11
	8.5km 以下	7.8	7.7	7.1	12	12	10
	9.5km 以下	7.2	7.1	6.6	11	11	9.9
	10.5km 以下	6.7	6.6	6.2	11	10	9.4
	11.5km 以下	6.1	6.0	5.7	9.8	9.7	8.8
	12.5km 以下	5.7	5.7	5.4	9.3	9.2	8.4
	14.0km 以下	5.4	5.4	5.1	8.9	8.8	8.0
	15.0km 以下	4.9	4.9	4.7	8.2	8.1	7.5
	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	2.5t を超え 5.5t 以下					
	積載個数	3 個/台			4 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	24	23	18	24	23	19
	1.0km 以下	23	22	18	24	23	18
	1.5km 以下	22	21	17	23	22	18
	2.0km 以下	21	21	17	22	21	18
	2.5km 以下	20	20	16	21	21	17
	3.0km 以下	19	19	16	21	20	16
	3.5km 以下	19	18	15	20	20	16
	4.0km 以下	18	18	15	20	19	16
	4.5km 以下	18	17	15	19	19	16
	5.0km 以下	17	17	14	19	18	15
	5.5km 以下	16	16	14	18	17	15
	6.0km 以下	16	16	13	18	17	15
	6.5km 以下	15	15	13	17	17	14
	7.0km 以下	15	15	13	17	16	14
	7.5km 以下	15	14	12	16	16	14
	8.5km 以下	14	14	12	16	16	14
	9.5km 以下	14	13	12	15	15	13
	10.5km 以下	13	13	11	15	14	13
	11.5km 以下	12	12	11	14	14	12
	12.5km 以下	12	12	10	14	13	12
	14.0km 以下	11	11	10	13	13	11
	15.0km 以下	11	10	9.4	12	12	11

工 種 名	設 定 内 容						
消波根固め ブロック工	作業日当り標準作業量（個/日）						
	ブロック規格	5.5t を超え 11.0t 以下					
	積載個数	1 個/台			2 個/台		
	トラック 1 台当り 運搬距離	積込・ 荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)	積込・ 荷卸	積込・据付 (乱積)	積込・据付 (層積)
	0.5km 以下	19	17	15	20	18	15
	1.0km 以下	18	16	14	19	18	15
	1.5km 以下	16	14	13	18	16	14
	2.0km 以下	15	14	12	18	16	14
	2.5km 以下	13	12	11	17	15	13
	3.0km 以下	12	11	10	16	14	13
	3.5km 以下	12	11	10	15	14	12
	4.0km 以下	11	10	9.3	14	13	12
	4.5km 以下	10	9.9	9.0	14	13	12
	5.0km 以下	9.7	9.2	8.5	13	12	11
	5.5km 以下	9.1	8.7	8.0	13	12	11
	6.0km 以下	8.8	8.4	7.8	13	12	11
	6.5km 以下	8.3	7.9	7.4	12	11	10
	7.0km 以下	7.8	7.5	7.0	12	11	9.8
	7.5km 以下	7.6	7.3	6.8	11	11	9.7
	8.5km 以下	7.4	7.1	6.7	11	10	9.5
	9.5km 以下	6.9	6.6	6.2	10	9.9	9.0
	10.5km 以下	6.4	6.2	5.9	9.9	9.4	8.6
	11.5km 以下	5.9	5.7	5.4	9.2	8.8	8.1
	12.5km 以下	5.5	5.4	5.1	8.8	8.4	7.8
	14.0km 以下	5.2	5.1	4.8	8.4	8.0	7.5
	15.0km 以下	4.8	4.7	4.5	7.8	7.5	7.0

工 種 名	設 定 内 容											
捨石工	① 捨石工											
	作業名		作業日当り標準作業量				摘 要					
	捨石投入		76m ³ /日				最大作業半径 9 m 以下					
			67m ³ /日				最大作業半径 9 m を超え 24m 以下					
	表面均し		55m ² /日									
多自然型護岸工 (木杭打工)	① 多自然型護岸工 (木杭打工)											
	作業日当り標準作業量					58本/日						
遠心力鉄筋コン クリート管 (B 形) 機械布設	① 遠心力鉄筋コンクリート管 (B 形)											
	管 径 (mm)		200	250	400	450	700	800	1,100	1,200		
			300	350	500	600	900	1,000	1,350			
	作業日当り標準作業量 (m/日)		31		29		24		18			
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2 とする。												
安定処理工	① 安定処理 (スタビライザ)											
	混合回数			作業日当り標準作業量								
	1 回			736m ² /日								
	2 回			643m ² /日								
	(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、100m 程度の仮置場～現場までの小運搬及び現場内小運搬が含まれている。											
	② 安定処理 (バックホウ)											
	施工箇所		混合深さ			作業日当り標準作業量						
	路床		1 m 以下			172m ² /日						
	構造物基礎		1 m 以下			127m ² /日						
			1 m を超え 2 m 以下			74m ² /日						
(注) 1. 固化材散布、混合、敷均し、締固めをすべて含んだ標準施工量である。 2. 上表には、50m 程度の現場内小運搬が含まれている。												
路盤工	① 不陸整正、下層路盤、上層路盤											
	(1 日・1 層当り)											
	施工区分		工 種		単位		作業日当り標準作業量					
	車道・路肩部 施工		不陸整正		m ²		1,510m ² /日・層					
			下層路盤				940m ² /日・層					
			上層路盤 (粒度調整碎石)				940m ² /日・層					
	歩道施工		下層路盤及び上層路盤				268m ² /日・層					
	施工区分		工 種		平均幅員		平均厚さ		単位		作業日当り 標準作業量	
	車道・路肩部 施工		上層路盤 (瀝青安定処理)		1.4m 未満		50mm 以下		m ²		250m ² /日・層	
							50mm を超え 100mm 以下				230m ² /日・層	
					1.4m 以上 3.0m 以下		—				1,300m ² /日・層	
											3.0m 超	
	(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。											

工 種 名	設 定 内 容					
アスファルト舗装工	①舗装工 (1日・1層当り)					
	施工区分	平均幅員	1層当り仕上り 平均厚さ	単 位	作業日当り 標準作業量	
	基層(車道・路肩部) 中間層(車道・路肩部) 表層(車道・路肩部)	1.4m 未満	50mm 以下	m ²	250 m ² /日・層	
			50mm を超え 70mm 以下		230 m ² /日・層	
		1.4m 以上 3.0m 以下	70mm 以下		1,300 m ² /日・層	
					3.0m 超	2,300 m ² /日・層
	基層(歩道部) 中間層(歩道部) 表層(歩道部)	1.4m 未満	50mm 以下	m ²	250 m ² /日・層	
			50mm を超え 70mm 以下		230 m ² /日・層	
		1.4m 以上	70mm 以下		940 m ² /日・層	
	②アスカーブ (1日当り)					
	名 称		単位	作業日当り標準作業量		
	アスカーブ		m	260m/日		
マンホール据付	①プレキャストマンホール					
	製品質量 (kg/基)	2,000 以下	2,000 を超え 4,000 以下			
	作業日当り標準作業量 (基/日)	4	3			
	(注) 1. 上表の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・マンホール設置 2. 作業日当り標準作業量は、基礎材の有無にかかわらず適用できる。 3. 上表の作業日当り標準作業量は、マンホール設置数量換算値である。 4. 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。					
プレキャストL形側溝	①L形側溝単体					
	製 品 長 (m)	0.6				
	作業日当り標準作業量(m/日)	33				
	(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。					
	②L形側溝+基礎砕石					
	製 品 長 (m)	0.6				
	作業日当り標準作業量(m/日)	29				
	(注) 1. 上表②の作業日当り標準作業量には、次の作業が含まれている。 ・基礎材敷均し・転圧 ・L形側溝設置 2. 上表②の作業日当り標準作業量は、L形側溝設置延長換算値である。					
	暗渠排水管布設	①暗渠排水管				
		区 分	直 管		波・網状管	
管 径 (mm)		50～150	200～400	50～150	200～400 450～600	
作業日当り標準作業量 (m/日)		250	125	429	273 150	
(注) 撤去の作業日当り標準作業量は、上表×2とする。						
②フィルター材						
作業日当り標準作業量(m ³ /日)		36				

工 種 名	設 定 内 容																																							
路側工（据付け）	①歩車道境界ブロック据付、地先境界ブロック据付																																							
	<table><tr><th rowspan="2">ブロック規格</th><th colspan="4">作業日当り標準作業量</th></tr><tr><th>ブロック 単体</th><th>ブロック ＋ 基礎碎石</th><th>ブロック ＋ 均し コンクリート</th><th>ブロック＋ 基礎碎石＋ 均し コンクリート</th></tr><tr><td>歩車道境界ブロックA種 地先境界ブロックA・B・ C種</td><td>37 m/日</td><td>34 m/日</td><td>23 m/日</td><td>22 m/日</td></tr><tr><td>歩車道境界ブロックB・C 種</td><td>43 m/日</td><td>39 m/日</td><td>25 m/日</td><td>23 m/日</td></tr><tr><td>各種(600mm以下、50kg未満)</td><td>37 m/日</td><td>34 m/日</td><td>23 m/日</td><td>22 m/日</td></tr><tr><td>各種(600mm 以下、 50kg 以上 100kg 未満)</td><td>43 m/日</td><td>39 m/日</td><td>25 m/日</td><td>23 m/日</td></tr><tr><td>各種(600mm 超 1000mm 以下、 50kg 以上 150kg 未満)</td><td>49 m/日</td><td>43 m/日</td><td>27 m/日</td><td>25 m/日</td></tr><tr><td>各種(1000mm超 2000mm以下、 150kg 以上 550kg 未満)</td><td>56 m/日</td><td>49 m/日</td><td>29 m/日</td><td>27 m/日</td></tr></table>	ブロック規格	作業日当り標準作業量				ブロック 単体	ブロック ＋ 基礎碎石	ブロック ＋ 均し コンクリート	ブロック＋ 基礎碎石＋ 均し コンクリート	歩車道境界ブロックA種 地先境界ブロックA・B・ C種	37 m/日	34 m/日	23 m/日	22 m/日	歩車道境界ブロックB・C 種	43 m/日	39 m/日	25 m/日	23 m/日	各種(600mm以下、50kg未満)	37 m/日	34 m/日	23 m/日	22 m/日	各種(600mm 以下、 50kg 以上 100kg 未満)	43 m/日	39 m/日	25 m/日	23 m/日	各種(600mm 超 1000mm 以下、 50kg 以上 150kg 未満)	49 m/日	43 m/日	27 m/日	25 m/日	各種(1000mm超 2000mm以下、 150kg 以上 550kg 未満)	56 m/日	49 m/日	29 m/日	27 m/日
	ブロック規格		作業日当り標準作業量																																					
		ブロック 単体	ブロック ＋ 基礎碎石	ブロック ＋ 均し コンクリート	ブロック＋ 基礎碎石＋ 均し コンクリート																																			
	歩車道境界ブロックA種 地先境界ブロックA・B・ C種	37 m/日	34 m/日	23 m/日	22 m/日																																			
	歩車道境界ブロックB・C 種	43 m/日	39 m/日	25 m/日	23 m/日																																			
	各種(600mm以下、50kg未満)	37 m/日	34 m/日	23 m/日	22 m/日																																			
	各種(600mm 以下、 50kg 以上 100kg 未満)	43 m/日	39 m/日	25 m/日	23 m/日																																			
	各種(600mm 超 1000mm 以下、 50kg 以上 150kg 未満)	49 m/日	43 m/日	27 m/日	25 m/日																																			
	各種(1000mm超 2000mm以下、 150kg 以上 550kg 未満)	56 m/日	49 m/日	29 m/日	27 m/日																																			
(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すりつけ用 ブロックを含む。																																								
2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの施工を含む。																																								
3. 床掘り、埋戻しは別途計上する。																																								
路側工（取外し）	①歩車道境界ブロック撤去、地先境界ブロック撤去																																							
	<table><tr><th>再利用区分</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td>処分</td><td>200 m/日</td></tr><tr><td>再利用</td><td>115 m/日</td></tr></table>	再利用区分	作業日当り標準作業量	処分	200 m/日	再利用	115 m/日																																	
	再利用区分	作業日当り標準作業量																																						
	処分	200 m/日																																						
	再利用	115 m/日																																						
(注) 1. 上表は、直線部、曲線部及び片面用、両面用、乗入れ、すり つけ用ブロックを含む。																																								
2. 上表には、敷モルタル、目地モルタルの取外しを含む。																																								
3. 基礎コンクリートのとりこわしは、含まない。																																								
防雪柵設置工	①設置の場合																																							
	<table><tr><th>形式</th><th>取付方式</th><th>柵高</th><th>作業日当り標準作業量</th></tr><tr><td rowspan="6">吹溜式</td><td rowspan="2">仮設式(支柱＋張立材)</td><td>3.5m以下</td><td>87m/日</td></tr><tr><td>3.5mを超え 6.0m以下</td><td>56m/日</td></tr><tr><td rowspan="2">仮設式(張立材のみ)</td><td>3.5m以下</td><td>201m/日</td></tr><tr><td>3.5mを超え 6.0m以下</td><td>128m/日</td></tr><tr><td>固定式(支柱＋張立材)</td><td>5.0m以下</td><td>29m/日</td></tr><tr><td>固定式(張立材のみ)</td><td>5.0m以下</td><td>68m/日</td></tr><tr><td rowspan="4">吹払式</td><td>仮設式(支柱＋張立材)</td><td>4.0m以下</td><td>67m/日</td></tr><tr><td>仮設式(張立材のみ)</td><td>4.0m以下</td><td>155m/日</td></tr><tr><td>固定式(支柱＋張立材)</td><td>4.0m以下</td><td>39m/日</td></tr><tr><td>固定式(張立材のみ)</td><td>4.0m以下</td><td>90m/日</td></tr></table>	形式	取付方式	柵高	作業日当り標準作業量	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下	87m/日	3.5mを超え 6.0m以下	56m/日	仮設式(張立材のみ)	3.5m以下	201m/日	3.5mを超え 6.0m以下	128m/日	固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下	29m/日	固定式(張立材のみ)	5.0m以下	68m/日	吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m以下	67m/日	仮設式(張立材のみ)	4.0m以下	155m/日	固定式(支柱＋張立材)	4.0m以下	39m/日	固定式(張立材のみ)	4.0m以下	90m/日					
	形式	取付方式	柵高	作業日当り標準作業量																																				
	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下	87m/日																																				
			3.5mを超え 6.0m以下	56m/日																																				
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下	201m/日																																				
			3.5mを超え 6.0m以下	128m/日																																				
		固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下	29m/日																																				
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下	68m/日																																				
	吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m以下	67m/日																																				
		仮設式(張立材のみ)	4.0m以下	155m/日																																				
		固定式(支柱＋張立材)	4.0m以下	39m/日																																				
		固定式(張立材のみ)	4.0m以下	90m/日																																				

工 種 名	設 定 内 容					
防雪柵設置工	②撤去の場合					
	形式	取付方式	柵高	作業日当り標準作業量		
	吹溜式	仮設式(支柱＋張立材)	3.5m以下	114m/日		
			3.5mを超え 6.0m以下	73m/日		
		仮設式(張立材のみ)	3.5m以下	264m/日		
			3.5mを超え 6.0m以下	170m/日		
		固定式(支柱＋張立材)	5.0m以下	38m/日		
		固定式(張立材のみ)	5.0m以下	88m/日		
	吹払式	仮設式(支柱＋張立材)	4.0m以下	88m/日		
		仮設式(張立材のみ)	4.0m以下	203m/日		
		固定式(支柱＋張立材)	4.0m以下	51m/日		
		固定式(張立材のみ)	4.0m以下	118m/日		
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、現場内小運搬を含む。					
防雪柵現地張出し・ 収納工	①防雪柵現地張出し・収納					
	作 業 名	柵 高	作業日当り標準作業量			
	張 出 し	4.3m以下	186m/日			
		4.3mを超え 5.5m以下	159m/日			
	収 納	4.3m以下	214m/日			
		4.3mを超え 5.5m以下	171m/日			
橋梁排水管設置工	①排水管					
	作 業 名		作業日当り標準作業量			
			足場有り	足場無し		
	コンクリートアンカーボルト設置		59 本/日	76 本/日		
	排水管設置		17 m/日	22 m/日		
地すべり防止工 (集排水ボーリング工)	①ボーリング					
	施工場所	呼び径	作業日当り標準作業量			
			粘性土 砂質土	礫質土	岩塊・玉石	軟岩
	地表	90mm	32m/日	22m/日	16m/日	20m/日
		115mm	24m/日	18m/日	14m/日	17m/日
		135mm	20m/日	15m/日	13m/日	15m/日
	集水井	90mm	27m/日	19m/日	13m/日	17m/日
		115mm	20m/日	15m/日	12m/日	14m/日
		135mm	17m/日	13m/日	11m/日	13m/日
	(注) 1. 呼び径とは、ドリルパイプ外径 (mm) をいう。 2. 同一足場上での移動を含む。 3. 削孔長が 50mを超える場合は全長について 20%の削減補正を行う。					
	②保孔管、ボーリング仮設機材、足場 (地表)					
	作 業 名		作業日当り標準作業量	摘 要		
	保孔管	地表部	VP 管	150m/日 500m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
			SGP 管	52m/日 98m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
		集水井内	VP 管	110m/日 440m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
			SGP 管	37m/日 56m/日	ストレーナ現地加工有 ストレーナ現地加工無	
	ボーリング 仮設機材	地表部		0.89 回/日		
		集水井内		0.30 回/日	足場設置撤去含む	
	足場(地表)		平地	42 空 m ³ /日		
			傾斜地	32 空 m ³ /日		
	(注) 上表の作業日当り標準作業量には、ロータリーパーカッション式ボーリングマシンの据付けから保孔管挿入、足場撤去までの一連作業を含む(ボーリングは除く)。					